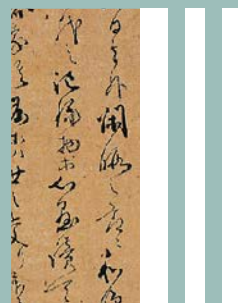




School of Letters, Osaka University  
大阪大学文学部紹介







## School of Letters, Osaka University 大阪大学文学部紹介

ごあいさつ	2
沿革	3
教育目標	4
卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	5
教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）	6
アドミッション・ポリシー	7
文学部のカリキュラム	8
履修のしくみ	9
資格	10
文学部生の生活	12
文学部の入試案内	14
専修紹介	15
スタッフ／文学部の教育体制	56
留学体験	74
就職活動	76
大学院進学	78
就職実績	79
アクセスマップ	80



古来、人間はさまざまな知識や情報を集積し、次代にバトンタッチしてきました。そうした知識はつまるところ、私たちは「どこからきたか」「今どこにいるか」「どこへいくか」という3つの問いに集約されるでしょう。学問とは、文系であれ理系であれ、これらの問いに応える営みです。とはいえ、そこにはおのずから分業があり、文学部が扱う分野—つまり人文学—は、より多く過去に関わります。歴史学はもとより、哲学であれ文学であれ、問題を考えるにあたって時間を遡行し、出発点に立ち返って議論するのが、人文学の特性です。

しかしながら、起源や来歴を問うことは、過去の世界に沈潜することと同じではありません。人文学が取り組んでいるのは、私たちの立っている現在が、どのような道筋をへて今に至ったのか、なぜ他の道筋をとらなかったのか、つまり私たちは「なぜここにいるのか」という問いです。見失われた小さなものに目を凝らし、ささやかなものの声に耳を傾ける人文学の営みは、現在をより深く捉えなおすことに他なりません。

ひとは記憶を喪失すれば、生活に重大な支障をきたすでしょう。社会もまた、「どこからきたか」が分からなくなれば「今どこにいるか」を知ることはできず、まして「どこへいくか」を考えることはできません。つまり、「どこからきたか」という問いを忘れず、そのうえで現在を理解し未来を構想する知的営為は、社会の持続的な発展に欠かせないのです。人文学はそのための学問であり、文学部はそうしたセンスを養い、深める場所です。

私たちの現在は、さまざまな文化的伝統や社会的コンテキストが交差する地点です。その姿を幅広くとらえるため、大阪大学文学部は哲学系・史学系・文学系・芸術学系・日本学系という5つの系列に沿って、20の専修を配置しています。その特徴は、洋の東西で鍛え上げられてきた文献研究の原理・技法と、ケアや移民やサブカルチャーなど今日的なテーマに向き合うアクチュアルな問題関心とを両立させて、つねに問題を組み換え、新たな領域を開拓してきたことです。この『文学部紹介』では、そうした多様性に富んだ文学部の研究と教育の実際をお伝えしたいと思います。皆さんが自身の将来を考えるにあたり、おおいにご活用いただければ幸いです。

### 三谷研爾 みたに・けんじ

1961年生まれ。大阪大学大学院文学研究科博士後期課程中退。博士（文学）。大阪府立大学総合科学部をへて大阪大学文学部勤務。2008年より文学研究科教授。専門分野はドイツ・オーストリア文学／中欧文化論、とりわけ多民族都市ブラハの社会環境と文学テキストの相関を研究。著書に『世紀転換期のブラハ—モダン都市の空間と文学的表象』、『境界としてのテキスト—カフカ・物語・言説』、翻訳書にアンダーソン『カフカの衣装』など。



### 誕生

大阪大学文学部の歴史は、1948年に設立された大阪大学法文学部に始まります。このときは、法学科・経済学科とならぶ文学科として出発しましたが、翌1949年、文学部として独立しました。哲学・史学・文学の3学科14講座を擁してスタートを切り、1952年には教育学科を設置して4学科19講座に再編されました。

文学部の始まりは1948年ですが、その精神的源流は、1724年に大坂の有力町人によって設立され、幕末までの約150年のあいだに数多くの逸材を輩出した学問所「懐徳堂」にさかのぼります。文学部は、自由と独創を重んじ、開かれた学問所であった「懐徳堂」の精神を受け継いで発展してきました。

### ユニークな学科の新設

1960年代の半ばには、既設の心理学・社会学・教育学関係の諸講座を統合して文学部から独立させる新学部構想が具体化し、1972年に人間科学部が創設されました。新学部の設置のために文学部の9講座が振り替えられ規模が縮小したことにより、その後は文学部の整備と充実が重要な課題となりました。既設学科の充実とともに、新しい構想の学科が模索され、1973年には当時の国立大学としては初めての試みであった美学科が新設されました。さらに、1975年に大学院に日本学専攻が設置されました。1986年にはこれに対応する学部組織として日本学科が設置され、5学科16専攻32講座を擁する組織に成長しました。

1995年には学部の5学科の区分を廃して1学科に統合し、人文学科としました。これとともに小講座制から大講座制に移行し、哲学、日本史、世界史、考古学、国文学・東洋文学、西洋文学・語学、芸術学、芸術史、日本学、人文地理学、日本語学の11講座に整備されました。

### 20の多彩な専修

1998年および1999年に、大学院の研究・教育を主体にしつつ学部教育を推進するという構想のもとに、大学院重点化が行われました。それに伴って、学部には20の専修が置かれました。

2007年10月には、大阪大学と大阪外国語大学が統合し、新たな大阪大学が誕生しました。大学院文学研究科では、それまでの文化形態論専攻および文化表現論専攻に加え、修士課程に文化動態論専攻（共生文明論、アート・メディア論、文学環境論、言語生態論の4コース）が新たに設置されました。その結果、学部でも動態論科目を受講することができるようになり、多彩な学部教育の充実化が図られました。



## 教育目標

大阪大学は、「知の創造、継承及び実践」を使命とし、「地域に生き世界に伸びる」をモットーに、学問の独立性と市民性を備えた世界水準の高度な教育研究を推進し、次代の社会を支え、人類の理想の実現をはかる有能な人材を社会に輩出することを目的とします。

その目的の実現のため、学部及び全学的な教育研究組織において、

### 高度な専門性と深い学識

#### 教養

#### 国際性

#### デザイン力

を身につけた知識基盤社会のリーダーとなるべき人材を育成します。

文学部は、大阪大学の教育目標のもと、また自由と独創を重んじ広く社会に開かれた学問所であった「懐徳堂」の精神を受け継いで、以下のような人文学の特質と現代社会の要請を重視して人材育成を行います。人文学は、日本および諸外国の精神文化と物質文化の両面にわたる人間の営為を、

- ①過去から現在にいたる時間的変化のなかで広く関連づけてとらえる、
- ②本質や原理にまでさかのぼって考え抜く、
- ③対象に深く分け入り内在的に理解する、

という特質を持っています。また現代社会は大きく変貌しつつあり、現代社会の諸問題に対応した分野横断的で総合的なアプローチの必要性が高まっています。文学部は、これらに鑑みて、思想、言語、歴史、文学、芸術にまたがる「総合的な人文学教育」を推進し、以下のような教育を目標とします。

高度な専門性と深い学識	……	人文学に関する高度な専門性と深い学識を体系的に養います。
教養	……	学問全般にわたる幅広い教養と現代にふさわしい情報リテラシーを培います。
国際性	……	他者や異文化に対する鋭敏な感受性と深い理解力を涵養します。 豊かな日本語能力と、国際共通語である英語、そして専門分野に関わる諸外国語の運用能力を養います。
デザイン力	……	自己を深め、世界を探求し、現代社会の諸課題を発見・解決する能力を養います。
独自の教育目標	……	以上の知識や能力を生かして、リーダーシップをもって国際的に活躍できる人材を育成します。



## 卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)

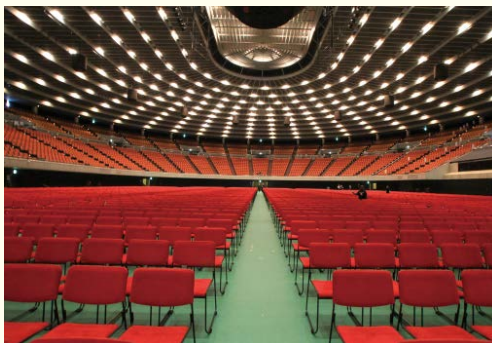
大阪大学は、教育目標に定める人材を育成するため、所定の期間在学し、所属学部において定める専門分野に関する知識・技能、教養、国際性及びデザイン力を身につけ、所定の単位を修得し学部規程に定める試験に合格した学生に学位を授与します。

### 【学習目標】

- 高度な専門性と深い学識** … 専門分野における知識・技能を有している  
課題解決のために知識・技能を活用できる
- 教養** ……………… 幅広い知識を有している  
複眼的・俯瞰的に思考し、客観的に評価できる
- 国際性** ……………… 異なる言語・文化を理解できる  
言語・文化の相違を超えて交流できる
- デザイン力** ……………… 社会・学問における新たな課題を発見し、解決の道筋を構想できる  
社会・学問における課題の発見・解決のために、様々な分野の人と協働できる

文学部は、大阪大学のディプロマ・ポリシーのもと、以下の能力や学識の修得を学士（文学）授与の要件とします。

- 高度な専門性と深い学識** … 専門的知識と、調査・研究のための方法・技能を系統立てて身につけている。  
調査・研究の成果と自分の知見を、日本語および外国語で明晰に論述する能力を身につけている。
- 教養** ……………… 学問全般にわたる幅広い教養を身につけている。  
多くの事象にわたる総合的な人文学的教養を身につけている。
- 国際性** ……………… 他者や異文化に対する鋭敏な感受性と深い理解力を身につけている。  
豊かな日本語能力と、2つ以上の外国語の運用能力を身につけている。
- デザイン力** ……………… 人間の精神的・文化的営みを深く内在的に把握するとともに、社会と文化の変遷を巨視的な観点に立って意味づけ理解できる。  
上記の能力をもとに、社会・学問における新たな課題を発見し、解決の道筋を構想できる。
- 独自の学習目標** ……………… 高度な専門性と深い学識、教養、国際性、デザイン力に基づいて、独自性を備えた卒業論文を作成できる。



## 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

大阪大学は、学位授与の方針に掲げる知識・技能などを修得させるために、教養教育、専門教育及び国際性涵養教育に関する授業科目を体系的に編成し、講義、演習、実習等を適切に組合せた授業を行います。

また、試験により学修成果を厳格に評価します。

文学部は、大阪大学のカリキュラム・ポリシーのもと、以下の方針でカリキュラムを編成します。

### 【教育課程編成の考え方】

4年間の学士課程を通じて、専門教育、教養教育、国際性涵養教育の3つの柱に基づいた科目編成を行い、人文学の高度な専門性と深い学識、幅広い教養、外国語の高い運用能力と異文化理解の能力に基づいた国際性、社会と文化を巨視的な観点から見通し現代社会の諸課題に取り組むデザイン力を養います。

**専門教育**……………1年次配当の必修科目「文学部共通概説」により、人文学全般の基礎とアカデミックスキルの基礎を修得させ、2年次の専修分属以降は、「専門教育科目」により、当該分野の学問的特性にしたがって、専門的知識を系統的に養います。また、4年次には卒業論文を課すことで、教員の指導の下で自主的に主題を設定し、研究計画を構想・実行し、人文学の教養と専門的知識を総合する豊かな論述・表現能力を身につけるように導きます。

**教養教育**……………1年次に全学共通教育科目により幅広い学問分野の基礎と情報リテラシーの基礎を学ばせたあと、2年次以降には「高度教養教育科目」により人文学以外の学問分野や領域横断的な分野に関する高度な教養を養います。

**国際性涵養教育** ……1・2年次には、「国際性涵養教育科目」により2つ以上の外国語の運用能力を修得・向上させ、2年次以降には、「外国語科目」と「高度国際性涵養教育科目」により異文化や他者に対する感受性と知識を培います。また、海外の諸大学との交流協定等に則った留学、海外研修、国際交流への参加を促すことで、上記の能力や知識をさらに高めます。

### 【学修内容及び学修方法】

講義科目では、個々の主題に関する体系的な知識を習得するとともに、与えられる論述課題を通じて、自力で資料を収集・分析・考察し、その結果を的確かつ論理的に構成・表現する能力を身につけます。また、演習科目では、各人が口頭発表を行うことで、日本語ならびに外国語の文献資料の読解・分析能力、調査・研究を的確に遂行する能力、その結果を論理的かつ説得的に発信する能力を身につけます。なお、本学部では演習科目を重視し、2年次以降に演習科目を20単位以上修得することを卒業要件としています。

**専門教育**……………全20専修の教員によるオムニバス形式の「文学部共通概説」の履修を通じて人文学全般に関する幅広い知識を得るとともに、専修決定の重要な判断材料とします。また、講義科目と演習科目からなる「専門教育科目」から選択履修します。専門分野によっては学外での実習やフィールドワークを取り入れた実習科目も開講しています。さらに、卒業論文作成を通じて、独自の課題について主体的に考究・発信する能力を身につけます。

**教養教育**……………1年次には、少人数制の演習科目「学問への扉」、講義科目「基盤教養教育科目」、講義とeラーニングからなる「情報教育科目」等を履修します。また、2年次秋以降には、文学部および他学部等で開講する講義科目または演習科目である「高度教養教育科目」を選択履修します。

**国際性涵養教育**……………1・2年次配当の「国際性涵養教育科目」および2年次以降配当の「外国語科目」を履修します。これらは外国語学習に主眼を置いた少人数制の科目であり、受講生の積極的な参加が求められます。英語の授業ではeラーニングも実施します。また、2年次秋学期以降には主として講義科目からなる「高度国際性涵養教育科目」を選択履修します。

### 【学修成果の評価方法】

講義科目、演習・実習科目においては、シラバス等に記載されている学習目標の達成度に従い、成績評価の方法（試験や課題、レポートなど）を用いて評価します。

卒業論文においては、主題選択の妥当性、論述の明晰さ、資料・文献調査の適切性、主張の独自性などを総合的に判断し、評価します。



# Admission Policy

## アドミッション・ポリシー

大阪大学は、教育目標に定める人材を育成するため、高等学校等における学修を通して、確かな基礎学力及び主体的に学ぶ態度を身につけ、自ら課題を発見し探求しようとする意欲に溢れる人を受け入れます。このような学生を適正に選抜するために、多様な選抜方法を実施します。

### 【求める人材像】

文学部は、古今東西の思想、言語、歴史、文学、芸術の分析的かつ総合的な探求を通じて対象を本質的に理解し、そこで得られた知見をもって現代社会の諸問題の解決に積極的に取り組む人材の育成を目的としています。そのため、本学部では、大阪大学のアドミッション・ポリシーをもとに、次のような資質を備えた学生を求めています。

- (1) 高等学校等で履修する主要教科の基本的な知識。
- (2) 日本語および外国語の文章を正確に読解する能力。
- (3) 論理的に思考し、自分の考えを口頭および文章で明晰に表現する能力。
- (4) 人文学についての基本的な理解と学問探究への強い意欲。

### 【入学者選抜の基本方針】

本学部の入学試験では、上記の学生を多様な評価基準によって選抜するために、一般選抜、総合型選抜、私費外国人留学生特別入試を実施します。

### 【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】

一般選抜では、(1)、(2)を重視し、大学入学共通テストで国語、地理歴史、公民、理科、数学、外国語を、個別学力検査では地理歴史または数学、外国語、国語を、それぞれ課します。(3)のうち、論理的思考力および文章表現力については、個別学力検査で評価します。

総合型選抜では、(3)、(4)を重視し、志望理由書や活動実績報告等の書類の提出を求め、小論文、面接を課します。(1)、(2)については、大学入学共通テストで評価します。

また、私費外国人留学生特別入試を実施し、高い日本語能力と学問探究への意欲をもつ外国人留学生を選抜します。



# 文学部のカリキュラム

2019年度から開始された新カリキュラムでは、「教養教育」「専門教育」「国際性涵養教育」の3つの柱からなる縦型教育となっています。文学部の教育課程は、1・2年次の全学共通教育で開講する科目と、2～4年次の主に文学部で開講する科目によって編成されています。文学部を卒業するには、合計130単位以上を修得する必要があります。

## 履修モデル

学年	学期	教養教育系科目	専門教育系科目	国際性涵養教育系科目	自由選択枠 (10単位)		
4年次	秋～冬学期	高度教養教育科目 (2単位以上選択)	卒業論文(10単位)	高度国際性涵養教育科目 (4単位以上選択)	自由選択枠 (10単位)		
	春～夏学期		専門教育科目 (必修28単位) (選択38単位以上選択)				
3年次	秋～冬学期		演習を20単位以上修得する必要があります。			英米文学・英語学専修、ドイツ文学専修、フランス文学専修に所属する学生は、外国語科目2単位を含まなければなりません。	
	春～夏学期						
2年次	秋～冬学期	健康・スポーツ教育科目(2単位)	基盤教養教育科目 (6単位以上選択) ※一部専門教育科目の単位となるものがあります。	第1外国語 (8単位)	第2外国語 (4単位)	選択外国語 (4単位)	グローバル理解 (8単位)
	春～夏学期						
1年次	秋～冬学期	学問への扉 (2単位)	情報教育科目 (2単位)	第1外国語 (8単位)	第2外国語 (4単位)	選択外国語 (4単位)	グローバル理解 (8単位)
	春～夏学期	学問への扉 (2単位)	情報教育科目 (2単位)	第1外国語 (8単位)	第2外国語 (4単位)	選択外国語 (4単位)	グローバル理解 (8単位)

■ 履修クラスが決まっている必修科目   
 ■ クラス・教員等を選択して履修する必修科目   
 ■ 多数の開講科目から選択する科目  
 ※春学期のみの科目

## 卒業までに必要な単位

### [全学共通教育で開講する科目 36単位以上]

学問への扉…2単位

基盤教養教育科目…6単位

「哲学の基礎」「アジア史学基礎」「フランス文学入門」「芸術の歴史」「日本語学基礎」などから選択履修（一部、文学部の専門教育科目となるものもあります）。

情報教育科目…2単位    健康・スポーツ教育科目…2単位

マルチリンガル教育科目…24単位

第1外国語（8単位）…英語

第2外国語（4単位）…ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、朝鮮語、スペイン語、イタリア語の中から1つ選択。

選択外国語（4単位）…英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、ラテン語、ギリシア語の中から1つ選択。

グローバル理解（8単位）

### [主に文学部で開講する科目 84単位]

高度教養教育科目…2単位

「人文学概説」または他学部等で開講する高度教養教育科目を履修。

専門教育科目…78単位（必修30単位+選択38単位+卒業論文10単位）

専修によって単位は異なります。専門教育科目のうち、「文学部共通概説（2単位）」は、1年次に履修することができます。

この2単位は必修30単位に含まれます。

高度国際性涵養教育科目…4単位

文学部または他学部等で開講する高度国際性涵養教育科目を履修。

自由選択枠 10単位

高度教養教育科目や専門教育科目、高度国際性涵養教育科目などで要件単位よりも多く修得した単位が自由選択枠の単位となります。

## 履修のしくみ

文学部の対象とする分野は広い領域にまたがり、また多様な専門分野に分かれています。開講される授業科目の数は多く、めいめいの関心に応じた選択が可能です。教育カリキュラムにおいては、単なる知識の習得に満足するのではなく、考えるというプロセスとその論理的道筋を大切にしています。

### 第2外国語選択

入学前に第2外国語を選びます。外国語選択にあたっては、専修での研究内容を考慮した上で決定するのが望ましい形です。特に大学院進学を考えている人は、専門分野によっては入試で課せられる外国語について決まりがある場合がありますので、よく調べた上で選択してください。ただ、自分の趣味との関係や憧れの国の言葉だということを決めている人も多いので、堅苦しく考える必要はないでしょう。

### 文学部共通概説

2年次からどの専修に進学するかを決定する手助けになるよう、「文学部共通概説」が開講されています。文学部の教員が交代でそれぞれの研究や専修の概要について話をするガイダンスの色彩の濃い授業です。文学部のフィールドを知り、自分の好きな分野を見つけるのに役立ちます。

### 専修決定

大阪大学文学部の大きな特徴は、1年次に専修選択したのち、2年次から専修ごとに分かれ専門研究を行うことができる点です。専修決定をすると2年生から4年生の長い期間をその専修で過ごすこととなりますから、後悔しないよう慎重に選びましょう。1年次の必修である文学部共通概説の授業の一環として専修紹介と研究室訪問がありますので、この機会を利用して、積極的にいろいろな専修の研究室を訪れて先生方の話を聞いたり上級生や大学院生と話をしたりすることで、雰囲気や研究内容を知ることができます。好きな分野が最初からあって専修を決める人もあれば、1年次の文学部共通概説や全学共通教育科目の専門基礎教育科目を受講して興味を持って決める人もいます。また研究室の雰囲気を選ぶ人もいます。

### 卒論テーマ決定

担当教員の指導のもと自分のテーマを設定し、データを収集してそれを整理・分析し、自分独自の視点から問題を論じて卒業論文を仕上げます。

### 卒論提出

文学部での勉学の総決算です。心残りのないよう全力を尽くしてください。ただし、締切厳守ですからご注意を。卒論提出の後には、口頭試験が行われます。必要な授業単位を修得のうえ、この試験に合格すれば晴れて卒業です。



肥田翔子さん  
考古学専修出身  
所属：堺市博物館

歴史とは教科書で学ぶだけのものではないことを、博物館や遺跡に行っただけで実感ください。

現在、私は堺市博物館で考古資料専門の学芸員として働いています。普段の仕事は博物館内や収蔵庫の管理、学芸業務に関わる事務、展示企画や学芸講座の準備など、博物館運営に必要なことを日々行っています。

私は学生時代、将来の仕事は自分の勉強したことを活かし、歴史や文化財に関わるものにしたと考えており、もともとは博物館学芸員よりも文化財専門の行政職員が念頭にありました。この職は地方自治体に公務員として枠があり、地域の文化財の管理や調査、

普及活動などを担当し、学芸員資格を要する場合があります。自治体が運営する博物館に配属される場合もあります（今の私がそうです）。私の所属した研究室ではこのような行政職に就く先輩方が多く、自分も専門分野を仕事につなげたい思いから資格取得を目指しました。

学芸員資格取得のためには博物館学の講義と、学内・学外の博物館での実習を受けます。大変だったのは講義内容の幅広さで、博物館学では展示・教育・資料・保存・経営など

の知識を身につけなければならず、トピックも文理美術問わずさまざまです。しかしそれは自分の専門でない世界を知るきっかけにもなり、実際に働くと専門外の分野にも関わることもあり、必要な知識であったと実感します。

私は今の職場の前に、古墳時代専門の別の博物館にいました。今は市立の博物館に就職しましたが、館による違いを感じます。分野を深く掘り下げるか、地域を深く掘り下げるか、主眼が違くと見せ方も変わります。自分自身は大学時代から古墳時代を主に勉強してきましたが、今は堺市の現代まで続くさまざまな歴史に関心を持っています。今の目標は、自分で見つけた地域の魅力をあらゆる人に伝えられるような展示をつくることです。

高校生のみなさんには歴史とは教科書で学ぶだけのものではないことを、近くの博物館や遺跡に行っただけで実感していただきたいです。自分の住む地域にはどんな人がいて、どうやって地域ができたのか、教科書には記されていない、もっと自分に親しみのある歴史があります。学芸員になりたいと少しでも考えている方は、そんな身近な魅力発見から始めてみてはいかがでしょうか。

大阪大学文学部で選択的に取得できる資格に学芸員資格と教員免許状があります。

## 学芸員資格

学芸員とは、美術館や博物館で働く専門職員です。美術や歴史などに関わる資料の収集・保管・調査・研究を行うことや、展覧会の企画・開催を行うことが主な業務です。教育普及活動に従事することもあります。大学で学芸員資格を取得するためには、文部科学省令で定める博物館に関する科目を履修する必要があります。学芸員資格認定に関する科目については、実習を除いて2年次より受講できます。

### 博物館に関する科目

「博物館学」の授業を履修します。博物館全般にわたる概論に加え、資料や展示、保存、教育、生涯学習、情報メディア、経営など博物館の個別分野についての基礎を学びます。

### 博物館（学内）実習

豊中キャンパス内にある大阪大学総合学術博物館待兼山修学館などで、実習を行います。歴史・美術・考古の各資料を扱う実習に加え、総合学術博物館所蔵品などによる模擬展示を行います。

### 博物館（館園）実習

学外の博物館などに赴いて実習を行います。資料の取り扱いなどを実践的に学びます。主な実習先は「大阪歴史博物館」「大阪府立弥生文化博物館」「大阪府立近つ飛鳥博物館」などです。

私は、中学校社会科、高等学校地歴科・公民科の一種免許状を取得しました。所定の単位を修得し申請を行うことで、大学卒業時には一種免許状を、大学院修了時には専修免許状を得ることができます。

所定の単位には二種類の科目があります。教職に関する科目と教科等に関する科目です。前者については、平日の5時限目（16:20～17:50）および6時限目（18:00～19:20）、そして土曜日という限られた時間にしか開講されないため、バイトなどの調整が必要です。この科目が大変だったという方もいますが、私自身が苦労したのは、後者の科目のほうでした。私は日本学専修に所属していましたが、公民科の免許に必要な科目はすべて他専修の授業でした。そのため、自専修の開講科目との調整に大変気を使いました。また、教員免許取得のためには3～4つの実習をこなさなくてはなりません。実習期間中は授業に全く参加できないものもあるので、その点も大変でした。しかし、実習では実際に児童や生徒とかかわることができるため、その中で得られる経験は、大学内では得ることのできないものばかりでした。

教員になろうと決めたのは中学生の

### 前川拓人さん

日本学専修（4年）  
所属：追手門学院  
大手前中学校・高等学校  
（2020年4月より）

多様な人々の感情や思想と向き合い続けていける教員が私の理想です。



首里城、守礼の門前にて

時でした。高校で社会科という論理だけでは語れない性質を持つ科目に惹かれ、社会科の教員を志すようになりました。教員として学校という集団社会にかかわる以上、生徒や保護者の方々と共に組織を回していくことが必要不可欠であると考えます。学校社会に含まれる多様な人々の感情や思想と向き合い続けていける教員が私の理想です。

大学では、多様な人々と出会い、学び合える環境が用意されています。学びの内容も、自身の興味関心に基づいて選別することができます。しかし、そ

れは興味を持たない分野を学ばなくてもよい、というものではないと考えています。私自身、卒業研究は合気道についてのものですが、研究室ではジェンダーや戦争研究など、多くのことを先輩や後輩、同級生から学びました。それらのことはすべて自身の知的財産として蓄積されています。大阪大学は学べる分野の広い大学であり、個々が持つ興味関心には答えてくれる大学です。ぜひ、興味関心の網を広げ、思う存分学んでいてください。

## 教員免許

教員になるためには、各学校種ごとの教員免許状が必要です。（中学校・高等学校は教科ごとの免許状が必要です。）教員免許状を取得するためには、「特に文部科学省令で定める科目」「教育の基礎的理解に関する科目等」「教科及び教科の指導法に関する科目」「大学が独自に設定する科目」の各区分において定められた授業科目を履修する必要があります。1年次から計画的に履修するようにしましょう。

### 総合演習（1年）

夏から秋にかけて、学校現場で支援活動を行う「総合演習」があります。体育大会の補助や臨海学校への参加など、内容はさまざまです。

### 介護等の体験（3年）

中学校の教員免許状を取るために必要な実習です。老人ホームなどの社会福祉施設で5日間、支援学校で2日間の実習を行います。

### 教育実習（4年）

原則母校で実習を行います。授業だけでなく、指導案の作成や他の授業の分析、ホームルーム活動なども経験します。

### 教職実践実習（4年）

教職課程の総まとめとして、大学近隣の学校や施設で現場体験を行い、その後大学でワークショップ・討論形式の演習で締めくくります。

### 〔文学部で取得できる教員免許状と教科〕

○中学校教諭一種免許状＝国語・社会・英語・ドイツ語・フランス語

○高等学校教諭一種免許状＝国語・地理歴史・公民・英語・ドイツ語・フランス語

※一種免許状を取得した後、大学院で所定の単位を取得し修了すると、専修免許状が取得できます。

# Student Life

## 文学部生の生活

私は、現在、日本学研究室というところに所属しています。高校時代から日本近現代史やマイノリティの人々について関心があり、近現代「日本」の歴史について分野横断的に研究できる日本学を選択しました。最近では、主に戦後（1945年以降）に関心を持ち、占領軍兵士を相手に売春（性売）を行った「パンパン」と呼ばれる女性たちについて、オーラルヒストリーやジェンダーの議論を応用しながら研究をしています。

私が研究を本格的に行うようになったきっかけは、友人と2年間にわたって行った「自主研究」にあります。「自主

研究」とは、大阪大学未来基金の「学部学生による自主研究奨励事業」と呼ばれるもので、学部学生の独創的かつ意欲的な研究を奨励し、採択されたテーマには研究資金が援助され、教員から研究へのアドバイスを受けることができる制度のことです。友人と私は、2017年度と18年度に、この「自主研究」に応募し、「交流と断絶の占領期：大阪大学周辺地域を中心に」と「平和資料館における性暴力の表象について」というテーマでそれぞれ採択されました。「自主研究」では、聞き取り調査や当時の新聞記事、一次史料の調査だけでなく、東京や沖縄へ

のフィールドワークを行ないました。残された史料や人々への聞き取りを分析することで、公に記録されることなかった、人が生きた痕跡としての歴史を紡ぐことができました。この「自主研究」で得られた経験や知識は、現在の研究への原動力となっており、また、研究を継続して行いたいとの思いから、大学卒業後は大学院へ進学すると決めることにもつながりました。

今、皆さんにとって、「歴史を学ぶ」とはどのようなことでしょうか。私にとって「歴史を学ぶ」とは、過去と現在の往還であり、過去の人の声に耳を傾け、その声と対話することです。残された史料や聞き取りから人々の生きた痕跡を炙り出し、そこに潜む「なぜ？」を問い続け、そこから手繰り寄せられた歴史の糸を紡ぎ出すという「知的創造」が、大学での歴史の勉強だと思っています。大阪大学文学部には、歴史学だけでなく、文学、言語学、哲学、芸術学など、様々な分野があります。皆さんも、ぜひ、大阪大学に入学して、このような「知的創造」を楽しんでください！

私にとって「歴史を学ぶ」とは、過去の人の声に耳を傾け、その声と対話することです。



松永健聖さん  
日本学専修（4年）

## 文学部の施設

主に授業を受けたり、研究室がある施設です。80ページのマップも合わせてご覧ください。



### 文法経本館

1階には文学部教務係のほか事務部門が入っており、学生自習室や教育支援室など学生スペースも設置されています。2階から上には研究室や演習室があります。



### 日本語棟

日本学専修と日本語学専修の研究室があります。



### 芸術研究棟

主に美学・芸術関連の授業および研究が行われます。1階には視聴覚編集機材のあるメディアラボがあります。



### 文法経講義棟

文学部の専門教育の授業が行われます。1階にはリサーチ・コモンズがあります。

私がトロンボーンを始めたのは小学校4年生のときで、主に吹奏楽でトロンボーンを続けていました。大学生になりオーケストラへ入団したのは、何よりも管・弦・打楽器の多様な音色の楽器群が織りなす響きに魅せられたからでした。

私の所属する大阪大学交響楽団は100人を超える団員を有し、年2回の定期演奏会を中心に活動しています。定期演奏会ではプロの指揮者の先生をお招きし、本格的な音楽作りができることはこの部活の魅力の一つです。一方で普段の練習は学生が主体となって進めています。個人の練習から全体合奏まで時間が確保されているため、とことん音楽に向き合えます。特に合奏では練習の成果を発揮するだけでなく、他の奏者がどう仕掛けてくるかを感じてそれに応じていくコミュニケーションができるのが何よりの楽しみです。また私はトロンボーンを吹くだけでなく、指揮者の先生に代わって普段の合奏を進める学生指揮も務めています。楽譜を読み込み、強弱やテンポ、和音や細かなニュアンスを熟考し、指



小野真司さん  
美術史学専修(3年)

揮者や奏者と相談しながら練習を進めることは大変でしたが、仲間とともによりよい演奏を目指して曲に取り組んだことは素晴らしい経験でしたし、本番にて自分たちが作ってきた音楽が形となり、お客さんからお褒めの言葉をいただけたことはこの上ない幸せでした。

オーケストラは拘束時間も長く、練習も多いため大変な部活ではありますが、自分の予定に合わせて皆活動を楽しみ、学業との両立を図っています。私は西洋美術史学専修で戦間期のドイツの美術について研究しています。学業と部活で異なる芸術に触れることで両者の共通点に気づかさ

仲間とともによりよい演奏を目指して曲に取り組んだことは素晴らしい経験でした。



れたりヒントを得たりと、思わぬ点で良い刺激となっています。将来は研究者になるべく大学院への進学を目指しています。

文学部が扱う領域は非常に多岐に渡りますが、どれもが私たち人間の軌跡を見つめることで人間の存在を問い直す学問であると私は考えています。その学びは、たとえ直接的では無くとも人生を豊かにし、心の拠り所になるでしょう。研究のみならず普段の大学生活や部活での経験も含めて、大学はこれからの人生に重要なヒントを与えてくれる場であると、そう確信しています。

## 学生スペース 自習や研究に利用できるスペースです。



### 学生自習室

各種の辞典・事典や文学部の多様な研究分野に関する参考図書、最新の各種専門誌、パソコン、プリンター等が備えられており、落ち着いた環境で授業の予習、復習、その他の学習研究に取り組むことができます。



### メディアラボ

学生・教職員のメディア関連活動をサポートするための施設で、デザイン・映像関連のデジタル機器とアプリケーションが各種揃っています。一部機材の貸出もしています。Web制作の実習型メディア関連授業もここで開講されます。



### 教育支援室

学生の学習・生活・就職など多様な活動を支援するため、パソコン、プリンターの設備とともに、ミーティングスペースも設けられています。メールによる学習や生活等の相談も受け付けています。



### リサーチ・commons

学生や教職員の学習・研究・課外活動のための施設です。事前に申し込めばグループで利用することができます。

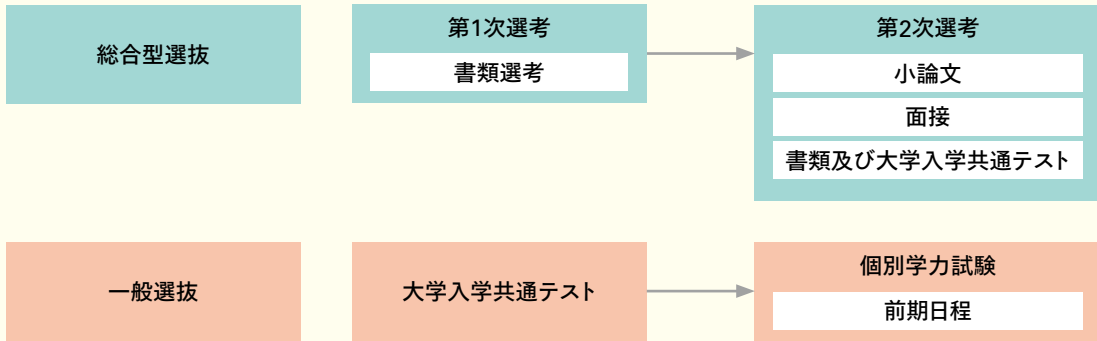
## 文学部の入試案内

文学部では、「一般選抜（前期日程）」と「総合型選抜（旧：AO入試）」を実施しています。

### 文学部入試概要

一般選抜（135名）

総合型選抜（30名）



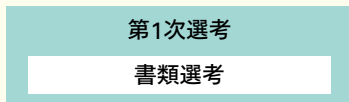
### 総合型選抜について

21世紀のグローバル社会で活躍する、主体的に学ぶ態度と能力を身に付けた意欲的な人材を受け入れます。

第1次選考は提出書類に基づいて行います。

第2次選考は第1次選考合格者に対して、小論文及び面接による試験を実施し、

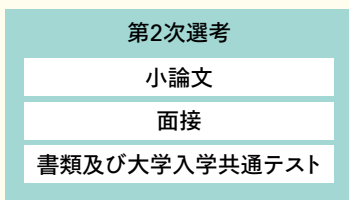
大学入学共通テストの成績、提出書類、小論文、面接の結果に基づいて、合格者を判定します。



#### 書類選考

高等学校在学期間における文学部の学問（哲学・歴史学・地理学・文学・芸術学・日本学など）に関連する活動、高い外国語能力を示す書類などを提出。

- 11月 …… 第1次選考（書類選考）
- 12月 …… 第1次選考合格者発表
- 12月 …… 第2次選考（小論文・面接）
- 1月 …… 大学入学共通テスト
- 2月 …… 第2次選考合格者発表



#### 小論文

日本語の文章を読んだうえで小論文を作成。読解力・論理的思考力・表現力などを判定。

#### 面接

一人ずつ実施。30分以内。

#### 第2次選考の合格者判定

小論文・面接・書類・大学入学共通テストの結果を合わせて判定。



「総合型選抜」の詳細情報は、大阪大学のホームページをご覧ください。  
<https://www.nyusi.icho.osaka-u.ac.jp/>



## 専修紹介

哲学・思想文化学専修	16
倫理学専修	18
中国哲学専修	20
インド哲学専修	22
日本史学専修	24
東洋史学専修	26
西洋史学専修	28
考古学専修	30
日本学専修	32
人文地理学専修	34
日本語学専修	36
日本文学・国語学専修	38
比較文学専修	40
中国文学専修	42
英米文学・英語学専修	44
ドイツ文学専修	46
フランス文学専修	48
美学・文芸学専修	50
音楽学・演劇学専修	52
美術史学専修	54



# Philosophy Thought and Culture

## 哲学・思想文化学専修

哲学は諸学の基礎の基礎に位置する学問です。例えば、何かが「存在する」とはどういうことか。「意味する」とはどういうことか。意見が違うのに、違うということだけは一緒に確認できてしまうのはなぜか。根拠付けができたためしがないのに、なぜ現実には崩壊せず歴史は終わらないのか。そして、こんなことを問っているのは、心なのか脳なのか何なのか。哲学はこうした問題に取り組んできました。あまりに基礎的なので、現在でもこれに代わる分野は他にありません。

私たちの専修では、西洋の近世から現代までの哲学思想の研究を行っています。教員は全員古典と現代哲学思想の両方に通じ、専門領域をあわせるとドイツ系、フランス系、英米系のすべてをカバーしています。私たちは「なぜ」という疑問をとことん考えるための手ほどきと時間を提供し、助けます。

<http://www.let.osaka-u.ac.jp/philosophy/>

### 教員

須藤訓任 教授	すとう・のりひで
舟場保之 教授	ふなば・やすゆき
望月太郎 教授	もちづき・たろう
中村征樹 准教授	なかむら・まさき
嘉目道人 准教授	よしめ・みちひと

### 何を学んでいるの？

#### 哲学の基礎A

言語哲学、認識論、心の哲学、社会哲学などの哲学的問題を取りあげ、解説の後、より深く広い視野から考える力を身につけるため、各自で問いに答えを与える訓練を重ね、心と頭の柔軟体操を行います。

#### 哲学の基礎B

ひとりの哲学者が書いた論文を手がかりにして、ギリシア哲学—中世哲学—近代哲学—現代哲学と、どのような問題がどのように引き継がれ、どのような回答が与えられてきたのかを、振り返りながら自分自身で考えることの重要性を学びます。

### どんな授業があるの？

#### 【講義題目】

西洋哲学通史（クザヌスから現代まで）

現代哲学史概説

#### 【演習題目】

ワイトゲンシュタイン『哲学探究』を読む

ニーチェの『ツァラトゥストラ』

### 教員が選ぶ印象に残った卒業論文

#### リベラリズムにおける寛容への批判

J. ロールズに代表される現代のリベラリズムが、政治的に解決されるべき差異を私的領域における本質的な差異として捉え、その対処を寛容に委ねている点を批判的に考察するとともに、こうした本質主義を脱構築する公的領域の形成に向けた提言が行われる、非常に優れた論文。（選：舟場保之 教授）

#### 【卒業論文題目】

心の哲学と現象学における「共同」概念

諸国家連合と世界市民体制

哲学と社会の接点—デカルトの場合—

ドゥルーズ『意味の論理学』における

ストア派由来の道徳について

脳死議論に関する考察—日米比較を通して—

ウォルトンにおけるフィクションの中の「真理」



## 自分の頭で深く考えたい人はぜひ来てください。

なぜ哲学・思想文化学専修を選びましたか？

**T.A** 哲学というと、一つ一つの言葉を大事にして、深く読み込んでいくという感じがしています。そういう意味で一番細かい議論をする学問だと思います。より深いところ、理論のようなところをしっかりと勉強したいと思い、哲学・思想文化学専修を選びました。

それは例えば何についての理論ですか？

**T.A** 例えば、「自由」についてです。そもそも自由なんてものがあるのか。あるとしたらそれはどういうものか。ないとしたら、どうして私たちは自由があるような気がしてしまうのか、といったことです。「自由」のように、普段当たり前に使っている基礎的な言葉の意味にまで遡って考えることが哲学なのだと思います。

「自由」といった哲学の問題をどのように研究していますか？

**T.A** 今は哲学者の書いた本を読んで、その哲学者について研究しています。原書を読むために語学を勉強したり、他の授業もあるので、今は自分の問題としたいテーマを直接に扱うため

の準備をしているという感じです。

**A.N** 研究室にはデカルト、スピノザ、カントなど特定の哲学者について研究している人が多いですね。「自由」の問題にしても、「デカルトにおける自由の概念」みたいな。

やはり、本はたくさん読まないといけないのですか？

**A.N** そうですね……（笑）。

**T.A** 経験から言うと、いきなり何でもは書けないと思います。本を読んでいって言葉の意味が分かって、その言葉が使えるようになって、そこから使える言葉を使って文章を書くのでなければ、ちゃんとした文章は書けない。そのためにも、哲学の古典や参考文献を丹念に読むことは必要なことだと思います。

**A.N** 確かに、例えば「自由」「時間」といったテーマで書くためには、何かを読んでそれを下敷きにして考えていかなないと…それが無いと思いつただけの文章ができません（笑）。

研究室の雰囲気を見せてください。

**T.A** 真面目な人が多いような気がします。実際に、専修イメージランキング（『文学部紹介2013-2014』）では、

「真面目な人が多そうな専修」という項目でぶっちぎりの1位でした。

**A.N** それは、あくまでも「多そう」だから（笑）。

**T.A** 一匹オオカミは多いかもしれませんが。ただ、大学院生も多く在籍していて、語学や研究のことでいろいろ気軽に教えてもらうことができますし、また関心の近い人たちが集まって読書会も多く開かれていたりするので、研究するには良い環境だと思います。

最後に、これから入ってくる高校生にメッセージをお願いします。

**T.A** ドイツ語やフランス語で文献を読む授業がありますし、哲学の抽象的で理解しづらい理論が急に出てきて大変かもしれませんが、それだけ鍛えられますし、哲学を専門的に勉強したい人にも…今はそれほど関心がない人にも…やりがいのある専修だと思います。

**A.N** 哲学的なテーマについて誰かと議論したい人、自分の頭で深く考えたい人はぜひ哲学・思想文化学専修に来てください。そして、自分の頭で考えるために、一緒に哲学の本を読み、議論をしましょう。

## 研究室に関わる書籍をご紹介します。



『超越論的語用論の再検討』

嘉目道人：著／大阪大学出版会／2017

アーベルが提唱した超越論的語用論は、現代ドイツ哲学の「言語論的転回」を主導した。しかしその主眼である「究極的根拠づけ」という哲学的課題には、多くの批判が寄せられてきた。本書は論敵ハーバーマースからアーベルに向けられた批判に対して、フィヒテとの関連から応答を試みる。超越論的語用論の哲学史的な位置づけの修正、直面している問題の解決、現代的意義の解明に取り組んだ著作。



『人権への権利』

舟場保之：監訳／大阪大学出版会／2015

経済的グローバル化の中で改めて希求されている人権概念を、様々な角度から哲学的に検討する諸論考の翻訳書。人権への権利はありうるのか。「人権侵害」を理由とする「人道的介入」は正当化されるのか。それぞれの論考に解題をつけて、問題圏へと読者を巻き込みます。



『メタフュシカ』

『Philosophia OSAKA』

哲学・思想文化学専修では、倫理学専修とともに『メタフュシカ』を年1回発行しています。教員だけでなく、大学院生が研究成果を発表する貴重な場となっています。また、海外に向けて研究成果を発信するために、欧文雑誌『Philosophia OSAKA』を発行しています。



## 書籍紹介



# 倫理学専修

倫理学は、私たちが社会の中で他者とともに生き、ともに何かをすることについて考える哲学の一分野です。扱われるテーマも、いのちと心、自己と他者、教育・福祉の問題、正義と暴力、性とジェンダー、マイノリティなど多岐にわたります。こうしたテーマに取り組むには、古今東西の哲学・倫理学の文献研究を基礎としながら、読む力・考える力を身につけること、また実際に社会で問題になっている事柄に向き合い、異分野の人たちと対話する力を養うことが大切です。

自分でじっくり考えると同時に、人々との対話の中で考えを発展させる。こうした倫理学専修の教育プログラムは、大学院での臨床哲学にも接続されています。大学院生や社会人とともに、対話法のプログラムや、より具体的な問題について、調査、ワークショップ、研究会、シンポジウム等を行っています。

## 学生・受験生のみなさんへ

高校の「倫理」とは一味も二味も違って、倫理学には「自ら知り・学び・考える」ことの魅力があります。その楽しさと難しさの醍醐味を堪能(?)できます。

## 倫理学専修が目指すもの

古典的な哲学・倫理学の文献を読むことができ、なおかつ今の社会の現実問題を「自ら/他の人たちとともに」考えることができる。欲張りですが、これが専修の目指すものです。

<http://www.let.osaka-u.ac.jp/clph/index.html>

<http://clphhandai.blogspot.com>

## 教員

堀江 剛 教授      ほりえ・つよし  
ほんま なほ 准教授      ほんま・なほ  
小西真理子 講師      こにし・まりこ

## どんな授業があるの?

### 【講義題目】

コミュニケーションの哲学  
ケアの倫理と臨床哲学  
マイノリティ・ワークショップ

### 【演習題目】

ソクラテック・ダイアログ文献講読  
フェミニズム哲学を読む  
ギリガンを読む  
哲学対話入門

## 何を学んでいるの?

### 倫理学講義／倫理学概論

倫理学の基礎的な考え方を身に付けます。前半は「倫理学説のテーマ」を幾つか取り上げ、その意義を解説します。後半は「現代社会の倫理問題」を考えます。

### 倫理学演習／p meets P

philosopher meets Philosopher. 小さな哲学者が大きな哲学者に出会う。哲学・倫理学の古典となっている文献をみなさんが選び、他の人たちに紹介する授業です。

### 倫理学演習／Ethics in English

英語による倫理学の講義。哲学的・倫理的な(多くの場合ヨーロッパ由来の)概念は英語でどのように表現されるのか、また私たちは英語でどのように議論できるか、などを学びます。

### 臨床哲学演習／ひろば臨床哲学

大学院生や社会の人たちとともに、哲学を「新しく作っていく」試みの場です。異なる分野や立場の人々との「対話」を通じた共同研究を重視します。

## 教員が選ぶ印象に残った卒業論文

### キルケゴールとともに経験の固有性を考える

筆者は、キルケゴール『恐れとおののき』読解を通して、倫理的に「理解できない」ことを超えた共感の可能性を見出そうとする。そこに、障がい者を含めたマイノリティの(理解できないことに起因する)「差別」という現代的問題を接続させる意欲作。(選: 堀江剛 教授)

### 母と娘の関係を通して考える女性のアイデンティティ

母による娘への干渉や、容赦のない感情表現などは、娘を生きにくくさせており、他の親子関係にはない特有の煩わしさがある。それを発端として「女性であること」を共有していることに着目し、母と娘の間に生じる葛藤を通して、女性のアイデンティティはどのように成立するかを論じた。(選: ほんま なほ 准教授)

### 【卒業論文題目】

治療的対話におけるポリフォニーの位置づけ  
中傷発言と応答責任  
生き残るということ  
心と体の移ろ性: 性別の不調和とどう付き合うか  
退屈の中の意味の喪失  
「うまれ」と決定: 誕生に関わる自己決定を考える  
利己主義の重層性について

全く違った見方や知識に触れることができ、考えの選択肢が増えます。

学生  
インタビュー

この専修を選んだきっかけは？

**田中** 卒業論文のタイトルに人間関係・教育・身体論など多様なテーマが挙げられていて、ここだったらやりたいテーマを追いかけられるのかなと思いました。

**米倉** 研究室訪問のとき、研究室の雰囲気やわらかかったことに惹かれました。先生もちゃんと話を聴いてくれる感じがして、人で選んだ感じがします。

**二宮** もともと哲学系に行きたいと思っていたんですが、この研究室は哲学的思考を外さない形で、どんなテーマでも受け入れてくれそうな感じがしました。

**徳田** 日常生活と関わりのあるような仕方で、仏教や哲学を勉強したくてこの研究室を選びました。

研究室の魅力は？

**田中** 私は化粧について研究してきました。はじめはこれをどうやって研究にするのか分からなかったです。でも曖昧なものでも発表すれば、いろいろアドバイスをもらえます。その中で自分にじっくりする方法を模索できる土壌がここにはあると思います。

**米倉** 卒業研究ではない部分でもいろいろな学ぶ機会があるところがいいなと思っています。勉強会や読書会に

誘ってもらったり、開催したりして、自分1人だったら読まなかった本を読むことができたのもよかったです。

**二宮** 一つの研究室なのに、それぞれの先生がみんな違う関心をもたれている、全然違った見方や違った知識に触れられるのがいいところかなと思います。今、自分の関心を考える手が増えていると感じます。

**徳田** これは当たり前だよねとか、これはダメだよねというところにある声も切り捨てずに拾ってくれるところがあると思います。そういう考えに触れると、自分が今までどれだけのいろんなものを切り捨ててきたかということに気づけて面白かったです。

研究室で学んで変化したことはありますか？

**田中** 以前は研究することは、一つの独立した活動みたいなものだと考えていたんですけど、それは実際に自分がどう行動するかとか、どう生きるかということに関わっているんだと思うようになりました。

**米倉** 自分がどうなりたいかとか、そのためにはどうすればいいのかとかいうことをよく考えるようになりました。哲学って現実の生活にとっても関わりがあると思っています、例えば、なりたい自

分について、ことばで教えてくれるなと思います。

**徳田** 人と話すときに話し方が変わったと思います。対面した人と話しているときに、今まで自分が考えに入れてこなかったことを考えながらやりとりするようになりました。考えの選択肢が増えて、幅が広がりました。

後輩に向けて一言！

**田中** モヤモヤした気持ちを抱えている人、ちょっとした火種はあるけれど、それを考える方法がうまく分からないという人は、この研究室が合っていると思います。

**米倉** ここでの勉強は生き方にすごく関わるなと思います。自分の生とか世界について考えることができます。

**二宮** この研究室にはいろんな関心を持っている人がいるので、自分の方向性が決まっていなくてもいろんな考えに触れることで、自分が考えたいことを見つけられると思います。

**徳田** この研究室はどんなことも切り捨てずに拾ってくれるところだと思います。まだ関心が決まっていない人いいと思います。

[インタビュー協力]

田中菜緒 (4年)、徳田颯人 (4年)  
米倉梨恵 (4年)、二宮晃紀 (2年)

研究室に関わる書籍をご紹介します。

書籍紹介



①

①『ドキュメント臨床哲学』シリーズ臨床哲学1巻  
ほんまなほ・中岡成文：編／2010



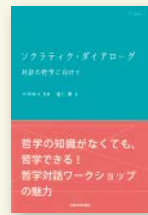
②

②『哲学カフェのつくりかた』シリーズ臨床哲学2巻  
鷺田清一：監修 カフェフィロ (Café Philo)：編／2014



③

③『子どものつくりかた：ケアと幸せのための対話』シリーズ臨床哲学3巻  
鷺田清一：監修/高橋 綾・ほんまなほ：著／2018



④

④『ソクラテック・ダイアログ：対話の哲学に向けて』  
シリーズ臨床哲学4巻 中岡成文：監修/堀江 剛：著／2017  
①～④大阪大学出版会



⑤

⑤『共依存の倫理：必要とされることを渴望する人びと』  
小西真理子：著/晃洋書房／2017



# Chinese Philosophy

## 中国哲学専修

諸子百家に代表される中国の思想は、世界と人間に対する深い洞察にあふれ、わが国を含む東アジアの文化形成にも大きな影響を与えてきました。

中国哲学は、中国古典の精読を通じて、広く東アジア世界の文化的・思想的特質を解明する学問です。本専修では、中国の思想形成を考える上で重要な儒家・道家・法家・兵家などについて学びます。また、これらの伝統的な典籍に加え、近年次々と発見されている新資料（竹簡）を活用して、通説の見直しを進めていきます。

さらに、大阪大学文学部の源流として知られる江戸期の学問所「懐徳堂」についても取り上げます。附属図書館が所蔵する懐徳堂関連の貴重資料に触れながら、実証的に日本漢学やその基盤となった朱子学を学ぶことができます。

目標としては、漢文訓読の基礎力や専門知識を身に付け、未知の資料の読解および多角的視点による考察を通して、中国思想史の謎や我々の生活に根付いた人間観のルーツの解明を目指します。実は身近であるにもかかわらず、あまり知られていない中国の思想について、ここでじっくりと考えてみましょう。

<http://www.let.osaka-u.ac.jp/chutetsu/>

### 教員

湯浅邦弘 教授      ゆあさ・くにひろ  
辛 賢 講師        しん・ひよん



### 何を学んでいるの？

#### 中国哲学講義—中国思想史概説—

儒家・道家・法家・兵家など諸子百家の思想について、最新の研究成果を踏まえながら、思想的特質、名言、現代的意義などについて学習します。

#### 中国哲学講義—儒教とコスモロジー—

儒教経学の諸問題、とりわけ漢代において儒教的真理はどのように追求されていたのか、その根底を支える陰陽五行・易・音律・曆・礼の思想を中心に解説します。

#### 中国哲学演習—中国出土文献の研究—

近年発見された戦国時代、秦代、漢代の竹簡資料を取り上げ、伝世文献と比較しながら精読します。毎回、担当者が釈文、訓読、和訳、語注を記したレジュメを元に発表し、全員で検討を進めます。

### どんな授業があるの？

#### [講義科目]

中国哲学基礎  
中国哲学講義

#### [演習科目]

懐徳堂文庫漢籍の研究  
易学の基礎演習

### 教員が選ぶ印象に残った卒業論文

#### 『孫子』における「天」の概念について

中国を代表する兵書である『孫子』は、『論語』と並ぶベストセラーです。合理的な兵法を展開する『孫子』が「天」をどのようにとらえ、自身の兵法に取り入れていたのか、新たに発見された竹簡資料とともに検討している意欲作です。(選：湯浅邦弘 教授)

#### 三宅石庵の「物」観

懐徳堂の初代学主を務めた三宅石庵の思想に迫ろうとした論文です。懐徳堂の研究は、その黄金期を築いた中井竹山・履軒兄弟が注目される一方、三宅石庵については、資料的な不足もあり、これまで十分な研究がありませんでした。画期的な意味を持つ卒論です。(選：湯浅邦弘 教授)

#### [卒業論文題目]

中国古代における遇不遇論  
銀雀山漢簡「五令」研究—五行思想との関わりを中心に—  
上博楚簡『恒先』の研究—「名」思想を中心に—  
上博楚簡『卜書』研究  
—『史記』「亀策列伝」との比較を中心に—  
五井蘭洲の学問的傾向—『質疑篇』を手がかりとして—  
富永仲基の礼楽観—懐徳堂との関係を中心に—  
藤澤東暎『辨非物』にみる泊園学の思想的特徴



## 漢文の読解、その意義の考察が主たる学習となります。

学生  
インタビュー

### この研究室を選んだきっかけは？

『三国志』がきっかけで中国古代史に惹かれました。漫画や小説、研究書など様々な本を読んでいくうちに、この時代の根底に流れる思想や宗教観に興味を持ち、今日に至ります。高校時代に読んだ新書の著者である湯浅先生が中国哲学研究室の教授だということも、選んだ要因の一つです。

### 研究室ではどのようなことをするのですか？

やはり漢文の読解、その意義の考察が主たる学習となります。演習では、近年新たに出土した竹簡の解読をしたり、阪大の源流の一つともいわれる懐徳堂の貴重資料の考察をしたりしています。初めて見る文献・資料が多く、毎回新鮮に感じています。

### この研究室に入ってよかったことは？

他の研究室に比べて少ない人数で構成されていますが、それゆえ多くのメ

リットがあります。最も大きな利点は、研究室に馴染みやすいことです。阪大文学部では、2年生からそれぞれの研究室に配属されます。ただ、研究室には多くの先輩がおられることなどから、他専修の友人の多くが「研究室に入りづらい」と話していました。その点、この研究室は人数が少ない分、先輩方との距離が近いことや、大学院生の先輩方と一緒に演習を受講する機会が多いことなどにより、研究室という新たな環境に早く慣れることができました。また、演習での発表の機会が多いため、後々必要になるプレゼンテーションやレジュメ作成の練習が早い段階からできます。先生との距離も近く、自分の学習についての確かなアドバイスをいただけることも、少人数ならではの利点です。研究室に配属されて1年目から、充実した日々を過ごしています。

### 後輩の皆さんに一言

中国哲学の分野は大変広く、必ず皆さんに合ったものが見つかります。勉強する人にとって最適な環境も整っているため、興味のある人にもそうでない人にもおすすめです。私たちと一緒に勉強してみませんか。

[インタビュー協力]  
永田陸登 (3年)



## 研究室に関わる書籍をご紹介します。

書籍紹介



『教養としての中国古典』  
湯浅邦弘：編著／ミネルヴァ書房／2018  
『論語』『老子』『戦国策』『列女伝』などの代表的な中国の古典を、最新の研究成果を踏まえて解説した書。今では見る機会が少なくなってきた写本・版本の図版や、原典に親しめる「名文読解」も収録し、中国哲学の基礎を学ぶのに適した入門書となっています。



『中国思想基本用語集』  
湯浅邦弘：編著／ミネルヴァ書房／2020  
古代から近現代に至る中国思想の主要な用語を網羅したコンパクトな事典です。全体を時代順・テーマ（人物・事項・文献）別に六つの章に分け、豊富な図版、資料、名言からコラムまで、楽しみながら読める充実の一冊です。



『竹簡学入門—楚簡冊を中心として—』  
陳偉：著／湯浅邦弘：監訳／  
草野友子・曹方向：訳／東方書店／2016  
陳偉氏の『楚簡冊概論』（湖北教育出版社）の総論部分を翻訳し、全四章に再編した書です。内容は、楚簡を中心とした竹簡に関するもので、文字の読み方や竹簡の扱い方まで、多くの実例を挙げながら解説しています。竹簡に興味がある学生や初学者にとって助けとなる概説書です。



# Indian Philology インド哲学専修

インド哲学専修では、仏教を含めた古典インドのさまざまな思想や宗教の研究を行います。具体的には、主としてサンスクリット語（梵語）やそれから発展した言語（パーリ語など）で書かれた文献の解読が研究の中心となります。サンスクリット語は初心者には難解に見えますが、内実はとても明晰な言語です。これを用いるインド哲学も実に「道理にかなった」世界で、批判的・論理的思考が研かれるとともに、現代社会が求める、課題を自ら見つけ解決する能力の訓練にも格好です。幅広い原典を読み解くことで、例えば業や輪廻といった思想が既に仏教以前に展開していたことや、インドの仏教が現在の日本の仏教と如何に異なっていたかが理解できます。上記古典語以外にも、諸現代語（辞書や文法書、研究書を利用するのに、重要性の順から独・英・仏語）をはじめとする訓練を根気強く積むことが必要ですが、難問を解決することが好きなチャレンジ精神に富む人には飛躍の舞台となることでしょう。

教育目標としては、2年次で、サンスクリット語をはじめとした基礎的な知識や学力を充実させ、3年次からは、大学院生との学問的な相互交流の中で原典を用いた研究資料の読解を開始し、4年次において、原典資料の的確な把握と正しい論理展開に基づいた卒業論文を作成することを目指します。

<https://handai-indology.wixsite.com/home>

## 教員

堂山英次郎 教授 どうやま・えいじろう  
名和隆乾 講師 なわ・りゅうけん



## 何を学んでいるの？

### インド学の基礎

古いサンスクリット語で伝承されたヴェーダと呼ばれる祭式文献に基づき、仏教以前のインドの社会や世界観について講義します。文化的源流であるインド・ヨーロッパ語族にも触れます。

### インド仏教史概説

「インド学の基礎」で学んだヴェーダ文献以後、仏教を中心としたインド思想がどのように展開していくかを時代順に講義します。現代語訳を通して原典資料に触れる機会も多く持ちます。

## どんな授業があるの？

### 【講義題目】

古代インド諸思想を読み解く ―ヴェーダから仏教へ―

### 【演習題目】

ヴェーダ文献研究

イラン文献研究

パーリ語文献研究1

演習科目は、言葉の一つ一つ分析しながら原典を精読する授業で、本専修のカリキュラムの中核を成します。昨年度は、紀元前1200年頃の編集とされるバラモン教の聖典『リグヴェーダ』や、インド仏教史の中でも初期（紀元前4-3世紀頃）の思想を伝えるとされる『ダンマパダ』などを講読しました。

## 教員が選ぶ印象に残った卒業論文

### 古代インドにおける kūrma 「亀」

古代インドのヴェーダ文献中に現れる「亀」の代表語 kūrma の使われ方を文献学的に精査し、これが祭式の成功や祭主の死後の天界行に大きな役割を果たしたことや、更には、後の叙事詩の神話形成にも関係し得る要素を古くから有していた可能性をも指摘した、ユニークかつ優れた研究です。（選：堂山英次郎 教授）

### 【卒業論文題目】

古代インドにおける kūrma 「亀」

Aṅgulimāla-sutta の考察

Ṛg-Veda における Varuṇa の研究―Indra-Varuṇa 讃歌を中心に

極楽浄土の着想源―転輪聖王神話説の検討

「直接的に与えられた意識の事実」についての仏教と現象学の

思惟―『金剛経』、フッサール、ハイデガーの基礎概念を中心に

Pravargya 祭の神話の研究

Mahāpadānasuttanta の考察―過去世思想に関して

prāṇa の考察―Bṛhadāraṇyaka-Upaniṣad

第六章を中心に

『リグヴェーダ』における女神アディティの研究

仏伝の考察―大品からラリタヴィスタラまでの縁起について



## 美しい構造を持つサンスクリットは、学びがいがあります。

質問①：本研究室を選んだきっかけを教えてください。

質問②：授業を受けてみた感想や、先輩へのメッセージをお聞かせください。

### 林 真帆（2年）

①きっかけは、堂山先生がしてくださったお話です。「自分と違うものを『おかしい』と一蹴するのではなく、新しい価値観として受容する経験は、これから生きていく上できっと役に立つ」。今、私はこの研究室で勉強しながら、自分の視野が少しずつ広がり、毎日が豊かになっているように感じています。

②よく作り込まれた美しい構造を持つサンスクリットは、学びがいがある上、様々な言語における単語の語源がたくさん潜んでいます。私はもともと言葉そのものや語源について興味があったので、授業で先生の話の聞いているとよく宝物を見つけたような気持ちになります（笑）。

### 福島泰斗（2年）

①自分は以前より、神話・哲学、およびそれらと密接に関わる古美術に関心があり、それら全てを扱えることから、この研究室に入りました。

②これからサンスクリットを学ぼうと考えている方に二点だけ、自分が感じたことをお伝えします。一点目は、サンスクリット語が合理的であることです。単語同士の繋がりが、活用の形に注目することで明確になり、それを駆使するテキストの訳読は、語学よりもむしろ、数学の問題を解くことに似ているかもしれません。二点目は、英語や他の第2外国語で学ぶ言語を扱うつもりで始めると挫折することです。音の結合や変化、名詞の性・数・格・動詞の語形の多さなど、新たに触れる概念が莫大にあるためです。敬遠されたくはありませんが、予め難しい言語であるという認識は持っておいた方が良いでしょう。

### 松尾颯斗（3年）

①私がこの専修を選んだ大きな理由の一つは「勉強できることの幅広さ」にあります。1年生の頃、歴史や言語、宗教や思想などさまざまなジャンルに興味のあった私は「インドの言葉で書いてあることなら何でもできる」という言葉に釣られてインド哲学、ひいては文献学の世界の門を叩きました。

②3年生になった今日では、アンチブラフマニズムの修行者たちである沙門の宗教に興味を持ち、先輩方や先生方の深い学識や、学問への情熱に刺激を受けながら勉強をしています。奥深いサンスクリット語や、緻密な文献学の世界。ヴェーダや仏教経典を原文で読む体験。これらの言葉に惹かれるものがある方は、是非インド哲学専修を進路の候補として考えてみてください。

質問①：来歴を教えてください。

質問②：研究内容を教えてください。

### 小林幹雄（博士前期課程1年）

①私は大学に入学したのが25歳でした。学部を卒業してさらに26年を経てこの研究室を知り、社会人特別選抜制度を受験して、久々に学んでいます。仕事をしながらですので思うように研究は進みませんが、内容の濃い授業は驚きに満ちています。（研究室の皆さんには高齢者扱いされることもなく（？）楽しく学ばせていただいています。）

②この研究室にはVedaならびに初期仏教専門の2人の先生がおられる唯一の研究室です。そんな中で「Saundarananda-mahākāvya」という仏教叙事詩を読み、紀元1～2世紀頃のインドの言語や社会背景を研究しています。

### 都築みのり（博士前期課程1年）

①私は学部時代を奈良女子大学で過

ごし、博士前期課程から大阪大学でお世話になっています。本来は2年生から本格的にサンスクリット語に取り組んでいるところを、後から追いつくのは中々骨が折れますが、先生方の根気強いご指導と研究室の同輩の協力を得て、充実した研究生活を過ごせています。

②インド最古の文献『リグ・ヴェーダ』に登場する契約の神ミトラの役割を調べています。ミトラと関連する名詞や動詞の意味を詳細に調べていく作業を中心に行います。

### 吉本詩織（博士前期課程1年）

①私は、大阪大谷大学卒業後2年間高校教員として勤務し、大阪大学博士前期課程に入学しました。小学生の頃から夢だった教師を生涯続けていく予定でした。しかし、勤務していた時、自ら命を断ちたくなるぐらい精神的に追い込まれた生徒がいました。なぜ

命を断ちたいのか、自らの命を断つことは罰があるのか、善か悪かなどの疑問を抱きました。

②現在、仏典や論文などから初期仏教の視点で自死について研究を行っています。

### 坪田さより（博士前期課程2年）

①私は学部も大阪大学文学部です。学生内では阪大イン哲歴5年目の最長老としておそれられています（笑）。

②宗教への関心から、古代インドの祭式文献を翻訳研究しています。祭式には冠婚葬祭や年中行事の他、富裕な首長によると思われる「王権儀礼」があり、インド・ヨーロッパ世界に広く見られる「戦車競走」や現代インドで忌避される「動物（牛を含む）犠牲」といった文化的に興味深い要素が含まれています。



# Japanese History

## 日本史学専修

1854年、ペリー率いる黒船の威力に屈して日米和親条約を結び鎖国は終わった—この一見自明な事実を証明するには、数多くの史料を発掘し、さまざまな手続を経る必要があります。また、日米和親条約の締結を広く東アジアの中に位置づけることで、今までの理解とは違った側面が見えてくるかも知れません。

皆さんは、これまで専ら他人が書いたものによって歴史を学んできたはずで、大学では、自ら課題を設定し史料を集め、自らの方法で独自の結論を得ることが求められます。本専修では、このような基礎的能力を身に付けるため、各時代の演習・講義を用意しています。皆さんはそれらを学んだ上で、最終的には卒論という形で自己の見解を披露することになります。

研究室では、院生・学生が絶えず議論をたかかわせています。春と秋には恒例の研究室旅行があります。さまざまな場を通して大いに自分を磨いてください。

### 日本史は暗記科目でもロマンでもない

暗記の得意な君、歴史小説の好きな貴方、だから日本史をと思うと、ギャップが大きいかもしれません。「歴史的事実」とは何なのか、史料に向き合いながらじっくりと考えてみたい人にこそ、お勧めです。

### 自ら調べ考える力を養えば怖いものなし

皆さんが思っている「歴史的事実」は本当に正しいのか。すべては「疑う」ことから始まります。新たな課題を見つけ、史料にもとづいて自らの主張を説得的に論じる能力を育成することに重点をおきます。

<https://sites.google.com/site/osakauniversitynihonshi/>

## 教員

飯塚一幸 教授	いづか・かずゆき
川合 康 教授	かわい・やすし
市 大樹 教授	いち・ひろき
野村 玄 准教授	のむら・げん

## 何を学んでいるの？

### 古代史の考え方—古代史と現代社会—

この講義では、災害と復興、歴史教科書、陵墓、皇位継承、天皇号、日本国号、文字、その他さまざまな話題を取り上げながら、古代史が現代社会とも密接に関わっていることを明らかにします。

### 日本史上の根本問題—日本とは何か、天皇とは何か—

この授業では、天皇号の成立に関する学説を検討し、憲法に規定される天皇という称号の意味を考えます。歴史的に連続するのか、または断絶しているのか、双方の見方に配慮して多角的に講じます。

## どんな授業があるの？

### 【講義題目】

平清盛と『平家物語』  
明治期の地方政策と名望家

### 【演習題目】

『類聚三代格』・『令義解』・『七大寺巡礼私記』の講読  
近世古文書の解読と史料の取り扱い

## 教員が選ぶ印象に残った卒業論文

### 室町幕府奉行人家の存在形態—一族や被官の活動から—

北山 航

足利義持期～義政期の中心的奉行人であった飯尾為種家を素材に、室町幕府奉行人家の存在形態を、一族や被官の活動から考察しました。訴訟の実務を、奉行人家の一族や被官が担っていた実態や、荘園領主が被官に依存度を強めていく様相を興味深く論じました。(選：川合 康 教授)

### 1920年代日本の対中国アヘン政策—山東省を中心に—

奥田 萌

近代日本は中国でのアヘンの販売や輸出に深く関わっていました。この論文は、第一次世界大戦後の山東省に焦点を絞り、日本のアヘン政策や中国側の動向を丹念に分析して、多くの日本人居留民がその売買に関与していた実態を明らかにしました。(選：飯塚一幸 教授)

### 【卒業論文題目】

エミシ移配政策の展開について  
令制キサキの消滅と女御の登場  
平安時代中後期における武士の存在形態  
近世後期京都における遊女商売の基本構造  
近世後期岡山藩における砂糖の生産と流通統制  
第五回内国勸業博覧会と大阪市の都市改造  
昭和七年陸軍特別大演習と都市大阪

日本史研究室はとてもアットホームな雰囲気、研究室構成員同士の仲が良いのが自慢です。先輩も後輩もみんな勉強熱心で、刺激を受けながら勉強することができます。学年の枠をこえた交流の機会もたくさんあります！ここではその一部を紹介します。

### 旅行

**新入生歓迎旅行** 毎年5月に行われる新入生が主役の旅行です。畿内の身近な史跡を日帰りですりまわります。有名な寺社から、普段は通過してしまうような史跡まで、実際に歩きながら見学します。2019年度は山科方面（琵琶湖疏水、毘沙門堂、山科本願寺、京都橘大学図書館など）へ行きました。2年生にとっては初めての大きな研究室行事であり、上級生・新入生どちらにとってもお互いに交流を深められる場となっています。

**研究室旅行** 10月に2泊3日で行われる研究室最大のイベント。2019年度は伊勢・和歌山方面（伊勢神宮、熊野本宮大社、熊野那智大社、和歌山県立博物館など）を巡りました。院生・学部生が協力して旅行委員会を結成し、学生主体で旅行を計画しています。見どころを詰め込んだ史跡見学ももちろんですが、学年の枠をこえて研究室構成員同士が交流を深めることができるのが、この旅行の醍醐味です。先生方ともたくさんお話できる絶好のチャンスですよ！



新入生歓迎旅行（東本願寺山科別院）



研究室旅行（那智の滝）

### 授業・例会

**史料演習** 先行研究で史料がどのように使用されてきたかを通して、研究の中で史料を使用する方法を学びます。教科書の中で見ていたような人物の日記や書簡を読むことは、彼らの新しい面を知ることができるようでとてもわくわくします。また、自分だけでは思いつかなかったアイデアが議論の中で生まれることも多く、史料と向き合うことで新たな見識が得られることを実感できる場でもあります。

**古文書演習** くずし字の読み方を学ぶことに始まり、現物の史料整理を行う中で日本史学の研究に不可欠な史料との向き合い方を学びます。この授業では、本物の古文書にふれながら史料整理の方法を学ぶことができるのが特徴です。長期休暇中には学外で古文書を整理する合宿も開催されています。また、月に1回程度研究室が借り受けている史料を整理する会もあり、日本史研究室では古文書にふれる機会がたくさん用意されています。実際の史料にふれながら、過去へ「タイムスリップ」する感覚を味わってみてください。

**研究室例会** 毎年、外部から先生をお招きして講演をしていただく会です。日本史学を牽引してこられた先生方のお話を伺うことのできる、非常に貴重な機会です。専門とされる時代にかかわらず、歴史学そのものや研究の方法論、これまでの研究生活などについてのお話をお聞きする中で、歴史学の奥深さを感じることができます。



研究室例会（熊谷公男先生をお招きして）

### 勉強会

**時代別勉強会** 専門の時代についての知見を深めるため、学生・院生たちが自主的に勉強会を開いています。現在「のんびり古代史勉強会」、「さわやか中世史勉強会」、「近世史勉強会ありもだ」、「近現代史勉強会一考会」という4つの勉強会があり、それぞれが活発に活動をしています。勉強会に参加する中で、研究の進め方や史料・論文の読み方を学ぶことができます。自分の興味のある時代や分野を探るため、複数の勉強会に参加している2年生も多くなります。また、長期休暇を利用して毎年旅行へ行く勉強会もあります。

**古文書勉強会** 学生・院生が主体となり、古文書の読み方を勉強しています。授業では2年次からくずし字の読みを習い、3年次から本物の古文書を用いた演習が始まりますが、この勉強会では、辞書の引き方からゆっくり、くずし字を勉強できます。古文書は一朝一夕に読めるようになるものではありませんが、ある程度読めるようになれば博物館などの展示史料も今以上に面白くなり、歴史の世界にぐっと入り込めるようになります。

### その他

**文学部専修対抗ソフトボール大会** 毎年春と秋に、研究室対抗のソフトボール大会を行っています。経験の有無に関わらず、みんなで楽しく優勝を目指します。2019年秋は、日本史研究室が優勝・準優勝を独占しました！普段勉強しているときとはちがった姿がみられるのも面白いところです。他専修の方とも距離を縮めることのできるよい機会となっています。



# Asian History

## 東洋史学専修

中国のみならず、その北～西方の中央ユーラシアと、東～南方の東南アジア・海域アジアを含めた3領域の歴史を同時に扱う専修です。特に、中国史では近世～現代の社会・経済・法制に関して、また中央ユーラシア史では隋唐～モンゴル帝国の時期について、東南アジア・海域アジア史では、ベトナムと東・東南アジア海域世界の中・近世史などについて、世界レベルの研究が積み重ねられています。文献史料だけでなく現地調査を重視するのも本専修の特徴です。アジアを正に位置づけた世界史教育の実現など、歴史教育刷新の動きの先頭にも立っています。

2年次には、領域を限定せず、広くアジアや歴史全般への眼を開くとともに、史料読解の基礎訓練を行います。3年次から、重点的に学習する分野・テーマを絞り、専門性を深めてゆきます。3領域のいずれも、漢文史料が不可欠であるため、2年次以降、継続して漢文読解の演習に出席し、古典漢語読解能力の維持・向上に努めることは必須です。また、研究室全構成員が参加し、分野を横断して議論を行う合同演習などを通じて、幅広い視野に基づく論理的思考やコミュニケーション能力など、学問の場を越えて通用する能力を身に付けることも目指されています。本当の学問は苦労も多いが実に楽しい、ということを体感してもらえよう、熱心に指導します。

<http://www.let.osaka-u.ac.jp/toyosi/main/>

### 教員

桃木至朗 教授 ももき・しろう  
松井 太 教授 まつい・だい  
田口宏二郎 教授 たぐち・こうじろう

### 何を学んでいるの？

#### アジア史学基礎A

中央ユーラシア草原地帯の遊牧民の活動を中心としつつ、ユーラシア全体の歴史展開の相互関連を理解するための講義。

#### アジア史学基礎B

異文化理解の一環として隣国中国の歴史をとりあげ、その文明・政治・社会・経済・思想に関する基本知識を修得するとともに、特に近世・近代史の諸事象から今日の中国理解のためのヒントを得る講義。

#### 世界史の考え方

世界最先端の研究および高校教員との長年の協力の成果を反映し、21世紀の市民社会に必要とされる「アジアを正に位置づけ日本を完全に組み込んだ」新しい世界史の講義。

### どんな授業があるの？

#### 【講義題目】

中国経済史、ベトナムの世界像と歴史像  
中央アジア=ウイグル王国史の諸問題

#### 【演習題目】

東洋史合同演習  
中国史・中央ユーラシア史・東南アジア史各英語演習  
漢籍基礎講読、漢籍中級講読  
海域アジア史研究法、古代トルコ・モンゴル文献学演習

### 教員が選ぶ印象に残った卒業論文

#### 唐西州期における墓葬について

これまでほとんど分析されてこなかったトルファン出土の墓券（地神からの墓地購入を証明する文書。買地券、墓田券とも呼ばれる）について詳細に分析し、これが『地理新書』に見られる墓券の文言とほぼ一致していることを明らかにしたことは高く評価できる。また、石や木などではなく紙で作られる当該墓券のもつ地域的な特色を浮き彫りにした点も、トルファンへの漢文化の伝播を考える上で大変に興味深い。（選：松井 太 教授）

#### 阮朝嘉隆帝期の対シャム外交

この論文では、19世紀初頭のベトナム・シャム（タイ）間の外交使節の人員や旅程、相手側での待遇を扱っている。中国との朝貢関係に比べて研究が遅れている東南アジア諸国間の外交関係の解明を行ったばかりか、その分析を通じて両国の権力構造にも迫る興味深い成果を挙げており、高く評価できる。（選：桃木至朗 教授）

#### 【卒業論文題目】

唐前半期の皇帝権力と宗教諸集団  
順治初ドルゴン摂政期での漢地遠征について  
光緒三十二年水災発生後の救荒活動—以工代賑を中心として—  
唐西州期における墓葬について  
阮朝嘉隆帝期の対シャム外交  
南宋期における出嫁女子の実態—『名公書判清明集』を手がかりに—

現地でのフィールドワークが重視されています。

### 東洋史学の授業

東洋史学専修では、講義のほかに諸言語の史料講読の演習や分野横断型の研究発表などの多彩な演習が開講されています。史料を読み解いていくのは大変ですが、一度読み始めたならやめられない魅力があります。



学部生の史料講読演習



東洋史名物「合同演習」

### 豊富な蔵書・図書館最寄りの東洋史学研究室

研究室には豊富な研究書・工具書・史料が所蔵されており、図書館からも最も近く大変便利です。



### 研究室の日常

研究室には普段から学生が集い、演習の準備や論文執筆に励んでいます。良き研究は多様性や個性を重んじる自由な雰囲気の中でこそ為されるものです。そのため、東洋史学研究室では学年の垣根を越えて自由闊達な議論が交わされ、各自がのびのびと好きな研究に打ち込めるような環境作りを重視しています。正規の授業だけにとどまらず、学生たちによる自主的な勉強会も多く開かれています。



学生が集う研究室



学生たちの勉強会

### 海外・現地調査

外国史を取り扱う東洋史学研究室では、現地でのフィールドワークや史料調査が重視されています。近年でも、イギリス・スペイン・ロシア・ベトナム・ラオス・中国・台湾・モンゴルなど多くの国や地域で教員・学生が調査を行いました。また、海外留学により見聞を広げ研究に活かすことも推奨されています。



山間村落での調査（ベトナム）



中国での石刻史料調査

### 海外への発信

教員はもとより、大学院生も、日本国内だけでなく国際的な水準で学界をリードする研究を目指しています。海外で開催される国際学会への参加や、海外学術雑誌・論文集への寄稿など、研究成果のグローバルな発信にも積極的に取り組んでいます。



国際学会で発表する大学院生



### 研究室イベント

東洋史学研究室では、メンバーの親睦を深めるためのイベントが盛りだくさん。春の新歓遠足や春・秋のソフトボール大会などを通じて、教員も含む全構成員がフランクに交流する研究室が実現しています。



春の新歓遠足（姫路・姫路城）



ソフトボール大会（17年春から3連覇）



# European and American History

## 西洋史学専修

西洋史学は地理的な範囲を説明するのが難しい分野です。ヨーロッパ文明の歴史がその中心的な構成要素であることは異論がないとしても、そのヨーロッパ文明は先行するオリエント、地中海世界の文明から深い刻印を受けています。また、16世紀以降、ヨーロッパ人が南北アメリカ、アジア、アフリカ、オセアニアなど世界の至るところに進出して、それらの地域にヨーロッパ文明を移植し、あるいはそれらの地域の伝統文明に多大な影響を及ぼしたことはよく知られているとおりです。本専修ではこうした地球規模での西洋文明の歴史を研究領域とし、きわめて多様なテーマについて教育と研究を行っています。個別の問題について実証的に研究しながら、それらを世界的視野で考察することができる専修だと言えるでしょう。

私たちの教育目標は、グローバル化が進む中、急速に変化する時代に対応できる、総合的な知的能力の養成です。つまり、問題発見力・情報収集力・分析力・総合力・表現力を養うことです。また現代を生き抜くもう一つの武器としての外国語、特に英語の実践的能力の習得を重視しています。学生のみなさんには、西洋史を学び、研究することで、問題を情報に基づいて深く考察するだけでなく、それを日本語と英語で、他の人びとに伝える能力を身に付けることを期待しています。

<http://www.let.osaka-u.ac.jp/seiyousi>

### 教員

秋田 茂 教授	あきた・しげる
藤川隆男 教授	ふじかわ・たかお
中野耕太郎 教授	なかの・こうたろう
栗原麻子 教授	くりはら・あさこ
中谷 悠 准教授	なかや・そう
Gerold Krozewski 教授	ジェロルド・クロゼウスキー
見瀬 悠 講師	みせ・はるか

### どんな授業があるの？

#### 【講義題目】

オーストラリア史・帝国史演習—ビッグ・データ—  
グローバルヒストリー入門講義、1970年代—アメリカと世界  
日常性の中の政治—前4世紀アテナイにおける市民社会と法廷—

#### 【演習題目】

イギリス帝国とグローバルヒストリー  
オーストラリア先住民の世界と白人侵略者の関係を  
妖獣バニヤップを通じて考える  
近現代史のなかのナショナリズムとアメリカ  
西洋古代史史料演習—『ネアイラ弾劾』を読む—

### 何を学んでいるの？

#### 西洋史学基礎A および西洋史学基礎B (1、2年生対象)

西洋の歴史に関する基礎的な知識を学ぶと同時に、歴史の研究手法や歴史のものの考え方などについての理解を深める授業で、共通教育で開講されています。専修の授業ではありませんが、履修を推奨しています。Aは前近代、Bは近現代を主な対象にしています。

#### 西洋古代史入門・文献講読など

西洋史の古代、中世、近世、近代、現代の各時代に関して、それぞれ講義・講読の科目があり、それぞれの時代の特色と歴史研究で話題とされているテーマが広く学べます。

#### 歴史資料学演習 (2年生対象)

歴史研究に必要な基本的な知識と技術を、実践に即して習得します。研究とはどんな作業なのかという問題から始まり、テーマ設定・仮説定立、文献の探し方・集め方、ノートの取り方から、論文執筆・口頭発表上の注意点にいたるまで、主に西洋史研究の初学者を対象に、研究の実際に即した知識と技術を学ぶ授業です。

### 教員が選ぶ印象に残った卒業論文

#### 18世紀前半イギリス帝国の形成と海賊討伐—ウッド・ロジャーズによる海賊掃討作戦を中心に

17世紀末—18世紀初頭のカリブ海(西インド諸島)は、海賊が横行する「海賊活動の黄金時代」であった。スペイン継承戦争後の1718年に、新たにバハマ総督に就任したウッド・ロジャーズは、海賊討伐作戦を展開し、大きな成果を収めた。本論文は、なぜこの時点で海賊討伐が行われたのかを、イギリス本国での商業革命の展開、その過程での海外貿易商や商船船長など「貿易従事者」の社会的地位の向上など、イギリス帝国の社会経済構造の変容と関連付けて論じている。(選: 秋田 茂 教授)

#### 19世紀アメリカにおける太平洋イメージの形成—なぜペリー艦隊は日本にきたか

幕末のペリー黒船来航を米国側の視点から再検討。なぜ1850年代の米海軍総督ペリーが日本を目指したのかという問題を、米国の対外関係史の文脈に位置づけなおした。特にこの出来事背景にある、太平洋観の変容に注目し、早くも米国が海洋通商帝国としての道を歩み始めていたことを明らかにした。(選: 中野耕太郎 教授)

#### 【卒業論文題目】

ローマ期エジプトにおける兄弟姉妹婚の選択  
13世紀イベリアにおける異教徒間共存のあり方  
17世紀後半財政=軍事国家としてのスウェーデン  
ジョン・アダムス『擁護論』におけるスイスの「議会」と「主権」  
—アメリカ建国期の国制論と共和政体を巡って—  
20世紀転換期ガリツニアにおける「ポーランド」の交錯  
オーストラリアにおける白豪主義の変容と崩壊  
ボスニア紛争における民族対立—ローカルな対立と媒介—



## 学生 インタビュー

時代や地域ごとに、多彩な授業が用意されています。

### なぜ、この専修に決めましたか？

**M** 高校時代から世界史が好きだったからです。とくにドイツ史に興味があったので、より詳しく研究したいと思って西洋史学専修に決めました。

**T** 私は歴史全般に関心があったので、他の専修と迷っていたのですが、明るい雰囲気にはひかれてこの専修に決めました。

### いつ頃、この専修に入ろうと決めましたか？

**B** 1年の後期に研究室訪問で決めました。先生方が熱心に自分の話を聞いてくださり、ここなら自分の好きなことが学べそうだと思います。

**O** 私は専修の選択直前まで悩んでいました。でも、西洋史では扱える分野が広いので、結果的にやりたいことを研究できてよかったです。

### 専修の魅力は何ですか？

**A** 「西洋史学」と一言でいっても学生の研究している分野はかなり多様です。他の人の研究発表を通してさまざまな地域の歴史や文化を学べるのが面白いと思っています。

**O** 海外旅行を深く楽しめる知識も得られますね（笑）。

**M** どの先生も、専門分野にとどまらず守備範囲が広いので、文献の情報から歴史の見方まで、とても有益な助言をいただくことができます。

**B** 先生と学生の距離が近くて、なんでも気軽に質問できるところも魅力ですね。

### どんな授業がありますか？

**K** 授業には講義と演習がありますが、この専修では演習の比重が大きいですね。演習では研究者の書いた論文や自分の研究について学生が発表し、それを踏まえて先生を含めた参加者全員

で議論します。

**B** 英語で自分の研究を発表するディベート演習もあります。他の演習でも外国語の文献を読む機会が多いので、語学力が身に付きます。

**O** 講義では、古代ギリシア史から20世紀のアメリカ史まで、各先生の研究テーマに関わる内容を深く学びます。歴史を学ぶとは、暗記ではなく考えることだということが分かります。

### この専修ではどんなことを研究していますか？

**K** 西洋史とはいっても、中には西洋という枠組みにとらわれず、アジアとヨーロッパの関係史を研究している人もいます。政治や経済、文化など、テーマもさまざまです。時代についても、古代から現代までそれぞれの関心に沿って研究しています。自分の興味次第でなんでもできるところ…かもしれません。

**B** 私はプトレマイオス朝エジプトに関心があり、卒論もそれについて書いています。

### 研究室の雰囲気、普段の様子は？

**M** 研究室といっても堅苦しい雰囲気はあまりありません。昼休みの時間帯には先生方や学部生・院生が研究室で一緒にご飯を食べて、楽しくおしゃべりをしています。

**A** 誰かが必ず研究室にいたので入りやすく、授業の合間などはお菓子を食べに行ったりします。研究に関しても、先輩や先生が親身に相談に乗ってくれます。

**T** 明るくてユーモア抱負、優しい方ばかりなので楽しいです。

**B** 先生と学生、学生のなかでも院生と学部生の距離が近く、和気藹々としています。研究の真面目な話から、就

活やアルバイト、さら

にはクリスマスの過ごし方など、研究室で繰り広げられる話題は幅広いです。

### K しかし、しっかり勉強しています！この専修で学ぶのに一番大切なことは？

**K** まずは「楽しむ」ことだと思います。自分が楽しめるテーマを見つけることができれば、いい研究ができるはずですよ。

**M** そのうえで、自分の研究にどのような意義があるのか考えることが必要です。研究を進めていくと、自分の研究に意味なんてあるのか？と悩むときが来るので、前に進めるためにも研究の意義をはっきりと認識しておくことは大切です。

**A** もちろん、自分が研究する分野の知識を深めるということも大事なのですが、もっと大切なことは、それらの知識を自分なりの視点に立って、論理的に構成することだと思います。レポートや卒論が論理的な文章にならないと先生方から突っ込まれます。

### 後輩に向けて一言！

**T** 3年間で学ぶ内容を決めるのは大変だと思いますが、焦らずじっくり考えてください。

**B** 大変な分、研究室の先輩や同期とともに仲良くなれます。歴史に少しでも興味のある方、ぜひ一度研究室をのぞいてみてください！



京都府西山1号窯の調査

# Archaeology 考古学専修

考古学は、遺跡や遺物などの物質資料の分析を中心に、人類の歴史や文化を研究する学問です。考古学専修では、大学が近畿にあるという地の利を生かして、日本考古学に重点をおいた研究や教育を行っています。とりわけ、ほぼ毎年フィールド調査を行っており、近年では古墳時代の前方後円墳や平安時代の窯跡などの発掘調査を行っています。

もちろん、教員や大学院生は海外調査にも出かけて外国との比較研究を積極的に進めており、広い視野で日本考古学の諸問題に取り組んでいます。専任スタッフが2名の小規模な専修ですが、研究室は昼も夜も活気に満ちています。ただし、考古学専修は考古学の専門家だけを養成するところではありません。自らの手で遺跡を発掘し、長期にわたる人類文化の展開を考える4年間は、どのような道に進むにせよ、みなさんの将来にとってきっと有意義なものになるでしょう。

学生時代の貴重な経験を糧にして、卒業生たちは、考古学の専門家として発掘調査の第一線に立っているほか、学芸員、教員、公務員、ジャーナリスト、企業人などさまざまな面で活躍しています。

<http://www.let.osaka-u.ac.jp/kouko/>

## 教員

福永伸哉 教授 ふくなが・しんや  
高橋照彦 教授 たかはし・てるひこ

## 何を学んでいるの？

### 考古学基礎

考古学の方法論と日本考古学の成果の概説。主に考古学にかかわる諸テーマの研究現状を紹介するとともに、考古学とかかわり深い博物館や埋蔵文化財保存の問題についても講義する。



石川県法皇山横穴墓群にて

## どんな授業があるの？

### 【講義題目】

- 考古学の基礎的方法
- 青銅器の考古学
- 日本古代における窯業生産
- 歴史考古学の諸問題

### 【演習題目】

- 考古学の基本技術
- 考古学英書講読
- 考古学文献演習
- 考古資料分析実践演習

## 教員が選ぶ印象に残った卒業論文

### 粘土槨の展開過程とその画期

古墳時代には、被葬者の棺を粘土で覆った「粘土槨」と呼ばれる葬法がある。それらの類例を集め、構築の過程を復元して、その変遷過程や歴史的意義を明らかにした。大阪大学の発掘した古墳が偶然にも未盗掘の粘土槨であったが、その調査に参加した経験と刺激が新たな論文を生んだ好例である。(選：高橋照彦教授)

### 【卒業論文題目】

- 甕形土器から見た弥生時代後期の地域間関係
- 三遠地域における弥生土器の地域色とその背景
- 畿内における古墳出現期土器の展開
- 粘土槨の展開過程とその画期
- 円筒埴輪からみた古墳時代中期の墳墓階層とその意義
- 古墳時代後半期における鉄鍬の規格性とその背景
- 軒瓦からみた長岡京造営と平安遷都



## 考古学研究室のことわたしたちが答えます！

研究室は勉強だけでなく、コーヒーを飲んだりしながら、いろいろな話題で盛り上がる、和気あいあいとした雰囲気。遺物の整理作業や発掘調査など、研究室一丸となつての作業が多いので、上級生から下級生まで分け隔てなくみんな仲良しです。

### 研究室 レポート



### 研究室の主な年間行事

- 4月 新学期ガイダンス
- 5月 新入生歓迎旅行（日帰り）  
歓迎会
- 6月
- 7月
- 8月
- 9月 夏休み
- 10月 卒業論文・修士論文  
中間発表会
- 10月下旬 研究室旅行（2泊3日）
- 12月 大掃除・忘年会
- 1月 卒業論文・修士論文提出
- 2月 予餞会
- 2月～3月 発掘調査
- 3月 卒業式

### 考古学の授業は？

考古学の授業には講義と演習があります。講義では、日本だけでなく海外の研究など幅広い範囲を扱います。講義を受けて、博物館にいくと、モノの見方が変わります。また、屋外に繰り出しての演習授業は考古学ならではです。



約1000年前の窯跡から出土した土器や瓦の分析中



研究室旅行で訪れた大分県・赤塚古墳にて

### 新入生歓迎旅行って？

5月には、新入生を歓迎して日帰りの遺跡見学旅行があります。行き先は毎年異なりますが、2018年は兵庫県、2019年は奈良県でした。発掘調査成果や文化財の活用事例を実地で学び、考古学の世界を知ることができます。

### 研究室旅行とは!?

秋にはみんなで旅行に行きます。昨年は、大分県・熊本県に行きました。旅先では遺跡や博物館だけでなく、土地の美味や温泉も堪能。温泉、遺跡、グルメ。それが考古学の研究室旅行です。

### 発掘調査って？

春休みは、研究室の一大イベント、発掘調査。2015年から兵庫県宝塚市の古墳を調査しています。測量、発掘、図面作成と自分たちで行うので、室内では学べないことも多く学べます。調査中は宿舎に泊まり、共同生活を行うので思わぬハプニングや珍事件も…。



各地で最新の出土資料を見学



研究室旅行にて楽しい昼食の風景



自分たちの手で遺跡の実態を解明していきます



# Japanese Studies

## 日本学専修

日本学と聞いてどんなことをイメージしますか？ 文学や史学といった他の専修と比べるとイメージがしにくいかもしれませんが、それは、日本学が学際的な研究や教育を目指す領域だからです。日本学専修は、日本を自明なものとして捉えるのではなく、歴史学、民俗学、人類学、文化研究、ジェンダーセクシュアリティ研究、表象分析といった多様な方法と視点から日本にアプローチします。そして、一国的な研究の枠組みではなく、日本を広く超えて展開される新たな日本研究の可能性を模索しています。そんなスリリングな知的作業に、あなたも加わってみませんか？

当たり前を考えなおす。それが日本学。

日常生活で当たり前だと思っていることは、本当に「当たり前」なのでしょう？ そうした気づきと一緒に探し、探求する場が日本学です。

### 日本学専修がめざすもの

内向きになりがちな日本への関心を多様に開き、さまざまな関係性の中で日本を捉えなおすことで、新たな日本研究のあり方を模索しています。

<http://japanese-studies.jp/>

### 教員

平田由美 教授	ひらた・ゆみ
北原 恵 教授	きたはら・めぐみ
宇野田尚哉 教授	うのだ・しょうや
北村 毅 准教授	きたむら・つよし
安岡健一 准教授	やすおか・けんいち

### どんな授業があるの？

#### 【講義題目】

戦後日本史  
戦後社会運動とメディア文化

#### 【演習題目】

同時代史研究  
『思想の科学』を読む  
戦後民主主義論を読む



### 何を学んでいるの？

#### 日本学演習

論文の読み方や書き方、文献調査・インタビュー・プレゼンテーションの仕方など、基本的なアカデミックスキルを学びます。

#### 比較文化学演習

近現代日本の社会・文化について、ビジュアルを含む史料をジェンダーなど多様な視点から読み解く力を養い、議論する演習です。

#### 文化交流史演習

「現代」につながる文化・社会の変容について、資料を読み、人の話を聞き、成果をまとめることを通じて学び続ける力を養う演習です。

#### 日本思想史講義

近世・近代の日本における思想史の展開について、言説と社会の関係性を重視しながら考察します。

### 教員が選ぶ印象に残った卒業論文

#### 奈良R・Rセンターという「経験」

—「バンバン」をめぐる人々の交流史—

奈良R・Rセンターは、日本が「独立」を果たした直後の1952年5月、奈良市内に作られた米軍の慰安施設です。朝鮮戦争の前線で戦う米兵たちを数日間休ませるために設置されたこの施設の周辺には「バンバン」も多く集まりました。彼女たちはいったいどんな女性たちだったのか？ センター周辺地域ではどのような変化がもたらされたのか？ 筆者は史料を丁寧に掘り起こし、当時の様子を知る人々に聞き取り調査を行うことによって、奈良R・Rセンターをめぐる個人の経験を「交流」の歴史としてとらえ直そうとしました。歴史をどのようにまなざし描くのかを問いかける本論文は他領域の研究にも多くの示唆を与える秀作です。（選：北原 恵 教授）

#### 【卒業論文題目】

「奈良のシカ」をめぐる環境と民俗—神使から観光資源へ  
「里親家族」の可能性—交流スペースeトコの事例から  
平和学習修学旅行と折り鶴の役割

—大阪府における実践事例から  
卒業はどう歌われるのか—桜の表象をめぐるって  
アニメ雑誌投稿で見るオタク女性の自己表現

—1980年代から現代まで  
現代日本における「韓国」観  
—2019年夏、大阪・生野コリアンタウンでの聞き取りを中心に  
合気道における修心性の継承  
—植芝家と「道統」の関係性をめぐって

## 物事の表層に捉われない視点を身につける。

**奈良林さんは現在、どういうテーマで勉強しているのでしょうか？**

**奈良林** いま私が興味を持っているテーマは「選択的夫婦別姓」についてです。今の制度だと、結婚した時に必ず当事者の片側だけが名字を変えなければなりません。それに、多くの場合で名字を変えるのは女性の側です。このことへの疑問からこのテーマを選びました。

**現在、日本学では学部生が自主的に研究会を行なっているそうですね。**

**奈良林** はい、参加者それぞれの関心から論文を選んで一人が発表し、皆で議論しあう、というかたちでの研究会をやっています。

**このあいだ様子を覗いたら議論が白熱していましたね。**

**奈良林** 時々熱を帯びることがあるんです（笑）。以前には、ボーヴォワールの『第二の性』を読んだ時にそんなことがありました。ただ、2年生から4

年生まで参加しているんですが、それぞれ発言しやすい雰囲気ということもあると思います。

**研究会での勉強は、どのように自分の研究テーマと繋がるのでしょうか？**

**奈良林** 日本学では学生それぞれが全然違うテーマで勉強をしているので、お互いに知らない分野を共有しながら勉強することで、視野が広がる、ということがあると思います。

**日本学の授業で印象に残っているものはありますか？**

**奈良林** 2年生必修で「日本学事始め」という授業があるんですが、その授業では文献の探し方からレポートや論文の書き方、パワーポイントでの発表の仕方など、大学での勉強に必要な基礎的な知識や技術が学べて、今でもとても役に立っています。

**基礎的なスキルが**

**学べる、という点は重要ですね。**

**奈良林** あと、日本学の専門科目に共通していることだと思うんですが、文献や資料に書かれてある事だけじゃなくて、その背景や文脈から読み取れることは何か、ということが常に求められますね。物事の表層だけに捉われない視点、というのが大事だと学ぶことができたのは大きかったと思います。

**後輩へのメッセージ**

**最後に一言お願いします。**

**奈良林** 日本学は現代の社会やそこに繋がる歴史について、色々な視点から考えることのできる研究室です。特に、今の社会にちょっとでも疑問や違和感を持っている人は、日本学でその点を突き詰めて研究することができますので、まずは研究室に遊びに来てください。

[インタビュー協力]  
奈良林朋美（3年）

日本学で留学？と思われるかもしれませんが、日本学で留学できます！私は今、イギリスのイーストアングリア大学（UEA）で1年間の交換留学をしています。UEAでは歴史学を専攻し、日本の歴史について教科書には載っていないようなことや、日本にいた時には議論にならなかったようなことまで学ぶことができ、新鮮で楽しいです。そのほかにも、イギリスの歴史の授業も多く開講されているので、日本以外の社会を知り、改めて日本社会を振り返るうえでも意義深いものとなっています。日本研究は日本だけでなく、他の国、地域でも盛んです。海外留学してまで日本のことを勉強するの？とよく驚かれますが、留学は単なる語学勉強ではなく、自分が学びたいこと、知りたいことをさらに深める大きな経験だと思います。

留学生活は想像以上に大変です。

飛行機から降り立てばそこは既に別世界で、新たに住む街や大学、寮も別世界でした。海外旅行もほとんどしたことがなかった私にとっては、留学だけでなく「海外に行く」ということから不安だらけでした。キッチンやシャワーの使い方が違ったり、食べ物も口に合わなかったり、何より言葉の壁はとて大きく、友達もなかなかできませんでした。徐々に慣れてきましたが、留学前の期待と、実際に留学先に来て「生活」をする苦勞の差は大きかったです。と、ここまで見るとやっぱり留学って大変なんだ…と諦めてしまいましたが、そんなことはありません。最初は誰だって大変ですし、苦勞も半端ないです。大阪で1人暮らしし始めた時と同じです。困難をどう乗り越えるかは自分次第で、この過程が何よりも学びとなることと思います。私はまだ留学生活の途上にいますが、留学後の

自分がどうなっているのか既に楽しみでワクワクしています。

まずは先輩の留学体験記などを読んでイメージをつかんでみてください。そこから、具体的な留学制度について調べたり、準備をしたり…やることは山ほどありますが、どれも後から振り返ればよい思い出です。こんな国や地域に行ってみたい、自分の専門分野を日本以外で学びたい、何か新しいことに挑戦したい、何でもいいです。少しでも留学に関心があれば、ぜひチャレンジしてみてください。

[寄稿]

野田朝香（3年）



イーストアングリア大学キャンパス風景



# Human Geography

## 人文地理学専修

人文地理学とは、人間と環境・地域との関係を考察する学問分野です。そこでの主なキーワードには、環境・地域・空間・景観・場所・ネットワーク・フローなどがあり、多様な視点を持つのがこの分野の特徴です。人文地理学専修では、人間-環境関係、人間-空間関係をさまざまな角度から分析・考察しています。講義を通じて先行研究の視点や、方法論・手法などを理解し、演習や実習では、論文講読・フィールドワーク・データ解析・図表作成・プレゼンテーションなどを体験し、知識を深め、技術を習得します。

人文地理学専修は1995年に講座化されましたが、大阪大学には1950年代以来、人文地理学者が在籍し、地図研究の蓄積があります。また、近年では都市・農村研究の蓄積もあり、多面的な研究と教育を行ってきています。間口が広い専修であるといえるでしょう。

入口がたくさんあるのが人文地理学です！

人文地理学では、人間と地域・環境・空間・場所との関係を多面的に考えます。論理的・分析的に考えたり、現地調査にでかけたりします。多くのことに関心のある人を待っています。

論理的に考え、行動し、分析する人材の育成

人文地理学では、調査・研究の方法論や技法の理解、論理的な思考、そして現地調査などの経験を重視した教育を行い、地域や空間で展開する問題を構造的に捉える視点を養います。

<http://www.let.osaka-u.ac.jp/geography/>

### 教員

堤 研二 教授	つつみ・けんじ
佐藤 康也 教授	さとう・けんや
井本 恭子 准教授	いもと・やすこ



### 何を学んでいるの？

#### 人文地理学の考え方

人間と環境との関わりを研究する学問として、熱帯や温帯地域の環境利用・環境問題・人口誌といった題材を紹介しつつ、地域性とそれを越えた人間性を理解するための地理学的方法論を学びます。

#### 人文地理学の話題

主に都市に焦点を当て、都市化・都市システム・都市の内部構造・都市圏などに関する理論と事例について学び、地図・写真・映像など多彩な資料を通じて都市にアプローチします。

### どんな授業があるの？

#### 【講義題目】

人文地理学の展開と社会経済地理学

地誌学の方法と課題

歴史地理学の視座

自然地理学の基礎とその応用

#### 【演習題目】

人文地理学基礎演習Ⅰ・Ⅱ

人文地理学文献講読

地域調査実習

人文地理学卒論演習

### 教員が選ぶ印象に残った卒業論文

#### 時間地理学的分析

空間と時間とは密接に結びついており、その複数の次元に人間行動を位置づける手法は、スウェーデンのヘーゲルシュトランドが確立しました。卒業論文では、推理小説での一連の密室殺人の現場にいた人間たちの行動を分析したものや、ストリート・パフォーマンスたちの行動を考察したものがありません。(選：堤研二 教授)

#### 日本における女性就業の地域差とその要因

日本の女性就業率は、子供を育てる年齢に大きく落ち込むことが知られていますが、実は日本全国で大きな地域差がみられます。この卒論では、市町村レベルの全国データを用いて分析を行い、経済的要因だけでなく文化や女性就業に対する意識が地域差の要因となっていることを明らかにしました。(選：佐藤康也 教授)

#### 【卒業論文題目】

大阪市西成区における民泊の立地展開と宿泊者の動向

商店会組織の活動とその意義

バイナリー発電を利用した温泉地の活性化に関する研究

日本の都市部におけるシェアサイクル運営の課題

外国人による日本の観光地の表象に関する研究

書籍購買先の選択に関する研究

ラストマイル関連施設の展開



卒業論文中間発表会の様子



実体視による空中（航空）写真の判読



教室創設21周年記念行事での展示（2016年10月）

## 「地域調査」と「人文地理学演習」の2つをご紹介します。

まずは地域調査から。人文地理学研究室では毎年、地域調査を実施しています。2014年から2019年にかけては、毎夏に島根県隠岐郡隠岐の島町を対象として地域調査を行いました。2016年には大阪大学の近隣地域を対象とした地域調査のグループもあり、どちらかを選択して参加する形でした。ここでは、隠岐の島町の地域調査について紹介します。隠岐の島町は、日本海に浮かぶ離島（島後）の1つです。独自の生態系や地形を有し、牛突きや古典相撲などの伝統ある文化が見られ、林業や漁業、観光業が盛んである一方、高齢化や人口流出が進む地域でもあります。地域調査は現地を訪ねる前から始まっています。島の基礎知識を把握しておくだけでなく、聞き取り調査の質問項目

をリストアップしたり、スケジュールを立てておく必要があります。当日は、実際に聞き取り調査を行いつつ、八朔牛突きなどの隠岐の貴重な文化を体験します。調査後には、各班で内容をまとめて報告書を作成します。人文地理学のスキルを実地調査で習得できるのが特徴と言えるでしょう。

そして人文地理学演習です。先ほど紹介した地域調査とも関わりがあり、地図の読み方や聞き取り調査のノウハウを身につけます。また、グループで統計分析や多変量解析を行ったり、GIS（地理情報システム）を扱い、分析内容をまとめます。地域分析の技法をグループで協力しながら学べることも特徴の1つと言えるでしょう。このような地域分析には数学や統計学の知識が必要になりますが、演習では初歩

的な内容にも触れていくので心配ありません。

以上、研究室について少しだけ紹介しました。両者に共通するのは、頭の中に知識を蓄えるだけでなく、それを実際に引き出して活用したり、手や体を動かして調査や研究を進めたりすることの重要性です。そんな人文地理学と一緒に学んでいきませんか。



文：T.T.（4年）



ドローンを用いた台風による倒木被害調査

### なぜ人文地理学専修に？

- ★地図を眺めるのが好きだったから。
- ★センターでも二次でも地理に助けられてきたので、このまま運命をともにしようと思ったから。
- ★人間環境と空間・場所を結びつけるという人文地理学特有の多角性に惹かれたから。
- ★自分の興味関心と地理を関連付けると何でもできるという幅広さがあるから。
- ★地理が好きだったから。

### 研究室に入って良かったことは？

- ★広い視野と深い知見が得られる。
- ★各地のお土産が食べられる。
- ★旅行時の交通手段についてアドバイスをくれる人が多い。
- ★社会派で、良い意味で文学部らしくない勉強ができる。
- ★バラ色のキャンパスライフがあなたを待っています！

### 研究室の雰囲気はどんな感じ？

- ★学部生と院生の垣根を越えて話ができるアットホーム感。
- ★研究には真面目に取り組み、飲み会などは楽しむ硬軟両様のメリハリ感。
- ★学部生でも気兼ねなく居座れる作業場。
- ★とても和やかな雰囲気先輩や後輩といろいろな話ができる。

### 興味のある研究分野は？

- ★認知地理学という、「人間が空間や環境をどのように認識しているのか」を明らかにする分野。
  - ★都市の再開発やコミュニティの維持・形成といった分野。
- これから入学してくる後輩にメッセージを！**
- ★興味関心の幅を広げておくと、専門的な内容を掘り下げるときにも間違いなく役立ちます。
  - ★好奇心を持って余している方を歓迎したいと思います！
  - ★多様な切り口がある大学の地理学は、いろんなことに興味のある人にはうってつけの学び舎になるのではないのでしょうか。

### 高校時代、地理を履修していた？

- ★YES 9人/13人中
- ★やはり地理履修者が多いようですが、大学の地理学と高校の地理は少し違うので、履修していなかったからといって困ることはありません。

### 大学入学前、数学に苦手意識はあった？

- ★YES 6人/13人中
- ★人文地理学の授業では数学や統計学の知識を扱うことがありますが、数学に苦手意識があったメンバーも結構います。





# Japanese Linguistics

## 日本語学専修

日本語学専修は、現代日本語学、社会言語学、応用日本語学の三つの領域の教育・研究を行っています。

現代日本語学では、日本語を数ある言語の一つとして客観的に捉え、実証的に、文法・語彙・音韻・表記等の体系を明らかにすることを目的としています。

社会言語学では、地域差（方言）・年齢差や場面による言葉の違いなど、現代社会に存在する日本語の多様性と、それがもたらす言語学的・社会的な問題を把握し、分析します。

応用日本語学では、日本語を母語や第二言語として習得する人たちが、どのようにして期待される発話行為を行い、その中で自分らしさを構築していくのかを、まわりの人々の関わりかたにも注目しながら考えます。

### ことばとその使い手に関心のある方へ

日常生活で抱く日本語についての疑問・日本語の使い手に対する興味・ことばを学ぶ人への共感や気づきを研究へと育てていくことの楽しさを、ぜひ実感してください。

### 日本語学専修がめざすもの

日本語をめぐる諸問題に対するさまざまな角度からの研究アプローチを自分のものとし、日本語の体系や運用、習得の実態について追究する力をつけてほしいと思っています。

<http://www.let.osaka-u.ac.jp/nihongogaku/>

## 教員

石井正彦 教授	いし・まさひこ
渋谷勝己 教授	しぶや・かつみ
田野村忠温 教授	たのむら・ただはる
Matthew Burdelski 教授	マシュー・バーデルスキー
三宅知宏 教授	みやけ・ともひろ
高木千恵 准教授	たかぎ・ちえ

## どんな授業があるの？

### 【講義題目】

日本語文法研究の基礎、探索的データ解析による日本語研究、言語分析の諸問題、接触言語学概説、社会言語学、言語とジェンダー

### 【演習題目】

現代日本語研究の諸問題、批判的コーパス語彙研究の実践、語用論、社会言語学の展開、言語・方言記述の実践、会話分析

## 何を学んでいるの？

### 日本語文法研究の基礎

日本語の文法に関する基礎的な事柄を学び、日本語がどのような言語であるのかということについて理解を深めます。また同時に、日本語を研究するための基盤を身に付けます。

### 日本語基本語彙論

日本語の基本語彙について、これまでの重要な先行研究と、近年新たな視点から行われている研究の成果を紹介、講読しながら、総合的な検討、整理を行います。

### 社会言語学概説

ことばの地域差、年齢差などを中心に、ことばと社会の関わりを考える社会言語学の研究領域について学び、自らテーマを設定して調査研究を行えるためのスキルの習得を目指します。

### 言語分析の諸問題

日本語を主たる対象とし、言語現象の分析に用いる資料とその諸問題について多角的に考察します。電子媒体の言語資料（コーパス）の可能性の検討に力点を置きます。

## 教員が選ぶ印象に残った卒業論文

大学生の自然会話における評価表現—「やばい」に着目して—  
若者が日常生活でよく使う「やばい」という評価表現を分析したもの。友人同士の会話で「やばい」が使われるときのバラ言語的要素、ターン、連鎖などに着目し、仲間意識や連帯感等を強める重要なリソースであることが明らかになった。（選：マシュー・バーデルスキー 教授）

### Twitterに見られる副詞的表現「無限に」について

「無限にかわいい」のような、主として形容詞類を修飾する「無限に」の用法について分析した論文。Twitter上のことばを対象にしたことで他のデータにない用例を集めることができ、「無限に」の程度副詞としての用法が実証的に明らかになった。（選：高木千恵 准教授）

### 【卒業論文題目】

現代日本語における「すぎる」の用法について  
関西出身の友人同士の会話における「な」の使用  
関西方言の終助詞「ワ」のコミュニケーション機能について  
京都方言「ハル」の談話上の機能について  
視覚翻訳における異文化要素  
非動作性名詞のサ変動詞語幹化用法の意味と特徴  
会話におけるスピーチスタイルシフト





当たり前の中にふだん意識しない真実が潜むことを明らかにしていきます。

#### なぜ、日本語学講座を選んだの？

- ★一般教養の日本語学基礎が面白かったから。
- ★研究室訪問のとき、卒論・修論のテーマ一覧を見て身近な疑問を題材にして面白かったから。
- ★日本学棟は薄暗いけど、研究室があたたかい雰囲気だったから。
- ★日本語そのものの仕組みや社会の中での使われ方などに興味があり、より深く学びたいと思ったから。
- ★もともと方言研究に興味があり、阪大の日本語学講座は方言学分野に強みがあると聞いていたから。
- ★もともとことばに興味がありました。英語学と迷いましたが、自身の経験から来た疑問について考えられる点に惹かれたから。
- ★高校生の時、自分が話すことばと他の人が話すことばが違うことに漠然と興味を抱いたから。

#### 日本語学講座・日本語学の魅力・面白と思うところは？

- ★学部生から院生まで垣根を超えて意見を出し合えるところ。
- ★「日本語」に関するものであれば、さまざまな分野から学べるところ。
- ★研究室の行事が多くないので、自分のペースで自由にできるところ。
- ★自分が普段何気なく使っていることばについていろいろ学べるので面白い！
- ★自分が知っているようで知らなかったことや気づいていなかったことについて研究できるところ。
- ★母語としてずっと使ってきたのに気づいていなかった法則などが分かる感動する。
- ★個性あふれる先生方のキャラクター。
- ★日常会話でも気になることがたくさん出てきて、刺激あふれる日常生活が過ごせる。
- ★データを扱うので、ちょっと自然科学っぽい。
- ★アンテナさえあればテーマが無数にある。

#### どんな授業があるの？

- ★日本語学の基礎をきっちり教えてくださる授業や、コント映像を分析したり新聞の語彙を調査したりする実践的な授業などさまざまあります。
- ★文法・語彙・会話分析などさまざまだが、身の回りの具体例を挙げつつ授業を行うので学ぶ内容を身近に感じられる。
- ★グループワークがあれば個人発表もあり、いろいろなことが学べる。



#### おすすめの授業は？

- ★全部!!
- ★やっぱり演習が楽しいです。「何」を「なに」と読むときと「なん」と読むときの違いを数回に亘って考えたのが楽しかったです。
- ★方言を研究したり、日常会話の録音からことばの機能や効果を探ったり、文法を見直したりとかなり幅があります。

学生  
インタビュー

#### 研究室はどんな雰囲気なの？

- ★学部生から院生までさまざまな学年の方が同じ部屋を使っているので、学年の壁がなく和気藹々とした雰囲気です。
- ★和やかでアットホームな雰囲気。
- ★学年問わず仲が良い、真面目な人が多い。
- ★自由。外国籍の方も多いため、いろいろな話ができる。
- ★建物はずっと暗いけど、研究室は明るい雰囲気(笑)。
- ★幅広い興味・分野に寛容。
- ★困っていたら、みんなが助けてくれる。
- ★先生に質問しやすく、程良い距離感で楽しい。
- ★留学生の方も多く、国際色豊か。

#### 日本語学講座を一言で言うときズバリどんな講座？

- ★自由！
- ★何でもできる場所。研究内容はもちろん、方法も自分で決められるので考える力が身に付く。
- ★知れば知るほど面白く感じる。
- ★考えることをやめない人たちの集まり。
- ★マイペースに研究
- ★気づき
- ★日本語を再発見できる。
- ★胸が高鳴る！

#### 後輩・高校生へメッセージをお願いします。

- ★ことばに対する何気ない疑問について、とことん考えて答えを見つけれられる講座です。
- ★現代日本語であれば大体のことは研究できるので、気になることがあれば、ぜひ一度のぞいてみてください。
- ★今まで考えたこともなかったこと、知らなかった視点を知ることができるのは大学ならではの、とても楽しいですよ！
- ★日本語(言語)に少しでも興味があれば、必ずやりたいことが見られるかと思っています。ぜひ来てください！
- ★普段目にしていない耳にしている日本語すべてが研究対象になり得る分野です!!
- ★普段当たり前に使っていることばにほんの少しでも疑問を持てる人には絶対におすすめです。

[講座紹介協力者]

3年：13名、4年：4名、博士前期課程：8名、博士後期課程：1名



研究室旅行で参拝した熊野速玉大社

# 日本文学・国語学専修

日本文学では、古代・中世の和歌や漢詩文、『源氏物語』などの物語文学、説話や随筆、近世では芭蕉・西鶴や秋成らに代表される俳諧や浮世草子、読本、近代では明治期の一葉や漱石から現代文学にいたるまで、ほぼ全ての時代とジャンルを研究の対象としています。古写本や板本、書簡などの文献資料を扱うための基礎技術（書誌学など）の習得に重きを置いています。

国語学では、音韻・文法・語彙・文字などの各分野について、日本の言語を歴史的に研究します。さまざまな言語現象を論理的・体系的に明らかにしていくのですが、社会的、文化的、また心理的な面を考慮することも必要です。古典など文学作品の言語から現代の言語まで、国語に関することは全て対象となりますが、歴史的変遷を考える研究や、文献に基づく研究に重点が置かれます（下線部が日本語学専修との差異）。

自国の文化や言葉について、その歴史的な変遷を含めて深く知ること、すなわち、日本についての“本物の知識”を得ることは、国際化が進み、社会情勢が複雑化する今日、ますます重要になっています。本研究室では、こうした今後生きてゆく上で土台となる思考を学ぶことが可能です。

[http://www.let.osaka-u.ac.jp/jealit/\\_Nihon/\\_Nihon\\_Index.php](http://www.let.osaka-u.ac.jp/jealit/_Nihon/_Nihon_Index.php) (日本文学)

[http://www.let.osaka-u.ac.jp/jealit/\\_KoKu\\_Index.php](http://www.let.osaka-u.ac.jp/jealit/_KoKu_Index.php) (国語学)

<http://nichibunkokugo.blog.fc2.com> (ブログ)

## 教員

金水 敏 教授	きんすい・さとし
飯倉洋一 教授	いいくら・よういち
岡島昭浩 教授	おかしま・あきひろ
滝川幸司 教授	たきがわ・こうじ
岸本恵実 准教授	きしもと・えみ
斎藤理生 准教授	さいとう・まさお
勢田道生 准教授	せた・みちお

## どんな授業があるの？

### 【講義題目】

詩序を読む、日本近代小説史、日本語意味論、国語学における方言学

### 【演習題目】

『俊頼髓脳』を読む、キリシタン版「エンボのハプラス」を読む  
『英草紙』を読む 4、国語辞典の研究

## 何を学んでいるの？

### 日本文学研究入門

物語論を援用して、日本近代文学の代表的な作品を読解しています。何が書かれているかだけでなく、どのように書かれているのかも分析することで、小説をより豊かに味わえるようになります。

### 国語学入門

私たちが古文の日本語を難しいと感じるのは、文法、語の意味、表記などが現代と異なっているからです。上代から現代に至る日本語の歴史を、文献に基づき考察する方法とともに学びます。

### 日本の文学C「江戸の怪談」

さまざまな江戸時代の怪談を紹介します。その題材・話型・表現などを検討し、現代にも通じる部分、江戸時代に特有の部分の両方を考えることで、江戸時代の人々の感じ方や考え方に迫ります。

### 教養としての日本語

「ジブリアニメを言語から分析する」いわゆるスタジオジブリ作品のアニメーション映画（特に宮崎駿監督作品）を、ストーリーの構造の分析、登場するキャラクターの分類を踏まえながら、その台詞のスタイルとキャラクターの類型的な分析を行い、作品をより精密に分析する方法について学びます。

## 教員が選ぶ印象に残った卒業論文

### 夏目漱石作品における〈笑い〉の表現について

#### ― 反復される表情 ―

夏目漱石の小説の登場人物たちが、しばしば印象的な笑顔を見せることに注目した考察。特に『三四郎』の美禰子が見せる白い歯と、『行人』の直の淋しい笑いを取りあげて、内面が分かりにくく、男たちを惑わせる彼女たちの性質を、反復される笑顔を糸口に、鮮明に解き明かした。（選：斎藤理生 准教授）

### ヒーローの名乗りの系譜論

「五人そろって!」「ゴレンジャー!」のように、日本のヒーローものの作品では、登場人物たちが自ら名乗りを上げ、それが一種のエンターテインメント的要素としてショーアップされる現象がある。その淵源を歌舞伎作品にたどりつつ、どのような作品に受けつがれ、変化していくかという系譜をたどっていく。（選：金水 敏 教授）

### 【卒業論文題目】

物語文学における「大宮」呼称

―『うつほ物語』・『源氏物語』を中心に―

『とはずがたり』における信仰と後深草院の位置づけ

豆男物の研究

猫を悼む日本漢詩について

村上春樹『私たちの時代のフォークロア

―高度資本主義前史』論

フィクション作品における「おネエキャラクター」の発話について

『リア王』の日本語訳の研究―言葉遊びを中心に―





じっくりと資料と向き合う、奥の深い授業が魅力です。

学生  
インタビュー

#### 研究室の雰囲気は？

A みなさんとても真面目に勉強されています。

B 分からないことがあれば先輩が優しく教えてくれますよね。

C 院生の方は資料など何か探し物があるときも助けてくれます。

D 私は発表準備の際にアドバイスをもらいました。

B 和やかで入りやすいです。

A 私はまだ入るのに少し勇気があるかな（笑）。

D 慣れば入りやすいですよ。

C 留学生の方々も楽しそうにしています。

#### 授業の雰囲気は？

A 講義よりも演習のほうが多いのが、楽しくも疲れるところですよ（笑）。

D 演習はどの授業も意見が活発に出て、とても内容が濃いです。

C 真面目な人が多く、すごくしっかりと議論が行われていると思います。

B 質疑応答が盛り上がり、授業外でも学生同士で議論している姿を見かけます。

D アットホームで発言しやすい雰囲気があります。

A 学年に関係なく自由に意見を言えます。笑いもあって楽しいです。

B みんなの意見・知識が深くて毎回感銘を受けています。

D 好きなことができていて実感があります。

#### はじめての演習発表

A 最初は手探り状態でしたが、先輩方の発表を見よう見まねで資料を作りました。発表後、意見をもらったのが嬉しかったです。

B 発表するということは担当内容について責任を負うことだと思っています。

す。限られた時間の中で論理的な内容を組み立てるのが難しいです。

C さまざまな質問をもらって視野が広がりました。

D くずし字が読めなくて大変でした。でも調べてゆく内に、分からないことが分かってくるのが面白いです。

A 質問されるのが怖くて緊張しました。ただ、この緊張感自分を成長させてくれるように感じます。

C 準備をしていれば心配することはないですよ。

B 発表を終えた際の達成感、言葉にしがたいものがあります。

D はじめは分からないことばかりですが、分からないことはどんどん周りに聞くと良いですよ。

#### 印象に残っている授業

D 国語学のキャラクター言語分析には衝撃を受けました。テーマやまとめ方の自由度が高く、最近のアニメやマンガを題材にすることが多いので、人の発表を聴いていても面白いです。

A 「このキャラはギャップ萌えをねらったのではないか」といった議論を先生と真剣にできるのがうれしいです。

C 私は役割語の演習が楽しすぎて専修変更してここにきました（笑）。

B 古典文学の演習では、くずし字を読むところから始まり、語句の解釈なども行いました。はじめは意味の分からなかった短歌が、さまざまな方向から調べてゆくことで理解できたときは嬉しかったです。

A 多くの論文を読み、知識を増やすことができたため、印象に残っています。

C 近代文学の演習では、思わぬ質問がどしどし飛んできて楽しかったです。

D グループで話し

合いを行うので、さまざまな人の意見を知ることができて楽しいです。

B 1年を通して一つの作品について多角的な考察が得られて、大変勉強になります。

#### 先生はどんな人？

C 親しみやすい先生が多く、質問などもしやすいです。

B 演習でも、基本的に学生の意見を受け入れた上で、学生には思いつかなかった観点からアドバイスをくださるのでとても勉強になります。

A 厳しそうで、最初は話しかけるのに勇気がいりました。でも実は面白い先生が多いです。ご自身の分野の話をされているときはひときわ楽しそうに話されます。

D 私は初めて研究室見学に行ったとき、挨拶ただけで出身地を見破られてしまいました。日々ことばを研究されている先生方の観察眼に驚きました。

#### 後輩へのメッセージ

A 時代を問わず、日本文学・国語学に興味があるなら、その「興味」を「学び」に発展させられる研究室です。

B 専修内でも講義や演習の内容は幅広く、学べることも多いです。いろいろなことができる専修だと思います。関心が多方面に向いている方にお勧めです。

C じっくり勉強ができる専修です。高校までの「国語」で知っていると思った日本語・日本文学を、まったく別物として見ることができます。

D まだ始めたばかりですが、「研究」は、高校時代に思い描いていた「勉強」よりも楽しいです。自分から積極的に行動すればするほど、学べることが多くあると思います。



# Comparative Literature

## 比較文学専修

比較文学は、主に西洋と日本の近代文学の相互関係を研究する学問です。ただ個々の作品の影響関係を貸借表や成分表示のように並べるだけではありません。そうした「西洋」の近代文学を受容する必要が生まれた文学のグローバリゼーションという大前提や、それに対する抵抗や独自の変容についても検討する必要があります。

例えば、オリエンタリズムやジャポニズムといった西洋の東洋に対する関心は、日本でどのように交錯したのか、その結果、「日本」や「西洋」という枠組み自体が、どのように作られ、変化していったのか、そのような相互交渉を扱うことが比較文学の本領といえます。

このほか、ある主題に従って世界の文学を横断するテーマ研究、絵画と文学といったジャンル間交渉、世界の各帝国と（脱）植民地主義をめぐる問題なども比較文学の対象となります。

いずれにせよ、一方ともう一方を比較する以上、その両方について綿密な調査と実証が欠かせません。そして両者の比較を可能にするだけの確かな外国語運用能力と厳密な方法論も求められることになります。

<http://www.let.osaka-u.ac.jp/hibun>



左：葛飾北斎「富嶽三十六景」(1830年代)の「東海道程ヶ谷」  
漫画を描く時に重要なパース。消失点に向かって奥行きを見せる透視図法ことパースペクティブは、ヨーロッパで発達しました。この画法は中国やヨーロッパの書物を經由して、江戸時代の日本にも紹介されますが、消失点が難しかったようです。そのため、もっぱら手前の近景と遠くの風景を対比させる、文字通り「遠近」法として定着します。そんな「遠近」法を駆使した北斎の浮世絵は、19世紀の欧米で新鮮な構図として転用されることとなります。

右：ロレンス・ハウスマン『アラビアン・ナイト物語』(1907)収録のエドモンド・デュラックによる挿絵。

デュラックが生まれ育ったフランスは、日本趣味ことジャポニズムの震源地となりました。ただし、デュラックが絵を学んだ20世紀始めには、絵画にみる日本ブームはほぼ終息していました。そこで彼は英国に渡り、挿絵という複製品で日本趣味を巧みに取り入れ、人気を博します。馬をラクダに、富士山を目的地の街に置きかえるなど、左図の右半分を違和感なく転用していることがうかがえるでしょう。なお場面は、デリアバーの娘が、殺された恋人の復讐に向かうという、ちょっと恐ろしい一幕です。

### 教員

橋本順光 教授 はしもと・よりみつ  
鈴木暁世 准教授 すずき・あきよ

### 何を学んでいるの？

#### 比較文学入門

現代の小説や映画が、どのようにして世界中で共有されるようになったのか、その経緯について、西洋文学の大きな流れや各地での衝撃や衝突を概観し、分析するための理論を学びます。

### どんな授業があるの？

#### 【講義題目】

オリエンタリズム研究と比較文学

#### 【演習題目】

オリエンタリズム小説と近代日本

### 教員が選ぶ印象に残った卒業論文

#### 『悲しみよこんにちは』の受容と母殺し

無名の少女が初めて書いた小説がベストセラーになり、社会現象まで引き起こす。まるで漫画の『響』ですが、サガンの『悲しみよこんにちは』(1954)は、そんな小説の先駆けとなりました。日本でも類似作品が生まれるなど、米国に敗戦したゆえのフランス・ブームもあり、話題になります。そこに「母殺し」という見逃されがちな主題に注目する点が秀逸です。(選：橋本順光 教授)

#### 裏切者ユダの表象と日本における変容

キリストを裏切ってしまう弟子のユダは、絵画でもおなじみでしょう。19世紀になると、ユダに焦点をあてた小説が欧米で登場します。フランケンシュタイン物語と同じく、博士よりも怪物が主人公になるわけです。太宰の「駈込み訴え」などにみる愛憎は、手塚治虫がブッタとダイバダッタの関係に援用するなど、広く影響しました。本論は、西川美和の映画『ゆれる』にその隠れた反響を聞き取ります。(選：橋本順光 教授)

#### 【卒業論文題目】

シャープ/マクラウドと薄田泣菫

郡虎彦の『義朝記』とギリシア悲劇

吉田喜重の映画『嵐が丘』にみる翻案

新選組の映画化における同性愛表象

満洲映画にみる李香蘭とその受容

海野十三作品にみる女性探偵表象

山岳異民族幻想と国枝四郎

灰谷健次郎の『太陽の子』と沖縄

「人魚の涙」とその戦後文学への転用

戦後日本の児童文学にみる「黒人」表象



『ネバーランド』  
恩田 陸：著  
集英社／2000

恩田陸『ネバーランド』。日本のとある男子校の寮で、冬休みに居残りを選んだ少年たちが過去を告白します。作者自身、萩尾望都の『トーマの心臓』をオマージュしたと述べており、要素は似通っています。ただ少年を傷つけるのが女性であったり、彼らもまた警戒しあうなど、作風はかなり違います。戦前日本の少女文化には、成熟した女性への嫌悪や反発が見られるといえます。実は『ネバーランド』の少年たちも、そんな少女が転生しているのかもしれませんが。(2年)

一学校は不思議な場所で、毎年同じことを繰り返しているのに、学生はそれをほぼ一度きりのこととして経験します。高2の冬休みは、友人とそれほど親しくなく親離れできなかった高1とも、受験で忙しくなる高3とも異なり、苦しい過去を告白する絶妙な設定といえるでしょう。

学校では、地域や能力の点で似通った人間が集められます。そのため、かえって違いが目立ち、短いつきあいなのに彼らへの反発と愛着は長く心の中に残ります。卒業して、もはやその友人を見(られ)なくなったとしても、どこかで存在を意識し、彼らからの距離によって自分の立ち位置や居場所を決めることも珍しくありません。学校をめぐる物語が追憶と相性がよく、実生活では男子校と無縁でも、そこを舞台にした物語が広く愛されるのは、このためでしょう。

「トーマの心臓」が下敷きになっている福永武彦の「草の花」は、そんな男子校小説の傑作です。こうした男たちの物語から隠れた主題を読み取ったり、物語自体をカスタマイズする最良の方法に、フェミニズム批評があります。最近だと北村紗衣の『お砂糖とスパイスと爆発的な何か』が、絶好の導きになるでしょう。



『トーマの心臓』  
萩尾望都：著  
小学館／1975



『草の花』  
福永武彦：著  
新潮社／1956



『ふしぎの国のバード』  
佐々 大河：著  
KADOKAWA  
エンターブレイン／2015-

佐々大河『ふしぎの国のバード』既刊6巻。明治に日本を訪れたイギリス人女性探検家イザベラ・バード。その『日本奥地紀行』をモデルにした漫画です。通訳として同行するのが伊藤鶴吉という青年。好奇心あふれるバードと、不審そうな伊藤らの双方の視線が描かれていて、そのすれちがいが見どころです。(2年)

一異国探訪の物語は、ポカホンタス伝説が原型となってきました。進んだ文明の担い手が、現地の社会と土地を調べあげ、略奪にいそむ。一方、相手の文化に魅了された男が対立に引き裂かれつつ、現地の女性と恋に落ちる、というものです。映画『サヨナラ』(1957)も、そんな一例。阪大近くの伊丹空港が米軍に接収されていた頃、そこから朝鮮戦争に飛び立つ米兵が日本人女性に恋する物語です。

もちろん、現実そんなに単純ではありません。ただし、男女のロマンスは気が滅入る現実をわかりやすく美化します。罪悪感まで歴史からとりのぞくので、常にどこかで必要とされる物語なのでしょう。『ふしぎの国のバード』は、この定式を逆手にとった漫画。男女を逆にし、アリスのような無知の女性がすばらしい「日本」に驚嘆するというわけです。

ただバードはイトウと苗字だけ記すなど、あくまで彼らは主従の関係でした(もともと、ガイドを特筆するのは当時では例外的)。それにバードは手練れの旅行家で、政府に情報提供するエージェントに近い存在でもありました。長く不詳だったイトウを伊藤鶴吉と発見したのは金坂清則の論文(2000)で、それを参考にして中島京子が小説『イトウの恋』を書いています。この漫画から読み取るべきなのは、もはや異国の眼を借りないと明治に共感できない落差なのかもしれません。



『お砂糖とスパイスと爆発的な何か』  
北村紗衣：著  
書肆侃侃房／2019



『サヨナラ』  
アメリカ映画／1957

『アラジン』  
アメリカ映画／2019

ディズニー映画『アラジン』(2019)。題名は『アラジン』ですが、実際の主人公はジャスミンです。アニメの『アラジン』(1992)とストーリーも歌も同じなのに、最後にジャスミンが「スピーチレス〜心の声」を歌うことで、まったく違う話になっています。歌詞も「心の声あげて叫べ」と、女性に呼びかけた意識になっていて、比べても面白いです。(3年)

一好き嫌いは別として、21世紀のディズニーは、政治的に正しくかつヒットするおとぎ話を次々に作りだしてきました。これまでのありがちなプリンセス物語を大胆に読みかえるのは、関連商品がこれまで通り売れるよう、不買運動をあらかじめ見越した営業努力でしょう。自社作品のリメイクをなかなか許可しないことを考えれば、アップデートはなかば義務とさえいえるかもしれません。

実写版『アラジン』のジャスミン姫も、途中までは男に付き従うばかりです。冒頭の曲One Jump AheadからA Whole New Worldまで、アラジンに文字通り手を引かれてジャスミンは城を飛び出し、新しい世界を知ります。しかし、城内では大臣にも父である王にも、政治への口出しを禁じられます。衛兵の手を振り払い、叫ぶように繰り返す「スピーチレス」は、男たちの前で言葉を飲み込まざるをえない女性たちの心の叫びともなっています。こうして石に刻まれ、変わらないと思われていた法律がついに書きかえられます(アラジンというタイトルやスタッフの名前などが印象的に登場して、砂のように消えていく冒頭はその伏線でしょう)。一方、あてにならないはずの口約束がしっかり守られるのは、心憎い対比です。

アニメ版と比較すれば、実写版では女性が教室で読み書きを学び、本を読み、街中で働いていることに気づきます。おとぎ話も規範も、私たちが次第で変えられるという希望の現れでしょうか。なおアラジンが、One Jump Aheadを歌いながらジャスミンと逃げる場面では、2拍「3」連など、物語の鍵である3がそこら中に隠れています。ぜひ自分の眼と耳で探してみてください。



# Chinese Literature 中国文学専修

中国文学は大阪大学文学部の中でも比較的若い専修で、文学のみならず古典時代の政治や経済・歴史・言語・哲学・芸術など、人間に関わるさまざまな問題をめぐって教育・研究が行われています。中国学の伝統に立脚しながらも、新たな風を吹き込もうとする若々しい活気に満ちています。

中国の文学者たちは古くから人間のさまざまな活動に興味を示してきました。本専修では、もちろん文学を中心に教育・研究が行われていますが、その志は高く、中国の文学者が興味を持ったすべてのものに等しく興味を持とうとしています。それは他でもなく、彼らが言葉で表現したすべてを、なるべく元のニュアンスで読み解こうとしているからです。言葉の分析を通して、人間という存在が生み出すさまざまな問題について考えてみましょう。そして、自由に発言し、討論してみましょう。授業においては中国の文献を読むうえでの基礎的訓練が行われますが、テキストの前では年齢や立場の違いはありません。本専修の若さはそういう面で発揮されています。

<http://www.let.osaka-u.ac.jp/chubun/>

## 教員

浅見洋二 教授 あさみ・ようじ

## 中国文学研究室の本



『中国文学のチチェローネ』  
大阪大学中国文学研究室：編  
汲古書院



『成化本『白兔記』の研究』  
大阪大学中国文学研究室：編  
汲古書院

## 何を学んでいるの？

### 東洋の文学「中国古典詩の世界」

唐および宋の時代を中心とする中国古代の詩を、さまざまな側面から考察し、その全体像を明らかにする。中国古典詩の特質を把握し、それをもとに人間や社会の本質をより深く思考してもらいたい。

### 中国の文学「中国古典小説の世界」

史書や小説、語り物等を題材に、中国の俗文学史を概観する。特に、唐代の伝奇小説や四大奇書・三言の登場人物や史実との関連などに関する、一通りの「常識」を身につけてもらうことを目的とする。

## どんな授業があるの？

### 【講義題目】

中国文学史概説  
中国歌謡史  
唐宋詩学の諸問題  
中国小説史

### 【演習題目】

蘇軾の詩を読む  
『西湖遊覧志余』講読  
『三朝北盟会編』講読  
中国学研究法

## 教員が選ぶ印象に残った卒業論文

### 「人殺し」の文学—殺人描写から見た水滸伝のおもしろさ

『水滸伝』は、言わずと知れたアウトローたちの物語。社会の周縁部でうごめく人間の姿が躍動する。その躍動を「人殺し」という視点から切り取ってみせたところに、本論文の魅力はある。人間にとって「悪」とは何か、そういった根源的な視点を忘れていないところも評価できる。(選：浅見洋二 教授)

### 李賀詩について

李賀は唐の詩人。「鬼才」という語は彼のために生まれた。その評語に違わず、人間を超えた「鬼(亡霊)」のような鬼気迫る言語表現を繰り広げる。その細部のメカニズムを緻密かつ繊細に読み解いてゆく本論は、文学研究のあるべき姿を示している。何よりも丁寧な言葉を追いかけること、それが文学研究の基本である。(選：浅見洋二 教授)

### 【卒業論文題目】

「人殺し」の文学—殺人描写から見た水滸伝のおもしろさ—  
風刺と滑稽—李漁『無声戯』をめぐって—  
李賀詩について  
楽府詩集について—楽府詩と時代の変遷の関係—  
魯迅作品における女性像  
「君子」への階梯

## 一文字一文字厳密に読むことが、発見につながります。

### なぜ中国文学に？

A 昔から中国の歴史にずっと親しんでいてね。もちろん、『三国演義』や『水滸伝』なども大好き。そんなわけで、ふと気づいたら、この研究室にいたんだ。

B 僕は、幼い頃から漢字に対して強い興味があったね。以来、なんとなく中国への憧れは持ち続けていた。中学校で漢文を教わったのをきっかけに、どんどん中国の文化にのめり込んでいき、今に至ったという感じかな。

C 二人とも、結構前々から中国に興味があったんだね。

B とうとう??

C いや、僕は実は元々日本文学に興味があったんだよ。ところが、日本文学を読み深めていくにつれて、その背後にある中国文学の影響というものを無視できなくなって。今では、すっかり中国文学畑に鞍替えしちゃったわけよ。

A みんな、いろいろ経緯があったわけだ(笑)。

### 研究室の雰囲気は？

B でも、なんだかんだいって、専修決定の決め手になったのはなんといつても研究室の雰囲気だね。

A そうそう！初めて研究室訪問に来た時、居心地いいなあ〜って思った思った！

C 先輩たちはみんな親切だったし、何よりも浅見先生が丁寧に僕達の質問に答えてくださっていたのが印象的だったなあ。

B 入ったあとも、みんな仲がいい！

A こうして和気藹々と座談会をしているわけだしね。

C 僕ら三人は義兄弟の契りを交わしているぐらいだよ！僕ら、生まれた時は別々でも、死す時は同年、同月、同日を願わんってね！

B 現代版桃園の誓いだ(笑)。

C でも、やっぱり研究室に出入りしやすいというのは大きなメリットだよな。

A 僕らの研究室は、学生や先生間

の垣根が特に少ないよね。誰でも研究室に自由に入出入りできるし、研究室に行ったら常に誰かがいる。

B 僕らもよく研究室で、いろいろなことを喋るよね。専門分野について一緒に語り合える仲間がいるっていうのは、やっぱり大きいと思う。

### どんなことを研究しているの？

A 僕は、中国の小説が、どのようにして成立していったのかということに興味がある。例えば、『水滸伝』の成立過程なんかをみても面白い。よく言われるように、『水滸伝』には百回本や百二十回本などいろいろなテキストの系統があるけど、なぜこのような形になったかということは、考えてみて非常に面白い。

B 僕は、文学よりは、漢字の研究だね。漢字と言っても、最近は文字の形や意味よりも発音に興味があって、漢字が1000年前や2000年前にはどのような音で発音されていたのかということ、解き明かしていきたいと思ってる。だって、詩を朗読するときも、作詩当時の中国人の発音で音読できたら、素敵じゃないですか！

C それはそうだ(笑)。僕は、六朝文学、特に辞賦に興味があるなあ。

### 授業について

C 演習では、詩歌や散文を一文字一文字丁寧に意味を調べて考えながら読んでいく。これに尽きる！

A なんとも地味〜な作業だけど、人文学というものは本来こういうものであるはず。

B 逆説的だけど、一文字一文字厳密に読めるっていうのが、僕ら中国語非母語話者の強みだよな。ネイティブは古典を読めば大体意味が解ってしまうので、つつい読み飛ばしてしまう。僕らはそもそも中国語が読めないわけだから、一文字一文字ゆっくり考えながら読んでいかざるを得ない。そういう地道な作業が、大きな発見につながったりもするよね。

C そういう意味でも、僕ら日本人が

日本で中国文学を学ぶ意義は大きいと言えるね。

### 高校までの漢文との違い

A 中国文学専修に進んで一番驚いたことは、漢文を訓読ではなく、上から中国語の発音で読んでいくことだね。

B 高校までの訓読と全然違う！漢文は確かに古典中国語だし、中国語として読むのは考えたら当たり前のことだけど、最初はびっくりした。訓読が全く通用しない！中高時代に習った漢文はなんだっただろうと(笑)。

C 授業で訓読を使うこともあるけど、あくまでもちゃんと読めているかを確認するためであって、どちらかといえば補助的なものだよな。

A でも、中国語で古典を正しく読むに当たっては、高校までの訓読で鍛えた読解力が助けになるのは間違いはない。

### 後輩に向けて

A 1年生のうちは、何よりも中国語の勉強をがんばってください。古典中国語を読む上でも、古典に対する現代中国語の注釈や論文を読む上でも、第2外国語の勉強は大きな力になります。

B 中国文学に限らず、人文学の中で何か一つ、熱く語れるような分野を作ってください。つまり、自分の好きな分野について、「おたく」になること。この分野のことなら誰にも負けないぞ！という熱意があれば、これからの勉強がぐっと楽しくなります。

C もし、少しでも中国の文学や文化に対して興味がありましたら、ぜひ文学部本館3階までお越しください。中国について、共に語り合しましょう！

[インタビュー協力]

いずれも4年生

# 英米文学・英語学専修

この専修では、英米文学と英語学に関する専門的知識を得るとともに、英語の総合的運用能力を習得することを目指しています。

そのため、アカデミックな講義・演習に加え、外国人教師による演習や海外留学や資格試験合格を視野に入れた実践的な授業を行います。

英米文学を専攻する学生は、英米を中心とする英語文学世界の全体的輪郭、ジャンルの特性、その成立・発展の状況等を文化的視野の中で把握します。それをふまえ、小説・詩・劇・批評などの具体的作品を取り上げ、テキストを正確・綿密に読む訓練を通して、文学研究の方法論を学び、文学センスを磨きます。学生は、各自の関心に基づき自由に研究テーマを選ぶことができ、それを卒業論文にまとめます。

英語学を学ぶに当たっては、理論と運用の両面にわたって英語の実際の姿を観察し、また英語学の研究史上重要な文献を読み、広く用例を収集・分析して、現代英語の構造やその特徴を把握することが基本となります。最近の英語学では、英語の音韻、文法、意味だけではなく、言語習得、発話行為や談話構造、言語と認識、日英語の比較研究も盛んです。講義・演習等は、これらの多様な研究に応じられるように配慮されています。

<http://osaka-english-lit.com> (英米文学)

<https://sites.google.com/site/handaieigogaku/home> (英語学)

## 教員

服部典之 教授	ほっとり・のりゆき
岡田禎之 教授	おかだ・さだゆき
片淵悦久 教授	かたふち・のぶひさ
神山孝夫 教授	かみやま・たかお
石割隆喜 教授	いしわり・たかよし
山田雄三 教授	やまだ・ゆうぞう
田中英理 准教授	たなか・えり
森本道孝 准教授	もりもと・みちたか
Paul AS Harvey 外国人講師	ポール・ハーヴィ

## 何を学んでいるの？

### 英米文学入門

数ある英米文学の傑作を取り上げ、英語原文を抜粋で講読、また映画版をダイジェストで視聴しながら、各作品世界の魅力を英米文学に親しんだことのない人にも分かりやすく紹介します。

### 英語学の基礎

英語の文法事象について、高校までの考え方も比較しながら、なぜそのような文法規則が必要なのか、より妥当な説明はないのか、といった検討を行います。言語学の考え方を少しでも知ってもらえれば幸いです。

## どんな授業があるの？

### 【講義題目】

「エスニック」の観点から見たアメリカ演劇  
物語更新論入門

英語音声学入門、前置詞の意味論

### 【演習題目】

Kazuo Ishiguroの*The Uncounselled*を読む

『ロミオとジュリエット』を読む

英語に見られる構文の統語論

英語の記述文法：The Cambridge Grammarを読む

## 教員が選ぶ印象に残った卒業論文

### The Communal Function in Hamlet's Speech Act

Robert Weimannの「ローカス（後景）」と「ブラテア（前景）」のモデルを用いながら、ハムレットの各独白における演者と観客との距離を分析しています。ハムレットは虚構内の主役のみならず虚構／現実の狭間で道化を演じることで、観客との共感を生み出すという独創的な見解を示しました。（選：山田雄三 教授）

### Licensing Conditions of the Present

#### Subjunctive in English

「提案、要求、主張」などの主動詞に後続する文内では、動詞の原形を用いるという一般化がなされますが、本当にこのグループに属するすべての動詞で様にこの制限が認められるのかどうかを、大規模なコーパスデータによって調査した。英語教育的観点からも重要な問題提起でした。（選：岡田禎之 教授）

### 【卒業論文題目】

The Pathetic Effect on the Audience of the Unkingly King  
in *Richard II*

The Theme of Education in Bernard Malamud's  
*The Assistant*

A Study of Bosola's Hidden Nature in *The Duchess of Malfi*  
Pragmatic Effects of Declarative Questions

Modal Auxiliary *Will* and Adverbial Clauses of Time and  
Condition

On the Peculiarities of Interpretive Progressives

英米文学・英語学専修では英語で30枚の卒業論文を作成することが必要となります。ハードであるもののやりがいと達成感を味わえるこの体験の達成に至る手助けの方法の一つとして、英米文学分野では、11月末に1泊2日での「卒業論文指導合宿」という新たな試みを、2018年度より行っています。英米文学で卒業論文を執筆する4年生を主たる対象として、琵琶湖を臨み滋賀県の「白浜荘」にて、2年連続で開催することができています。

英米文学での卒業論文執筆にかかわる指導の流れとしては、4年生の7月末に対象作家や・作品などについての構想を報告する場がまず設けられます。そして10月末に中間発表という

形で、より具体的な論文の構想・展開について報告をします。そのうえで、11月末の合宿では、少なくとも卒業論文の第1章となる予定の原案を英語で準備してきます。それを基にした発表を聞き、教員および先輩である大学院生が、様々なコメントやアドバイスをする形で、合宿は過ぎていきます。食事や懇親会の場などでの、学生同士、教員や大学院生との交流も大きな意味を持っています。

2018年度は9名、2019年度は4名という英米文学で卒業論文執筆の4年生は全員参加をしてくれました。また、大学院生の参加に加え、2019年度には卒業生有志も参加をしてくれたことで、就職活動や就職後の生活にかか

わるアドバイスも共有することができているようです。また、合宿後の4年生たちは、学生研究室とともに励み合いながら論文執筆を進めるなどお互いに切磋琢磨する機会が増え、さらには演習科目などで授業の場での発表にも、成長をうかがえる効果を見て取ることができています。このように、学びという面での実り多いイベントですので、専修決定後の2・3年生にも参加を呼び掛けているところです。参加をお待ちしています。

文=森本道孝



## “解く”英語から“考えて学ぶ”英語へ

### 英語学専修はどんなところ？

一言で言うと、英語の奥深い境地に誘われた者の集まり!? 専門の授業の種類が豊富で、取りたい授業を自由に受講できるのがポイント。4名の先生方と、各学年8~10名の学生が在籍しており、他専修と比べて人数が多いので友達ができやすい!

### 何故この専修を選んだのか？

とにかく英語が好きだから! 高校までは英語について“解く”ことが多かったけれど、英語学専修では、英語について自分で“考えて学ぶ”ことができる。また、英語の教員を目指す上で必要な専門知識を深められるのも魅力的。(英語学の専門授業は英語の教員免許取得に必要な授業でもあるので、一石二鳥!)

### 英語学専修で何が勉強・研究できる? “考えて学ぶ”とは?

具体的には音声学・統語論(文構成の仕組みの分析)・形式意味論(集合や論理の考え方をを用いた自然言語の分析)・語用論(言語表現と使用

者・文脈の関係の分析)などの観点から、英語を多角的に学ぶことができる。英語の文法や表現に関して何故そうなるのか? と疑問を持ったり、考えたりするのが好きな人は向いているかも! 研究テーマは自由なので、英語教育や、英語と他言語の文法表現の比較、古い時代の英語について研究している人などさまざま。

### 英語学専修の雰囲気や良さは?

先生との距離が近く、先輩後輩関係なく学年を超えた繋がりがあるところ。具体的には授業で分からないところがあればすぐに聞きに行ったり、進路相談したり……。また、留学や海外に興味を持っている人も多く、実際に留学経験のある先輩からアドバイスをもらえる。

### 就職状況は?

文学部は就職に弱いという偏見を持っている人もいるが、実際は全くそんなことはない。英語の専門知識を活かして教員になる人もいれば、民間企業に就職したり公務員になったりする

人もいる。また、大学院に進み更に研究を続ける人も少なくない。

### 高校生へのメッセージ

高校の英語では物足りない、そのの貴方。実は英語はもっと奥深いんです! ぜひ、阪大の英語学専修で一緒に学びましょう!

[インタビュー協力]

森藤早紀(右下)、松本由衣(左下)  
平野那奈(左上)、森川美沙子(右上)

榎原尚紀

文責: 森藤、松本、平野





# German Literature

## ドイツ文学専修

ドイツ、スイス、オーストリアだけでなく中東欧に広がるドイツ語文化全体を対象とし、文学にとどまらず、思想・芸術から日常的な生活文化までを扱う専修です。

18世紀に始まり、文豪ゲーテやグリム兄弟をへて、トーマス・マンやブレヒトにいたるドイツ語文学の伝統は、カフカやフロイトなどユダヤ系の人びとの活躍によって、いっそう豊かで複雑な流れをかたちづくってきました。こうした流れは、広い意味での社会的現象の一つですから、各時代や地域の政治や経済、宗教や慣習への目配りなしに議論することはできません。伝説やメルヒェンといった口承文化、さらには衣食住など日常生活や印刷物、画像、音声などメディア相互の連関も、欠かすことのできない着眼点です。

授業では、まずドイツ語能力をアップし、そのうえで文献を深く読み抜くねばり強い思考力を身に付けます。ネイティブ教員の授業では、実践的なドイツ語力も鍛えられます。研究室メンバーが全員参加し、ディスカッションやプレゼンテーションを重ねて表現力を徹底的に磨く演習も開設。小規模な専修ならではの、ともに学ぶ雰囲気を大事にしています。

<http://germanistik533.wixsite.com/ougermanistik>

### 教員

三谷研爾 教授	みたに・けんじ
吉田耕太郎 准教授	よしだ・こうたろう
Johannes Waßmer 特任講師（常勤）	ヨハネス・ヴァスマー



### 何を学んでいるの？

#### ドイツ文学入門

ドイツ文学を、文化史という切り口から紹介する講義。単なる作家と作品紹介にとどまらず、ドイツ文学の背景にある歴史や文化を厚みをもって紹介する講義です。ドイツ文学って何？ と少しでも興味を持ったなら、まず聴講してほしい講義です。

#### ドイツ語文献読解の基礎

初級文法を習得した学生が、ドイツ語で書かれた文学作品や研究論文をよむことができるようになるための授業です。新聞、雑誌、各種パンフレットなどなど、多種多様なドイツ語を精読する授業です。

#### ドイツ語会話

ネイティブ教員によるドイツ語会話の授業です。日常会話はもちろんのこと、研究テーマについての発表やディスカッションなどがおこなえるようになるための実践的な語学能力を身に付けるための授業です。

### どんな授業があるの？

#### 【講義題目】

Travel Concepts in the History of German Literatur  
アシュケナーージ・ユダヤ文化論  
ハブスブルクの歴史と文化—「翻訳」という文化

#### 【演習題目】

Kommunikative und Kulturelle Kompetenz  
ムージルの幻想小説『黒つぐみ』を読む

### 教員が選ぶ印象に残った卒業論文

#### 日本における『ハイジ』—その受容史をめぐる比較文学的研究

野上弥生子（1920）に始まる『ハイジ』翻訳の歴史を、明治以降の児童文学の展開に即してたどった意欲作。野上訳、戦後すぐの竹山道雄訳（1953）、最新の上田真而子訳（2003）をドイツ語原文と丹念に比較して、それぞれの文体と各時代の読者像とを関連づけ、最後はアニメ版『ハイジ』の評価にまでおよぶ分析がスリリングです。（選：三谷研爾 教授）

#### 【卒業論文題目】

「見る」ことにおける時間とそのはたらき

—フーゴ・フォン・ホフマンスタール『帰国者の手紙』の  
ゴッホ体験を中心として

「グリムの森」にみる希望

—ギュンター・グラス『女ねずみ』におけるテクノロジー批判  
シラーによる「悪の解剖」

—『失われし名誉ゆえの犯罪者』をめぐる





## 研究テーマも自由に選べ、他専修の人も参加する刺激のある授業。

学生  
インタビュー

ドイツ文学専修の授業に出席している学生のみなさんに集まってもらいました。独文の研究室の印象について教えてください。

独文の授業は本当に楽しいですよ。授業はアットホーム、授業以外もアットホーム。小規模の専修ならではの利点だと思います。授業中も自然と意見が出てくるような雰囲気がありますね。



### ほかには？

独文には文学を研究している人ばかりいると思っていましたが、文学にこだわっている人はとても少なく、ドイツやヨーロッパの文化や歴史をはじめ、好きなテーマを研究している人が多いことに驚きました。それから研究室主催のイベントやパーティーも多く、自然と居場所ができるのがよいところかな。



そうですね。授業をする教室でパーティーをすることがありますよね。ほかにはどうですか？

もっと情報発信してもよいと思う。留学している人のレポートやきれいな写真を公開する。

いい案ですね！ 留学する人が多いのも独文の特徴ですね。

独文の授業には、他学部の学生が参加することもあります。今日は経済学部から2名参加してくれています。経済学部と文学部の違いはありますか？

カルチャーが違いすぎ（笑）。

そうですか。文学部の雰囲気はどうですか？

好きです（一同、笑）。決まったメンバーが顔をあわせる居場所があるのは魅力です。

授業の雰囲気はどうですか？

授業中に発言しやすいと思います。授業後に質問するのもありますが、独文の授業では、疑問点や理解できない点を授業の中で発言して、参加者みんなで共有する良いサイクルができているような気がします。

ほとんどの学生は、阪大に入学してからドイツ語を学び始めるので、ドイツ語を読解の授業では、分からない点を残すことなく、授業の中ですべて解決できると思う。

文学部紹介を読んでいる高校生たちにメッセージはありますか？

1年以上の長期の留学、海外とつながる機会が多いと思います。ドイツからの留学生も多い。

求めれば求めただけのことをしっかり返してくれる環境だと思う。分からないことがあれば、しっかり教えてもらえるし、留学だってそう。おどろくほどたくさんの選択肢があることを教えてもら



える。

そうそう、例えば英会話のスキルを上達させたいと思って調べてみたら、1対1のタンデムやサロン形式の自由な英会話の機会とか、本当にたくさんの可能性があることに気がついた。

自分で調べてみよう、自分で探してみようという、自分のやるき次第で答えがかえてくるということですね。

それからオープンキャンパスの研究室訪問の機会はぜひ活用してほしい、それぞれの専修の雰囲気を肌で感じてほしいです。

（一同、同意）

今日はありがとうございました。

【インタビュー協力】

ドイツ文学専修、日本学専修  
美学・文芸学専修、経済学部  
に所属する  
学生のみなさん







毎日の授業風景より

## 意外と身の回りに「フランス」はあふれています

学生  
インタビュー

### なぜフランス文学専修を選びましたか？

**平島** 中学生の頃に見た『巖窟王』というアニメの原作がフランス文学であることを知り、それが元となって中高とフランスの小説を多く読みました。そのときはじめて触れたフランス文学のもつ奥深さに関心を持ち、大学ではフランス文学を専修することに決めました。

**竹田** 高校時代にフランスへ旅行したのをきっかけに、特有のリズム、音の響きといったフランス語の美しさに魅かれるようになりました。大学でフランス語を本格的に勉強したい、日常会話を話せるようになりたいと思いこの専修を選びました。

### 普通の授業はどのような感じですか？

**平島** フランス人の先生の授業は基本的にフランス語のみで進行し、その中で実践的なコミュニケーションを学びます。またアヴォカ先生はとても博識で、授業の合間にお話していただける今のフランスについてのホットな話題は聞いていてとても楽しいです。

### どのようにフランス語を習得しましたか？

**平島** 研究室にはプライベートで語学学校に通う人もいますが、私は、研究室で開講されている授業に出席するだけで十分な力が付くと思います。読む、書く、話す能力がまんべんなく鍛えられるので、授業の予習・復習をきちんと行うだけで生きたフランス語を身に付けられます。

**竹田** 留学に行く人も多いです。私は大学の交換留学制度を利用し、1年間ストラスブールに留学していました。留学の前半の時期は語学学校に通いフランス語のブラッシュアップにはげみ、後半は、現地の大学で開かれている

文学作品やフランス語史についての授業に出席していました。現地の学生とのコミュニケーションを通して会話力を身に付けることができるのも留学の醍醐味だと思います。

### 留学生活で楽しかったことやつらかった思い出はありますか？

**竹田** 最初は大学の授業のフランス語がなかなか聞き取れず苦労しました。授業を録音して自宅で何度も聞き返したり、図書館で参考文献を借りて読んだり、なんとかついていこうと必死に勉強しました。大変でしたがそのおかげで実践的な力が付いたと思います。

**平島** 私はトゥールで1か月間語学学校に通い、ホームステイをしました。ホストファミリーはとても親切で日本人の私にもわけ隔てなく接してくれました。また、クラスメイトの外国人留学生とも仲良くなって、放課後や休日と一緒に観光旅行もしました。今でもたまに連絡を取っています。留学前は不安でいっぱいでしたが、帰国日にはまだ帰りたくないと思うほどの良い経験ができました。機会があればまたホームステイしたいです。

### 後輩へのメッセージ

**平島** 『レ・ミゼラブル』というタイトルを聞いたことがある、マカロンのような甘いものに目がない、チーズが好き、エッフェル塔に登ってみたい…きっと気付いていないだけで、意外とあなたの身の回りに「フランス」はあふれています。フランス文学研究室の扉をたたくきっかけはどんな些細な事でも構いません。お会いできる日を楽しみにしています。

**竹田** フランス文学の作品をあまり読んだことがないという方も大歓迎です。実際私もそうでしたが、フランス文学専修で様々な作品に触れていく中で、お気に入りの作品に出会えたり、フランスの文化や思想を学ぶことができたりと、自分の見識を広げられる貴重な経験ができています。フランスに少しでも興味があれば、是非フランス文学研究室を訪ねてみてください。

[インタビュー協力]

平島沙紀子 (4年)

竹田華奈 (4年)



2019年度研究室夏合宿



# Aesthetics and Science of Literary Art

## 美学・文芸学専修

美学研究室は、美学思想をさまざまな芸術とのつながりから理解することを重視してきました。現在はさらに、美学という学問がいかに関わりを持つのかにも関心を向けています。美学が積み重ねてきた議論は、分野を横断するアートを考察するうえで有効ですし、デザインの歴史について考える手がかりにもなります。今日ますます芸術を定義するのが難しいのは、周縁がたえず更新されて輪郭が定まらないからでしょう。ならば、芸術をその周縁から考えるのは一番有効な方法です。そして、既存の芸術ジャンルに制約されない美学こそが周縁分野に足を踏み入れることができます。

文芸学研究室は、芸術学の一分野として文学（文芸）や作家の思想を取り扱います。アリストテレス『詩学』などの西洋古典文献から連なる文芸学の潮流を重視することから西洋古典学も扱いますが、関心の対象は幅広く、古今東西の文学や思想・文学論も視野に収めており、文芸学研究室に所属する学生の研究対象は多岐に渡っています。文芸学は「文芸学という学問自体がどのような学問であるべきか」という問いを内在する学問でもあります。文芸学の名の下で取り組むひとりひとりの研究が、文芸学という学問を発展させていくという側面があり、研究室では日々切磋琢磨がなされています。

<http://www.let.osaka-u.ac.jp/bigaku/> (美学)  
[大阪大学美学研究室で検索]

<https://bungeigakubungeiga.wixsite.com/mysite-1> (文芸学)

### 教員

高安啓介 教授 たかやす・けいすけ  
渡辺浩司 准教授 わたなべ・こうじ  
田中 均 准教授 たなか・ひとし  
西井 奨 講師 にしい・しょう

### どんな授業があるの？

#### 【講義題目】

芸術論の基礎  
近代デザインの美学  
文学理論概論  
現代神話学概論

#### 【演習題目】

感性の政治学—観客と共同体  
文芸学英語文献講読  
ラテン語文献講読

### 何を学んでいるの？

#### 美学

美学の基本的な主題について概観します（「芸術」は定義できる？／芸術作品とはモノかアイデアか？／作者の意図はどれくらい重要？／自然と芸術の鑑賞はどちらがう？）。

#### 文芸学

共通教育科目「文芸学」では、「芸術としての文学」の代表例として古代ギリシア・ローマの文学（特に神話を題材としたもの）と、西洋古代の思想家たちが文学（文芸）に対してどのような態度・立場を採ったのかについても学びます。

#### 近代デザインの美学

造形・構成・形態・空間・表現といった言葉を手がかりに、デザインの考えかたを学びながら、皆さん自身がデザインについて論じるようになります。面白いテーマも見つかりますよ。

### 教員が選ぶ印象に残った卒業論文

穂村弘歌集『手紙魔まみ、夏の引越し（ウサギ連れ）』における少女像

自身が歌人でもあり漫画家でもある筆者が、現代短歌界で大きな反響を呼んだ歌集を一首一首丁寧に読み解きながら、挿絵との関係、太宰治の少女像との比較など、多角的な観点から考察を行った力作です。（選：田中 均 准教授）

『カレワラ』における呪術表現について  
—リョンロートの編集状況から—

フィンランドの民俗詩を基に編纂された叙事詩『カレワラ』について、編纂者リョンロートが「良い」ペイガニズムとしての「古代フィンランド人」の呪術信仰の在り方を描こうとしたと論じる。原典のフィンランド語から丹念に読解し分析した力作である。（選：西井 奨 講師）

### 【卒業論文題目】

アルフレッド・ヒッチコックの映画作品における「染み」について  
北大路魯山人と芸術としての料理—星岡茶寮時代を中心に  
グリム童話「白い蛇」における飲食による能力の獲得について  
『マクベス』と王権—女性性から見た作品分析—  
梨木果歩作品における「癒し」—『西の魔女が死んだ』をめぐる  
時枝誠記の文学観とその意義

大阪大学美学研究室  
Art and Aesthetics  
Graduate School of Letters  
Osaka University

紹介 about us 美学 aesthetics 雑誌 Journal  
近況 news  
授業 education

デザイン design  
雑誌『aaa』の  
デザイン論を  
基とした授業で  
詳しく学びます

『西の魔女が死んだ』  
の魅力を授業で  
学びます

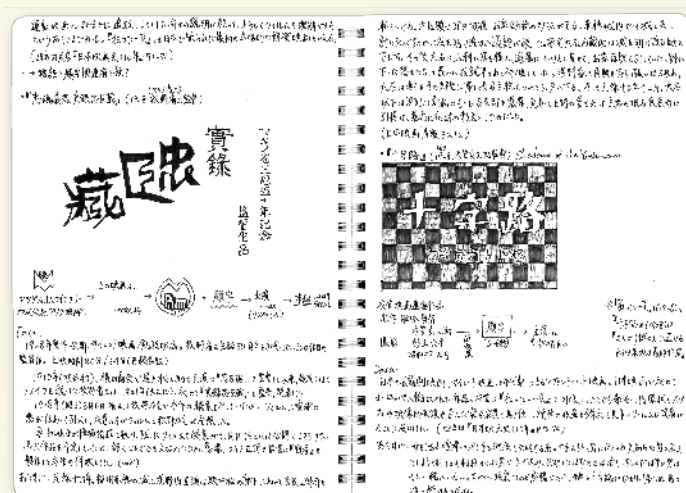
HPトップ画像

λομένην, ἢ μυρί' Ἀχαιοῖς ἄλγε' ἔσσεται, si non hic tantum fructu  
 ἄλλὰς δ' ἰφθίμους ψυχὰς Ἀϊδὶ πλῆις delectatio sola peteretur  
 ὧων, αὐτοὺς δὲ ἑλώρια τεύχε κύνεσσιν ἐπιθήσειεν, emissionem humanissimam  
 ὠνοῖσί τε πᾶσι, Διὸς δ' ἐτελείετο, Nam ceterae neque temporu

## 芸術のフロンティアを開拓する。

美学研究室  
レポート

美学はこれまで、芸術について問いを發してきた哲学分野ですが、現代の美学は、複数のジャンルにまたがる問題をあつかったり、非芸術とみられる物事について関心をもったり、芸術のフロンティアを開拓するような性格をもちあわせています。研究室では、美学を探究するのもし、美学に学びながら、景観・陶芸・写真・衣服・印刷・映像など、1つの分野の専門家になるのもし、多様な関心にひらかれています。一人一人が、芸術文化にかかわる知識をみずから生み出し発信できるよう、授業では、短い文章を書いて指摘しあったり、ポスターを作成して英語で発表したり、さまざまな知的トレーニングを積み重ねてゆきます。



2年生の取井歩来さんのノート（映画のタイトルの研究をしようとしている）

## 文芸の本質と構造を解明する。

文芸学  
研究室  
レポート

### 研究室の特色は？

文芸学研究室では、自分の興味・関心に応じて自由に学習と研究を進めることができますが、それだけに強い自律性も必要となります。西洋古典について学ぶことを薦めているのは、西洋古典が文芸の類型として、また西洋古典の研究手法が文芸学研究の範として大きな参照価値を有しており、文芸の本質と構造の解明に大いに寄与すると考えられるからです。

### 何が学べますか？

ギリシア語・ラテン語文献講読などの西洋古典学分野の授業の他に、文学理論や神話学についての授業が開講されています。研究対象に選んだ文献の読解・分析に適切に取り組めているかどうかは「論文作成演習」にて指導されることになります。研究対象は地域・時代・言語・ジャンルを問わず選べますが、原典が外国語文献である場合は当然その外国語に習熟することが求められます。

### どのような人に向いていますか？

西洋古典の文学・思想に関心がある方はもちろんのこと、ロシア文学やイタリア文学などの文学部に専修がない文学を研究したい方、また美学分野との関連から文学作品や作家の思想を研究したいという方に特に向いています。もちろん、日本文学・中国文学・英米独仏文学といった文学部に専修がある文学を研究したい場合も文芸学研究室で学習・研究に取り組むことは可能です。ただし何を対象とするにしても、ただの愛好家レベルに留まることなく、その対象に関する専門家として真摯に研究に向かう人物を歓迎します。





# Musicology and Theatre Studies

## 音楽学・演劇学専修

この専修では、音楽、演劇、芸能などのいわゆる表演芸術（パフォーミング・アーツ）の研究が行われています。音楽学の分野では、世界諸地域の芸術音楽、伝統音楽、大衆音楽などの幅広い領域にわたって、音現象そのものの研究にとどまらず、それぞれの背景にある文化や思想の研究も含む幅広い研究が展開されています。演劇学の分野では、日本の古典演劇から西洋の現代演劇までの、狭い意味での演劇ばかりでなく、世界各国の映画、オペラ、ミュージカル、ダンス、そして芸能を含む幅広い対象を扱っており、それらの実証的かつ理論的な考察を通して、その芸術の美的特質や芸術史的、民族的特徴を理解し、さらにパフォーマンスの原理や本質を解明する試みがなされています。これらの領域を対象として扱っている大学の文学部は他にほとんどなく、本専修はこれらを人文学の一環として研究することのできる数少ない場所となっています。

音楽や演劇の研究をする上で、実演の経験は必須ではありません。でも、観客として対象をみるだけではもったいないので、どういう立場であれ、なんらかの「現場」に深く関わる意欲を持った学生を歓迎します。

<https://musicologyosaka.wordpress.com>（音楽学）

<http://www.let.osaka-u.ac.jp/theatre>（演劇学）

### 教員

永田 靖 教授	ながた・やすし
伊東信宏 教授	いとう・のぶひろ
輪島裕介 准教授	わじま・ゆうすけ
中尾 薫 准教授	なかお・かおる
古後奈緒子 准教授	こご・なおこ

### どんな授業があるの？

#### 【講義題目】

多文化主義と演劇  
能に描かれた「異類」を考える  
ピアノとピアノ音楽の歴史  
大阪からみた近代日本大衆音楽史

#### 【演習題目】

観劇実習  
論文作成の方法と実践  
音楽学の主題、資料、方法  
ポピュラー音楽研究日本語文献講読

### 何を学んでいるの？

#### 演劇学入門

演劇は古代ギリシャ以来、およそ2500年の歴史を持ちます。古代ギリシャ悲劇からコメディア・デラルデ、シェークスピアを経て、イブセン、チェーホフなどのモダン・ドラマ、そして多様な現代演劇に至る流れを理解します。またこの授業では、能、歌舞伎などの日本演劇の歴史も同時に学んで、世界の演劇との共通点や違いについても理解していきます。

#### 音楽学

ロマ（ジプシー）は、音楽に關係の深い民族として、しばしば伝説や説話の中で取り上げられ、舞台や音楽作品の題材となってきました。それらを多角的にとらえ、音楽について調べ、考える手法を学びます。

### 教員が選ぶ印象に残った卒業論文

#### 写し絵の独自性に関する研究

##### 一大阪における錦影絵の特徴に着目して一

錦影絵について、大阪歴史博物館所蔵の現物を詳細に調査し、その物語性、演劇性、興行の形態を明らかにした興味深い論文。（選：永田 靖 教授）

#### J-popにおけるクロスジェンダーパフォーマンス

性別交差歌唱（男性歌手が「女の真心」を歌う、女性歌手が「男の心意気」を歌う、など）は、かつての流行歌の常套手段だが、現代のJ-pop やロックにもみられる。欧米圏ではあまりみられないこの現象について、的確に先行研究を参照し、その現代的展開と社会的・文化的含意を探求する。（選：伊東信宏 教授）

#### 【卒業論文題目】

唐十郎作『ジョン・シルバー』論  
劇団「ク・ナウカ」の二人一役  
—『エレクトラ』（1997）を中心に—  
長谷川伸における家庭の表象  
—昭和3年～6年の「股旅物」を中心に—  
能《小鍛冶》をめぐる諸問題  
—刀剣「小狐」伝説の系譜整理を中心に—  
権力を上演する君主  
日本におけるニューメタル  
カヴァーソングを用いたテレビ・コマーシャルの研究能

## 「音楽が好き！」から、その先へ。

### 音楽学 学生 インタビュー

どのような研究をしていますか？

日本の大衆音楽史が専門で、現在は90年代のムーブメント「渋谷系」について研究しています。楽曲そのものだけでなく、地理的・歴史的・経済的背景や同時代のポップカルチャーも視野に入れながら「ニッポンの音楽」って何だ？という問いを日々考えています。

研究室の雰囲気は？

学部生から院生まで垣根を越えて交流できるのが最大の魅力です。質問をしてみるもよし、雑談に花を咲かせてもよし。

未来の後輩達へのメッセージ

楽譜が読めない、楽器が弾けない……なんて心配は無用。「音楽が好き！」という思いがあれば、それだけで大歓迎です。

どのような研究をしていますか？

ルネサンス期のイタリアにおける祝祭について調べています。卒業論文では16世紀に行われたフィレンツェのメディチ家の婚礼を対象に選びました。

研究室の雰囲気は？

自分が存在すら知らなかったことについて研究している人がたくさんいて、興味の幅をどんどん広げることができます。また、学部生でも研究室に出入りしやすい雰囲気があります。

未来の後輩達へのメッセージ

総合大学で音楽について研究できる、数少ない場所の一つです。音楽について知りたい、調べてみたいと思っている方をお待ちしています。

どのような研究をしていますか？

モンゴル国の民俗音楽について研究しています。中でも、モンゴル国の社会主義時代の音楽環境の変化と横笛リンベの音楽について研究しています。

研究室の雰囲気は？

お互いに分からないことを相談しあい、仲が良い楽しい研究室です。西洋音楽、民族音楽、大衆音楽などさまざまな研究をしている人がいるので、自分の研究以外の世界を知ることができ素晴らしいです。

未来の後輩達へのメッセージ

私はモンゴル国と中国の大学を卒業後、長年演奏家として活動した後、入学しました。社会人と研究を両立している人もいますので、ぜひ一緒に研究しましょう。



K.K. (博士前期課程)



K.K. (学部生)



M.S. (博士前期課程)

## 古今東西の様々なジャンルの演劇を多様なアプローチで研究します。

### 演劇学 学生 インタビュー

お勧めの講義はありますか？

観劇実習という演習では、実際に劇場に足を運び演劇を見ます。演目は、伝統芸能から現代劇まで幅広いので、今まで見たことがなかった演劇を知る良い機会なのでおすすめです。また、ここで得られる豊かな観劇経験は、その後の研究に役立つと思います。

どのような研究ができますか？

私は宝塚歌劇団の海外公演について研究しています。阪大は宝塚の資料が集まる池田文庫へのアクセスが良く宝塚研究にぴったりです。演劇は、演出家、俳優、劇団、戯曲、演出、上演、受容など多くの要素をもつ総合的なものなので、興味に合わせていろんな研究ができると思います。

研究室はどんな雰囲気ですか？

和やかな雰囲気です。とても居心地がよくて、授業の空き時間など、「研究室でのんびりしよう」という気分になります。みんな自由にふらっと研究室にやってきて、ご飯を食べたり、おしゃべりしたり、もちろん、自分の研究に取り組んでいます。

未来の後輩に向けてメッセージをどうぞ

大学の勉強の醍醐味は、自分の好きなことを研究対象にできることです。演劇学はまだ新しい学分野で、自由な興味で学問領域を開拓する面白みがあります。少しでも演劇に興味があるなら、ぜひ演劇学研究室を尋ねてみてください。

なぜ演劇について学びと思ったのですか？

幼い時からミュージカルや歌舞伎、狂言などの舞台芸術に触れる機会があったため、演劇は身近な存在でした。同時に、宗教や社会問題、政治経済、アイデンティティについての事柄など、幅広い分野に興味がありました。演劇作品の内部や外部を研究することで、演劇を通して様々な分野を横断的に考えることができると思い、選択しました。現在興味を持っている研究対象は何ですか？

現在はスコットランドの現代演劇について研究しています。国家や社会のあり方が揺れ動く中で、演劇をはじめとしたアートがどのようにそれに向き合っているのか考えることができ、興味深いです。



O.M. (学部生)



M.S. (博士前期課程)



M.F. (博士前期課程)



# 美術史学専修

美術史学専修では、絵画、彫刻、工芸はもとより、写真や映像、建築や庭園など、あらゆる「イメージ」を研究対象としています。作品の様式や意味についての研究、制作の背景や受容の歴史を考える研究など、その手法はさまざまです。ただし、特定の思想や先入観にひきずられることなく、あくまで作品的確かな観察に基づいた実証的研究をめざしています。

美術史学専修は、日本・東洋美術史と西洋美術史の二つの専門分野に分かれています。教授、准教授あわせて5名の専任スタッフに加え、大阪大学総合学術博物館の教授1名が芸術史講座のスタッフを兼任し、6名が幅広い授業を開講しています。日本の大学では、最も充実した体制を持つ美術史研究室の一つです。

隣接の美学・文芸学、音楽学・演劇学専修、あるいは歴史や文学など他分野との連携や、海外の研究者との交流も積極的に行っています。近年はコンピュータによる画像データベースの作成、画像処理などにも力を入れています。

<http://www.let.osaka-u.ac.jp/arhistory/tobi/tobifront.htm>  
(東洋美術史)

<http://www.let.osaka-u.ac.jp/arhistory/seibi/seibifront.html>  
(西洋美術史)

## 教員

囿府寺 司 教授	こうでら・つかさ
橋爪節也 教授	はしづめ・せつや
藤岡 穰 教授	ふじおか・ゆたか
岡田裕成 教授	おかだ・ひろしげ
桑木野幸司 教授	くわきの・こうじ
門脇むつみ 准教授	かどわき・むつみ



## どんな授業があるの？

### [講義題目]

- 近代美術と大阪
- 中国の仏教石窟寺院
- 16世紀美術の図像解読術
- 近現代美術文献講読

### [演習題目]

- 見学演習（美術館・寺社など実地見学）
- 仏教美術史料講読
- 西洋美術史 研究発表と討論
- 建築・庭園見学演習

## 何を学んでいるの？

### 日本・東洋美術史

日本とアジアの美術の歴史を学びます。教員の専門は仏教美術、日本近世絵画、近代美術ですが、学生の研究テーマは自由！

### 西洋美術史

日伝統的な「西洋」の線引きにこだわってはいません。「美術」の枠のとらえ方も。驚くようなテーマに挑戦してみてください。

## 教員が選ぶ印象に残った卒業論文

### 谷文晁筆『公余探勝図』に就いて

寛政五年三月の伊豆は曇。「記憶」を揺さぶる絵画としての評価に挑む著者の粘り強い考証に、松平定信の巡検のリアルな追体験と文晁の意図が確認できて圧倒される。(選：橋爪節也 教授)

### 信貴山縁起絵巻に描かれる建築

信貴山縁起絵巻に繰り返し描かれる建物（長者宅、飛倉、信貴山の住房）に型を用いていることを発見し、その意味を考察。透明シートに各建物を描いた付録に感服。(選：藤岡 穰 教授)

試問の席でタマネギを刻むパフォーマンスをした人がいました（修論ですが）

追い込みで徹夜を重ね、提出後丸2日寝続けたという人も。卒業後の進路はそれぞれにせよ、自分の限界と向き合う機会にすれば、その後の人生の財産になるでしょう。(選：岡田裕成 教授)

### 叡智の戦い

論文の査読・試問は、ある種の知的バトルである。学生が数年かけて研究した成果を、教員が短期間で吟味し、意見をぶつけ合う。だからどの一本も真剣勝負。(選：桑木野幸司 教授)

### [卒業論文題目]

- 蝦蟇仙人の図像とその表現について
- 鎌倉時代九相図の再検討：テキストとイメージをめぐって
- 河原温《印刷絵画》と戦後美術の状況
- シャガールの磔刑図：《白い磔刑》
- 17世紀オランダ絵画における働く女性像
- マッキアイオーリと15世紀美術



## 直に作品に出会うことが第一！

### 東洋美術史 研究室 レポート

#### 授業について

東美の講義では、古代東アジアの仏像や近世の日本画、近代大阪の美術史など幅広い時代とジャンルにわたって東洋美術史を学ぶことができます。演習では、見学演習の他に東洋美術史に関する文献や論文の講読演習も行います。また、論文作成演習では自身の卒業論文作成に向けた発表の他に先輩方の発表を聴くこともでき、新しい作品や芸術家の魅力に出会えます。(4年Mさん)

#### 見学演習

毎週金曜日の見学演習では、丸1日を使って近畿地方の展覧会や社寺に足を運びます。実際にさまざまな作品に触れることで観察眼を養えるいい機会です。学芸員の方や先生方から説明をしていただくこともあり、毎回新たな知見を得られる東美ならではの授業です。(4年Iさん)

#### 研究室旅行

本研究室では、毎年研究室旅行が行なわれています。今年度は、鳥取・島根へと足を運び、鳥取砂丘や三徳山三仏寺、足立美術館などを見学しました。普段、写

真でしか見るのできない作品や現地の文化に触れる、貴重な体験の場であるとともに、先生方や研究室の先輩方との親睦を深める素晴らしい機会にもなっています。(4年Tさん)

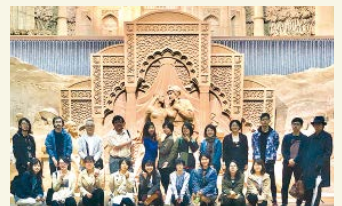
#### 研究室の雰囲気

先輩・教員の方々が、後輩に対してよく声をかけてくださるので、先輩・後輩、教員・学生の隔たりなく、お話がしやすい雰囲気です。授業や研究において参考になる本などについての質問も丁寧に答えてくださいます。他にも、私の個人的な意見ですが、食へのこだわりがある方が多いです。その方々が選ぶお菓子とお茶に彩られた研究室でのティータイムは非常に楽しいひと時です。(4年Hさん)



#### 東美を選んだ理由

高校時代から日本史が好きだったので、日本史関連の専修にしようと考えていました。幅広く授業を受けてみた後に、私は日本史の中でも特に美術に興味があるのだと自覚しました。しかし最後に決め手となったのは研究室訪問です。先輩方から見学演習のお話などを伺ったのですが、研究室のやさしい雰囲気に惹かれました。(4年Yさん)



研究室旅行 鳥取・砂の美術館にて

## 「目を鍛える」授業が新鮮でした。

#### 西洋美術史研究室に入った理由

★大学に入った当初は、特に西洋美術をやりたかった訳ではありませんでした。興味を持ったきっかけは、西美の先生の講義でした。ポッティチェリの《春》などの絵画にも実は寓意的な意味が隠されていることを知り、「美術史って面白い」と思うようになりました。(修士1年Sさん)

★1年生の時に受けた授業の中でいちばん興味を惹かれた授業が「西洋の芸術」だったからです。ゴッホやフェルメールの本物の作品と偽物の作品の見分け、ルネサンス期とバロック期の作品の識別など「目を鍛える」内容が新鮮でした。また、ヒトラーが退廃芸術として数々の名作を迫害していた歴史もこの授業で知り、作品が現代まで残っている、私たちが美術館で観ることができるのがどれだけ尊いことか改めて気づかせてもらった点も大きかったです。(4年Oさん)

#### 授業について

★専門の授業では、西洋美術に関する基礎知識を一から丁寧に教えてもらえます。また、ヨーロッパやアメリカ合衆国といっ

たいかにも「西洋」らしい地域の芸術だけでなく、中南米などの芸術についても教わることができるのも西美の魅力です。(修士1年Tさん)

★とにかく西美はカバーする分野が幅広いので、ゼミで他の人の発表を聴いているだけでも知識の幅が広がります。また、ディスカッションや質疑応答を通して自分の意見を言ったり、自分が思ってもいなかった発想を得たりすることで、日々刺激を受けています。(研究生Kさん)

#### 西洋美術史研究室のいいところ

★先生方も先輩方もとても優しく、困ったときはすぐに助けてくれます。研究室はアットホームな雰囲気ですが、干渉しすぎないちょうどいい距離感です。(4年Aさん)

★やっぱり研究室旅行は楽しいです。今年の研究室旅行では研究室出身の学芸員さんの案内で美術館のバックヤードを見学させていただきました。普段はなかなか入ることのできない美術館

の裏側を見られるというのも、美術史学専修の特権ではないでしょうか。(3年Oさん)

#### 大変だったこと

★留学生の私は、いわゆる横文字に苦労しました。日本語での読み方は母語での読み方とも原語での読み方とも微妙に異なるので、聞き取ったり発音したりするのがとても難しかったです。(修士2年Sさん)

### 西洋美術史 学生 インタビュー



研究室旅行 広島市現代美術館にて

# スタッフ／文学部の教育体制

## 教員一覧

専修	教授		准教授		講師	助教
哲学・思想文化学	須藤訓任 舟場保之	望月太郎	中村征樹(兼)※1	嘉目道人		西條玲奈
倫理学	堀江 剛		ほんま なほ(兼)		小西真理子	
中国哲学	湯浅邦弘				辛 賢	
インド哲学	堂山英次郎				名和隆乾	
日本史学	飯塚一幸 市 大樹	川合 康	野村 玄			北泊謙太郎
東洋史学	桃木至朗 松井 太	田口宏二郎				
西洋史学	秋田 茂 藤川隆男 Gerold Krozewski(兼)	中野耕太郎 栗原麻子	中谷 惣		見瀬 悠	石田真衣
考古学	福永伸哉 高橋照彦					上田直弥
日本学	平田由美 北原 恵	宇野田尚哉	北村 毅	安岡健一		西井麻里奈
人文地理学	堤 研二	佐藤廉也	井本恭子			
日本語学	田野村忠温 渋谷勝己 三宅知宏	石井正彦 Matthew Burdelski	高木千恵			東条佳奈
日本文学・国語学	金水 敏 滝川幸司	飯倉洋一 岡島昭浩	岸本恵実 斎藤理生	勢田道生		尹芷汐
比較文学	橋本順光		鈴木暁世			
中国文学	浅見洋二					陳 竺慧
英米文学・英語学	服部典之 片淵悦久 石割隆喜	岡田禎之 神山孝夫 山田雄三	田中英理	森本道孝	Paul AS Harvey [外国人教師]	好井千代
ドイツ文学	三谷研爾		吉田耕太郎		Johannes Waßmer [特任講師(常勤)]	
フランス文学	山上浩嗣		Eric Avocat [特任准教授(常勤)]			
美学・芸芸学	高安啓介		渡辺浩司	田中 均(兼)	西井 奨	
音楽学・演劇学	永田 靖	伊東信宏	輪島裕介 中尾 薫	古後奈緒子		横田 洋(兼) 鈴木聖子
美術史学	囀府寺 司 藤岡 穰	岡田裕成 橋爪節也(兼) 桑木野幸司	門脇むつみ			本多康子
文化動態論学 ※2	永田 靖 田野村忠温 渋谷勝己 堤 研二 三谷研爾 金水 敏 平田由美	囀府寺 司 神山孝夫 藤川隆男 堤 一昭 岡田禎之 石割隆喜 桑木野幸司	井本恭子 古後奈緒子 鈴木暁世			東 志保
留学生専門教育					鄭 聖汝	
懐徳堂研究センター	舟場保之					
国際交流センター						Nicholas Lambrecht Mohammad Moinuddin Felipe Motta [特任助教]

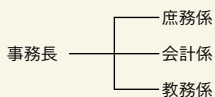
※1 略語(兼)は大阪大学内の他部局との兼務を表します。 ※2 これは専修ではなく、大学院と共通の学科目を示します。

埋蔵文化財調査室	福永伸哉(兼) 高橋照彦(兼)			上田直弥
----------	-----------------	--	--	------

### 教育・研究の支援体制

- 研究推進室
- 評価・広報室
- 教育支援室
- 国際連携室

### 文学研究科事務部



Eric Avocat 特任准教授 (常勤)  
エリック・アヴォカ

フランス文学

古代ギリシア=ラテン文学・文化  
西洋演劇史



研究：フランス革命期の政治的言説、19-21世紀文学におけるフランス革命のイメージ、悲劇史・悲劇思想史

文学、哲学、社会科学を学び、ギリシア=ラテン文学を専攻しました。リセ教員時代に、政治史と文芸史に関わる博士論文を書きました。学生のみなさんには、こうした折衷主義の精神を伝えたいと考えています。フランス語は多様性と討論の言語です。フランス語圏の文化も芸術表現（文学、歌謡、映画、漫画、音楽）も、多様性に富んでいますし、深淵にも馱弁にもなる討論が、フランス的な生活と思考を特徴づけています。フランス語を学び、このフランス精神を身につけましょう！

飯倉洋一 教授  
いいくら・よういち

日本文学・国語学

日本近世文学



研究：上田秋成の文芸、近世上方文壇における人的交流、「奇談」を中心とする近世小説（仮名読物）史

江戸時代の文芸においては、ありとあらゆることが題材とされ、ありとあらゆる表現の試みがなされていて、その豊かさには驚かされます。芭蕉・西鶴・近松らの著名な作者の他に、無数の天才の作品が埋もれています。それは深い思考、超絶技巧の言語トリック、波乱万丈の物語、世の中を生き抜くための今も役立つ指針…に満ち満ちています。現代人の想像を絶する知恵と勇気と笑いと教訓と言葉の力を、私たちは日本近世文学から学ぶことができます。

秋田 茂 教授  
あきた・しげる

西洋史学

グローバルヒストリー・世界史  
イギリス帝国史・経済史



研究：近世以降現代までの新たな世界史を、帝国の形成・発展・解体を軸に、経済史の観点から構築する。

21世紀の世界で活躍される若い皆さんと共に、大阪をベースに、新しい世界史、グローバルヒストリーを考えていきたいと思えます。阪大歴史系は、世界史システム論、中央ユーラシア史、海域アジア史で世界的な業績を積み重ね現在最も注目されています。オクスフォードやライデン等6大学による国際共同研究も始まります。国際的ネットワークを通じて、大阪・アジアから、西洋中心史観にとらわれない新たな世界史像を、実証的に構築していくことが当面の目標です。

飯塚一幸 教授  
いいつか・かずゆき

日本史学

日本近代史



研究：近代化による地域社会の変容を検討することで、伝統と近代の問題を考えている。

近年、日本近代史に限らず、史料へのアクセスは飛躍的に改善されてきました。史料の森への旅は、その気さえあれば格段に容易になりつつあります。けれども膨大な史料の中からテーマを発見し問題をつかみ出すことはむずかしい。歴史学を学ぶものとしてのセンスを問われるのもそこです。新しい発想で史料と格闘し、問題を徹底的に考え抜く気迫を持った若い世代に登場してほしい。我々も「昭和の老人」扱いされぬよう自戒しつつ、皆さんを待っています。

浅見洋二 教授  
あさみ・ようじ

中国文学

六朝・唐・宋を中心とする古典中国の詩学



研究：六朝・唐・宋の詩と詩論（詩文集の編纂・注釈史、『文選』詩篇、蘇軾・黄庭堅等の宋代文人研究など）

中国文学の研究に取り組もうとする者は、当然のことながら中国の言葉や社会・文化に対して深い愛着を持たなければならないでしょう。しかし、それだけでいいのでしょうか。中国あるいは中国文学という枠組みにとらわれない、人文諸学全般にわたる柔軟で幅広い関心を備えていただきたい、さまざまな分野の先鋭な書物との対話を通して自分独自の問題を構築できるような言葉の力を育てていただきたい、と願っています。

石井正彦 教授  
いしい・まさひこ

日本語学

現代日本語学／計量言語学  
コーパス言語学



研究：基本語彙とその成立の研究、メディアの言語・言説の批判的研究、探索的データ解析による日本語研究など

しばらく前から「ことばがどのように使われ、また、その背後にどのようなものが見方があるのかを、ありふれた言語使用の中から発見する」ということに関心があります。例えば、新聞で「沖縄の人々」「アジアの人々」はあっても「東京の人々」「先進国の人々」という言い方がほとんどないのはなぜか。こうした事実を発見し、その上で、その背後にある我々自身のもの見方に気づくことで、日本社会を批判的に観る力を身につけていくことができたらと考えています。

石割隆喜 教授  
いしわり・たかよし

英米文学・英語学 文化動態論(文学環境論)

アメリカ文学



研究：小説論的視座からトマス・ピンチョンのポストモダン文学を捉え直す研究を試んでいます。

小説形式の歴史性とも呼ぶべき問題に関心があります。ポストモダニストと称される現代アメリカ作家の小説を丁寧に、かつ理論にも目配りしながら分析してゆくことを通して、広く近代という歴史的な条件の中で「小説」がどのような役割を果たしてきたのか、「小説」という形式そのものにどのような意味が潜んでいるのか、「小説」を必要とするのはどのような「人間」だったのか、といったことを探ってゆきたいと考えています。

市 大樹 教授  
いち・ひろき

日本史学

日本古代史



研究：交通史から勉強を始め、その後、木簡、都城制、飛鳥時代政治史へと少しずつ関心を広げています。

かつて「頭脳の古代、ロマンの中世、体力の近世・近代」という俗語があったそうです。古代史の史料は限られており、先行研究も膨大にあるため、よほど頭が良くないと何も新しいことが言えない、というわけです。しかし、地中には木簡などの文字資料が無尽蔵に眠っています(現時点で約40万点が出土)。遺跡も多くのことを語りかけてくれます。また、東部ユーラシアに目を向けることで、多くのヒントも得られます。好きだという強い気持ちがあれば、何ら恐れる必要はありません。ちなみに私は体力勝負です。

伊東信宏 教授  
いとう・のぶひろ

音楽学・演劇学

音楽学／西洋音楽史  
東欧の民俗音楽研究



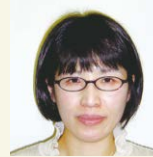
研究：東欧、中欧地域の音楽史、民俗音楽研究。ハイドン、バルトーク、オペレッタ、バルカンのポップフォーク

「音楽」は、現代の日本では、あってもなくても良い「お飾り」、趣味的な「気晴らし」、主要教科ではない「息抜き」としか考えられていません。けれど、本来それが響いていたのは、異界とコミュニケーションする「儀礼」の場であったり、自分から解放される「法悦」の場であったりしたはずで、だから「音楽」は生きることそのものと同じくらい深い体験であった、と私は考えています。音楽学の研究を通して、そんなことを伝えたい、と思っています。

井本恭子 准教授  
いもと・やすこ

人文地理学 文化動態論(共生文明論)

文化人類学／南ヨーロッパ研究



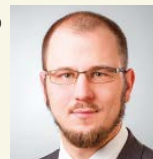
研究：サルデーニャ島をフィールドに、共同性(あるいは秩序)の形成や維持の原理を考えています。

ヒトは北極圏から砂漠、そして熱帯雨林に至るまで、さまざまな地理的条件や気候条件のもとで暮らしています。住居、親族組織、習俗、信仰など、そこに住む人びとにとって「あたりまえ」で「自然」なものが、実に多様であることは容易に想像できるでしょう。この多様性を説明できる理論を、個別的で具体的な生活空間や日常的な実践を導き手に模索しています。あなたも現場に身を置きながら、自然と文化にわたる最大限の視野で、自ら問いを立ててみませんか。

Johannes Waßmer 特任講師(常勤)  
ヨハネス・ヴァスマー

ドイツ文学

ドイツ文学／思想史



研究：思想史や歴史学を横断した戦争文学や紀行文学の研興味論・記号論の再検討にも取り組んでいます。

授業では、ドイツ文学、ドイツ語会話、ドイツ語作文を教えています。詩や戯曲といった題材をとりあげて、ドイツ語のもつ音、響き、リズムに親しめる授業をこころがけています。授業では、参加者の議論を重視しますし、ドイツの文化やドイツのアクチュアルな出来事も紹介しています。Ich freue mich auf Sie! (授業で会えることを楽しみにしています!)

宇野田尚哉 教授  
うのだ・しょうや

日本学

近世・近現代の日本思想史



研究：近世日本の儒学史／戦後日本の文化運動

私のもともとの研究テーマは、荻生徂徠を中心とする18世紀の儒学史なのですが、思想史と社会史の接点のようなところで歴史を叙述することはできないかと考えるようになり、徂徠学を受容した無名の武士の思想と行動を論じる論文などを書きました。無名の人々の思想的・文化的営みからその時代を捉えかえしたいという問題意識は近現代の問題を扱う場合も一貫していて、最近では1950年代のサークル運動を手がかりとして50年代像を描きなおすことを試んでいます。

## 岡島昭浩 教授

おかじま・あきひろ

日本文学・国語学

国語学（国語史・日本語学史）



研究：日本語が意識・研究されてきた歴史を通して、日本語の歴史・言語生活の歴史を探る。

人はしばしば言葉について意識し、そのことを書きとめます。学問に裏づけられたものもあれば、常識的な感想もありますし、とんでもない妄想としか見えないものもあります。それは、現代人だけでなく、過去の人が書きとめたものも同様です。ただ、現代の目から見ると奇妙な感覚のように見えるものでも、当時の状況を知ると、これが突拍子もないことを書きとめているわけではないことが分かることもあって、そこに言語意識の歴史を探る面白さがあるのです。

## 岡田禎之 教授

おかだ・さだゆき

英米文学・英語学 文化動態論（言語生態論）

英語学／機能主義言語学

意味論・語用論・認知言語学

研究：語彙概念拡張・語彙の意味変化

等位構造および従属構造に関する機能的文法分析

言葉は思考内容を伝えるものである以上、メッセージ伝達という機能を効率的に行える形に整えられているでしょうし、表現したい内容が異なれば、何らかの形で形式に反映されるはずですが、言語形式とその意味機能の対応関係を研究していますが、まだまだ分からないことがたくさん言葉の裏には隠れています。何故この表現を使ったのか、何故他の言い方ではだめなのか、といったことを考えることは、それ自体が重要な言語学的課題です。言葉の研究は私たちにとって卑近なものなのです。



## 岡田裕成 教授

おかだ・ひろしげ

美術史学

西洋美術史



研究：初期近代スペイン・ラテンアメリカ美術、植民地主義の下での図像文化の産出と受容、移動と変容

美術史というと、高尚な「名作」のみを論じる学問と思われがちですが、今は対象の領域も、扱う地域も大きく広がっています。イメージに込められた多様なメッセージを読み解く知的な関心、その表現の質を見定めるすぐれた感覚、そして、作品が生みだされ受容された場に乗り込んでゆく行動力と、多様な力を求められる美術史の研究ですが、それだけにやりがいのあるものだと思います。どうでしょう、あなたもチャレンジしてみては？

## 片淵悦久 教授

かたふち・のぶひさ

英米文学・英語学

アメリカ文学／アダプテーション研究

物語更新理論

研究：ユダヤ系アメリカ小説における物語意識、アダプテーション研究、物語更新理論

私がかもっとも関心を持っているのは、「物語」です。小説や詩のように書かれた文学作品であっても、舞台上で上演される演劇やミュージカルであっても、あるいは映画やアニメやマンガであっても、すべて広い意味での物語です。かたちを変えながら生き延びる物語への関心を土台にして、私は物語の生成とメディア文化の濃密な関係についての研究を深め、「物語更新論」という新たな物語研究のありかたを模索しています。授業の中でも、研究の成果を還元していくつもりです。



## 門脇むつみ 准教授

かどわき・むつみ

美術史学

日本美術史

研究：近世の絵画を中心とする美術作品

美術史学の楽しさは、魅力的な造形の芸術性を把握・分析すること、そして作品を生み出した社会の状況や特定の集団の思想などに作品を通じて向き合うことにあります。時代の空気や人々の思いがいかにか視覚化され、そのために画家はどのような表現を用いているか。巨大画家集団である狩野派の組織と社交・伊藤若冲と禅宗との関係・奇妙な因柄の肖像画を取り巻く人間模様などを扱い、美術作品と人間・社会との関わりを考えたいです。



## 神山孝夫 教授

かみやま・たかお

英米文学・英語学 文化動態論（言語生態論）

歴史言語学／音声学



研究：英独仏露語史、印欧語比較言語学、文字論、日欧対照音声学、ヨーロッパの神話・伝説

ヨーロッパ諸語の歴史と、印欧（インド・ヨーロッパ）語の比較言語学を主たる専門としています。その主材は古い言語ですが、今のヨーロッパ諸語も、特にその響きが大好きで、これらと日本語との対照音声学が第2の専門です。授業では英語史、印欧語比較言語学の初歩と音声学を扱います。英語は昔どんな言語だったのか、どのようにして今の英語に至ったのか、他の印欧語との起源の関係等々、また英語と日本語の細かな発音の差異を学ぶお手伝いができればと思います。

## 川合 康 教授

かわい・やすし

日本史学

日本中世史



研究：鎌倉幕府成立史の研究、『平家物語』の歴史学的研究

8歳の時にNHK大河ドラマ「源義経」を見て日本の歴史に興味を抱き、11歳の時に同「天と地と」を見て熱狂的な「戦国オタク」になりました。大学の史学科に進んでからは、平安時代末期から鎌倉時代にかけての政治史研究や、『平家物語』を歴史学的に読み解く研究、中世の戦争（特に源平合戦）を実態的に解明する研究、合戦図屏風の研究などを行っています。学生の皆さんと一緒に史料を読み、史跡や古道を歩きながら、歴史を実感をもって考察したいと思います。

## 北村 毅 准教授

きたむら・つよし

日本学

文化人類学／民俗学

オーラルヒストリー



研究：近現代日本における戦争の記憶の研究

沖縄の戦後史研究、沖縄の民俗文化の研究

他者の体験を聞くことに興味をもって研究してきました。聞き書きやオーラルヒストリーと呼ばれる手法です。民俗学者の宮本常一は、民俗学を「体験の学問」と評しました。この言葉には、フィールドワークを通じた調査者自身の体験という意味だけではなく、人の体験を見聞きする学問という意味も込められています。聞き書きには、どんな本にも書かれていないことを自分の体で知る面白さがあります。そこから研究を切り拓いていく楽しさに魅了されて、今日に到ります。

## 岸本 恵実 准教授

きしもと・えみ

日本文学・国語学

国語学



研究：キリシタン資料（特に辞書類）の研究

日本の戦国時代、世界の大航海時代に、フランシスコ・ザビエルに続きポルトガルやスペインから宣教師が来日し、日本人キリシタンと共に様々な書物を作りました。西欧文化と日本文化の接触により生まれたそれらは、今日、キリシタン資料と呼ばれ、当時の日本語を知るための重要な手がかりとなっています。ザビエルが聞き、秀吉が使った日本語がどのようなものだったか、日本語の歴史や当時の文化と共に学んでみませんか。

## 金水 敏 教授

きんすい・さとし

日本文学・国語学 文化動態論（文学環境論）

国語史／言語学



研究：日本語文法の歴史的研究、役割語研究

私の研究テーマの一つに「役割語」というものがあります。「そうじゃよ、わしが知っておるんじゃ」と言えばおじいさん、というように、話し方と話し手の人物像が緊密に結びつく現象のことです。役割語はフィクションにとって大変重要な役割を果たしていますが、その歴史的形成過程もまたさまざまなドラマに満ちています。もし役割語について興味を持たれたら、日本文学・国語学専修を訪れてみてください。

## 北原 恵 教授

きたはら・めぐみ

日本学

表象文化論／ジェンダー論



研究：視覚文化における戦争とジェンダーの研究

視覚表象の社会における機能や、視線が構築する権力関係の重層的な構造分析に関心があります。芸術は、日常での当たり前前の決まりごとを目に見える形にして疑問を起こさせる力を秘めています。同時に戦争や疫病、貧困などの悲惨な状況は、文化がないから起きているのではなく文化があるからこそ起きているという側面があります。ゼミでは視覚文化を、ジェンダーやセクシュアリティ、民族、人種、階級などの視点を中心にして読み解く作業を続けています。

## 栗原 麻子 教授

くりはら・あさこ

西洋史学

古代ギリシア社会史



研究：法廷弁論を主史料とする、前4世紀アテナイの社会的結合関係の研究

古代ギリシア史の研究蓄積の中で、特にアテナイ史にはどのテーマにも19世紀以来の研究史があります。でも、手あかまみれた史料から、新しい時代像を導き出すこともできるのです。歴史学は、事実発掘だけでなく問題発掘的な側面を併せ持っているからです。アッティカ法廷弁論は、そのような、再発見されるべき史料の一つであり、市民たちの日常的な人的紐帯のありかたは、そのような、発掘された問題の一つです。古代との対話は、思いがけぬ自己発見にもつながります。

## Gerold Krozewski 教授

ジェロルド・クロゼウスキー

## 西洋史学

西洋史学

研究：Western history, African history, transnational history, economic history, maritime history

My teaching and research focuses on the relationships between European countries (Britain, France, Germany, and Italy) and the 'overseas' world, especially Africa, in the nineteenth and twentieth centuries. Topics include European colonialism, doctrines of development, political and economic thought in international relations, and social and labour relations. I have recently finished a project studying the role of overseas relations in the building of European nation-states and national economies. Currently I am researching the experiences of workers from the Western Indian Ocean on European steamships.



## 古後奈緒子 准教授

こご・なおこ

## 音楽学・演劇学

## 文化動態論(アート・メディア論)

舞踊学／パフォーマンス・スタディーズ

研究：ドイツ文化圏の1880年代以降の舞台舞踊と歴史叙述について

グローバリゼーションの中で、踊る身体をめぐる様々な慣習、伝統が変わりつつあります。バレリーナは白人で40才までに引退するという不文律、女性の振付師が珍しい創作現場、ブラックフェイスの“伝統”をめぐる議論などは、海の向こうの関心事ではもはやありません。今ある価値を受け継ぎながら開いてゆくために、舞踊学の先端を率いる老いや障害をめぐる実践と理論にも学びながら、みなさんと考えてゆきたいと思います。



## 桑木野幸司 教授

くわきの・こうじ

## 美術史学 文化動態論(アート・メディア論)

西洋美術・建築・庭園史

ルネサンス思想・文学史

研究：イタリアを中心とする初期近代西欧における、空間とイメージとテキストの創造的関係について

もともと工学部の建築学科で学んでいたのですが、美しい建物や庭園を見ているうちに、なぜそのような造形が生まれてきたのか、その歴史的経緯に関心に移り、気がつけば文学部に。文・理の壁にこだわらず、空間や視覚芸術の問題を、思想史や文学、メディア論と結び付ける柔軟な視点で、研究を行ってきました。コンピューターやCGがなかった時代に生きた人々が、圧倒的な視覚的想像力を持っていたことに驚く毎日です。イメージを制するものが世界を制する！



## 小西真理子 講師

こにし・まりこ

## 倫理学

臨床哲学／倫理学

研究：依存と嗜癖をめぐる現代の諸問題  
ケアの倫理

日常を過ごすなかで、(他者や自己の)言葉にならない「苦しみ」や「想い」に出会うことがあると思います。倫理学・臨床哲学の営みは、それに一定の言葉を与え、「この苦しみ/想いは一体何なのか」「それはどのようなことを訴えているのか」「何が必要とされているのか」などに対する答えの一つを、これまでとは別の仕方でも導く手助けをしてくれます。「言葉なき声」に耳を傾け、それをあえて学術的に言語化することでこそ見えてくるものについて考えていきたいです。



## 園府寺司 教授

こうでら・つかさ

## 美術史学 文化動態論(アート・メディア論)

近現代美術史

研究：ファン・ゴッホ研究、アート・マーケット研究、近代美術史とユダヤなど

近現代の絵画、彫刻、デザイン、建築、メディア・アート等を担当します。学生には基本的に最も好きな、関心のあるテーマを研究してもらいます。その中で、自分自身の眼で作品を評価し、確実な情報を選別しながら思考、発見し、新しい知見を後世の人々が生かせる形で記述するスキルをしっかりと身につけてもらいます。大学院に進んで研究職や美術館学芸員などの専門職を希望する人には、希望実現のための専門的プログラムを学部段階から相談しながら決めていきます。



## 斎藤理生 准教授

さいとう・まさお

## 日本文学・国語学

日本近現代文学

研究：太宰 治・織田作之助を中心とした昭和期の小説の研究  
小説を読むのに準備は要りません。思い立ったときに書店や図書館に出かけて、書架の間を歩いてみましょう。気になった本があれば手に取って、面白そうだったら読めばいい。読み終えたら、その作家の本をできる限り集めましょう。読めるだけ読んだら、お気に入りの一冊を前にして、どうしてその作品に惹かれるのか、じっくりと考えてみましょう。他のものにはない、その作品ならではの魅力について、まずは自分の言葉で説明を試みる。それが研究の出発点になります。



## 佐藤 廉也 教授

さとう・れんや

人文地理学

環境地理学／文化生態学



研究：人類の環境適応に関する文化生態学的研究

アフリカ・アジア地域研究

アフリカ（熱帯林・サバンナ）、中国内陸部（半乾燥地域）、ラオス（熱帯モンスーン）などでフィールド調査を続けながら、資源利用や環境適応の諸問題について研究しています。地理学ではさまざまな専門分野にまたがる横断的研究が求められ、「ブリッジ・サイエンス」と呼ばれることもあります。地理学を学ぶ上で大事なことは、世界に対する好奇心と、それを科学的に説明したいという欲求です。苦行ではない研究の純粋な楽しさに目覚めてもらうことができれば幸いです。

## 鈴木 暁世 准教授

すずき・あきよ

比較文学 文化動態論（文学環境論）

日本近代文学／比較文学



研究：日本近代の文学、日本文学とアイルランド文学（英語圏文学）の相互交渉

文学作品は、文化や言語を越えたさまざまな刺激のなかから生み出されます。文学者たちの創作の糧となった想像力の熱い奔流と交感、その理由を問うことは、世界文学の潮流の中にある日本近代文学の姿とその魅力を活写することにつながるでしょう。作品を読み、資料を発掘することによって得られた知見に基づいて、越境する想像力の源泉を問うことが私の研究の大きな原動力です。日本近代文学研究のフィールドは、世界に広がっているのです。

## 渋谷 勝己 教授

しよや・かつみ

日本語学 文化動態論（言語生態論）

日本語学



研究：日本語の変種の記述的研究、日本語の動態研究

ことばの使用者は、身につけたことばをフルに活用して会話に参加していますが、同時にそのことばを作り替えていくということも行っているようです。このような作り替えが何世代にもわたって積み重ねられると、古典語と現代語の間にあるような大きな違いとなって現れてきます。話し手も持っていることばとはどのようなものか、それはどのように作り替えられていくのか、言語習得や言語接触、言語使用といった観点から、いっしょに考えてみませんか。

## 須藤 訓任 教授

すとう・のりひで

哲学・思想文化学

西洋近代／現代哲学



研究：西洋近代／現代哲学、特にニーチェおよび

その衣鉢を継ぐ現代思想の研究

ご存知のように「哲学」という語は「知恵への愛」を意味するヨーロッパ語に由来します。なぜ、「知恵」そのものではなく「愛」なのでしょう。それは哲学が何より、問うことの営みだからです。「なぜものはあるのか」、「生きる意味とは何か」という哲学本来の大問題から、「どうしてあくびは伝染するのか」、「人の視線を感じるのはなぜか」といった日常のさりげない疑問まで、ありとあらゆる問が哲学のテーマとなります。人生の光景を一変させる問の発見へ——一緒に哲学しませんか。

## 辛 賢 講師

しん・ひよん

中国哲学

経学思想史／易学哲学史



研究：儒教經典が各時代にどのように解釈され、受け継がれていったのか、その経学史・哲学史を探る。

近代以降、西洋の学術と文化の流入により、私たちはそれまでの儒教の権威の枠組みから自由な価値判断ができるようになりました。しかし、これはそれまで長い間培われてきた儒教の伝統から脱却したことを意味するものではありません。むしろ、20世紀以降、西洋の新しい価値観の流入は、受ける側の伝統的思想の上に変容をもたらし、全く新しいものを生み出すことさえありうるからです。今日の我々において中国古典研究の持つ意味は何か、この問題について考えていきたいと思ひます。

## 勢田 道生 准教授

せた・みちお

日本文学・国語学

日本中近世文学



研究：南朝に関する軍記・歴史書を素材とする歴史叙述についての研究

私たちの日常は、多くの「ありきたり」なものごとに支えられて成り立っています。では、その「ありきたり」なものは、どのように「在り来た」って現在に至り、そして未来へとつながってゆくのでしょうか。日本古典文学には、過去の日本人の価値観や美意識、世界観が詰まっています。古典に触れることは、現代の「ありきたり」な価値観を相対化し、その由来を問ひ直す作業でもあります。この点で、古典研究は、すぐれて現代的な作業であると考えています。



## 高木千恵 准教授

たかぎ・ちえ

日本語学

社会言語学／方言学



研究：ことばの変化（ライフステージとことば、移住とことば、標準語と方言の接触）、地域方言の記録と記述

日本語の多様性とその変容に関心を持っています。単に「日本語」と言っても、そこには世代差があり、地域差があり、集団差があります。また日常語の中には古いことばと新しいことばのせめぎあいが見られます。日常生活の中で感じることばへの疑問や関心が研究へとつながっていくのが社会言語学という学問分野です。ことばと社会のかかわり、ことばの運用やことばの変化について深く考えてみたいと思っている方は、どうぞ日本語学研究室を訪ねてください。

## 滝川幸司 教授

たきがわ・こうじ

日本文学・国語学

平安文学



研究：平安時代の和歌・漢詩文、和漢比較文学、儒家歌人伝研究

文学作品を読んで、教訓的にも、自身の生活の指針としても、どのように受け取っても結構ですが、作品、資料が指し示す内容を歪めてはなりません。それには一字一句をゆるがせにしない、厳密な読解が必要となってきます。そして、そのためには、作品が描かれた時代の社会や制度、思想なども理解しなければなりません。多くの労苦が必要となってきますが、そしてこそ多様な世界に繋がると考えています。

## 高橋照彦 教授

たかはし・てるひこ

考古学

日本考古学（飛鳥～平安時代）  
東アジア考古学

研究：日本古代あるいはアジア地域の陶磁器（三彩・緑釉陶器）や銭貨、古代墳墓や寺院などの研究

大学の学生時代のうちに、いろいろなことに挑戦し、その中で「これは面白そう」というものを見つけて、どっぷりとその対象にのめりこむ経験を持ってほしいと思います。考古学は、現地へ行ったり、実物を見たりして、自分なりの発見をするのが楽しさ。発掘現場で汗水たらしながら、みずから掘り出した土器や埴輪は、たった小さな一片であっても、忘れられない体験になるはず。物言わぬはずのモノに歴史を語らせる面白さに出会うことを期待します。

## 田口宏二郎 教授

たぐち・こうじろう

東洋史学

中国史／経済史



研究：明清期中国の社会経済史・財政史・河北地域史  
民国期南京の都市不動産

我々は複数の時間の流れの中を生きています。10の何乗年以上のスパンが意味を持つような超長期のものから、コンマ秒の価格変動が利潤を生ずるような時間まで、われわれの生活を律しているのです。これらいくつかの時間体系を越境し、それぞれの中に自らを位置づけ、世界のなりたちをぎりぎりまで考えることを楽しむ。目の前のオブリゲーションを淡々とこなし、熱く天下国家を語り、役にも立たない思考実験を反復する。その楽しさを皆さんとぜひ共有したいと思います。

## 高安啓介 教授

たかやす・けいすけ

美学・文芸学

美学／デザイン史／デザイン論



研究：近代工芸論、近代デザインの歴史、デザイン美学、農と食のデザイン、視覚伝達理論、現代デザイン論

今日ますます芸術を定義するのが難しいのは、周縁がたえず更新されて輪郭が定まらないためでしょう。それならば、芸術をその周縁から考えるのは有効な方法であるはず。そして、既存の芸術ジャンルに制約されない美学こそ、周縁にある感覚世界に足を踏み入れることができます。美学研究室においてデザイン研究がおこなわれる理由もそこにあります。陶芸・衣服・家具・展示・建築・景観・印刷・映像など、芸術がどうか際どいからこそ面白いのです。

## 田中英理 准教授

たなか・えり

英米文学・英語学

形式意味論



研究：英語・日本語の文の構成的意味論研究  
段階性の関わる言語表現の意味論研究

言語は情報伝達の道具である、とよく言われますが、言語の伝える「情報」とは何でしょうか。例えば、『試験に通った人がいる』と教員が言うと、なぜ学生はそう言われてもいないのに『全員が通ったわけではない』と解釈してざわざわするのでしょうか。発された文と解釈の間にはどうしてこのような乖離が生まれるのでしょうか。言語の意味とはどこからどこまでなのでしょう。言語の伝える「情報」の不思議さに興味を持っている学生は、ぜひともに考えましょう。

**田中 均** 准教授  
たなか・ひとし

美学・文芸学

美学／芸術理論／西洋近代の美学史



研究：ドイツ語圏を中心とする西洋近代の美学史（とりわけロマン主義の芸術理論）、芸術における「参加」の理論

こんな決まり文句を聞いたことはないでしょうか。例えば、「芸術を鑑賞すると心が豊かになる」とか、「芸術を鑑賞するためには、知識よりも生き生きとした感性が必要だ」とか。さらに、「芸術には世界や人生の真実が表現されている」とか、「社会は（今こそ）芸術を必要としている」と言う人もいます。これらはもっともらしく聞こえますが、根拠が不確かで、かえってものの見方を狭めかねません。こうした固定観念から解放されること、これが美学を学ぶ一番の効用だと私は考えます。

**堤 一昭** 教授  
つつみ・かずあき

文化動態論（共生文明論）

東洋史学



研究：モンゴル時代（13～14世紀）の中国史、中国石刻資料世界史教育、東洋学史

約700年前の“昔”を研究していますが、それが“今”にどうつながるかも気になっています。歴史の勉強には現代世界・社会への関心と、複数の価値観につき合う思考の柔軟性が必要だと、強く感じるようになりました。さらに、現代を理解して将来を展望するために不可欠な、過去についての深い知識をどう伝えていけばいいのか、世界史の教育はどうあるべきか、ということも考えています。阪大図書館の東洋学コレクション「石濱文庫」の調査研究も手がけています。

**田野村忠温** 教授  
たのむら・ただはる

日本語学 文化動態論（言語生態論）

言語学／日本語学



研究：主に日本語の文法・意味・音韻などの諸現象の分析

言語は我々の関心をそそる疑問の宝庫です。言語はいつどうやって生まれたのか？人間は言語を使わずに思考できるのか？話す言語が違えば思考も異なるのか？ことばの意味とは何なのか？日本語にはどんな特徴があるのか？……と、挙げていけばきりがありません。ことばや日本語の問題に関心がある人にとって、日本語学は興味の尽きない学問分野です。若い皆さんのフレッシュな感覚と着想で日本語の研究に新たな1ページを付け加えていただけることを期待しています。

**堤 研二** 教授  
つつみ・けんじ

人文地理学 文化動態論（共生文明論）

人文地理学／社会経済地理学



研究：地域社会変動、人口減少社会、地域生活機能  
地域連携教育、地域分析

人文地理学では、地域・空間・環境などに関するさまざまな事象を課題や対象とすることができます。実証的な地域分析もできれば、思想や感性に関わる空間-人間関係を考察することも可能です。対象も方法も多様で、色々な可能性を広げてくれる研究分野です。日本のことも海外のことも、過去のことも未来のことも、空間で展開する事柄の万象を取り上げることのできる、大きな舞台が人文地理学であるといえます。自分を試し、伸ばしてくれる分野である、と思います。

**鄭 聖汝** 講師  
ちよん・せんよう

留学生専門教育

日韓対照言語学／言語類型論



研究：自動詞・他動詞・使役・受身など他動性をめぐる形式と意味の対応関係に関する研究

他動性の現れには二つの理論的仮説があります。一つは、Hopper & Thompson (1980) が提案した普遍性の仮説。もう一つは、池上 (1981) によって主張された類型論的仮説です。後者によれば、英語はスル型、日本語はナル型とされ、スル型の「人間中心」の見方をとする言語では他動詞表現が好まれ、ナル型の「状況中心」の見方をとする言語では自動詞表現が好まれます。私の研究では、実証的手法を用いて、矛盾しているように見える普遍性と類型論的仮説の関係を明らかにすることを目指しています。

**堂山英次郎** 教授  
どうやま・えいじろう

インド哲学

インド学（ヴェーダ文献研究）  
インド・イラン学／歴史言語学



研究：姉妹言語の古インド語と古イラン語諸文献に基づく歴史言語研究、およびそれらの神話・思想の研究

「鷲が二羽、一つのくびきに連れ合って、同じ木を取り囲んでいる。その一方はピッバラ（インド菩提樹）の甘い実を食べているが、もう一方は食べることなく、じっと眺めている」——インド最古の聖典『リグヴェーダ』の一節です。何を意味するのでしょうか？ 答えは幾つあってもいいのです。古文献の解釈は学問的な答えを求めるだけでなく、読む者の内面を豊かにする作業でもあります。イン哲の甘い実を食べるのか、それともただ眺めるだけなのか、それはあなた次第です。

## 中尾 薫 准教授

なかお・かおる

音楽学・演劇学

演劇学／芸能史



研究：伝統演劇研究、能楽研究

能の研究をしています。能は、長い歴史を生き残っただけあって、それぞれの時代の生活様式や思想、社会の潮流などを反映して、柔軟に変化している部分があり、それが見えてくるのが、ひとつは楽しみに感じています。ここ数年変化の大きかった明治・大正期に目がいていましたが、今年こそは、もともと専門にしていた江戸時代に戻りたいです。演劇研究は、テキスト分析から、演出、舞台美術、舞踊、音楽、歴史、政治など、さまざまな視点と絡みあって面白いです。

## 中村征樹 准教授

なかむら・まさき

哲学・思想文化学

科学技術社会論／科学技術史  
科学技術コミュニケーション



研究：科学技術をめぐる倫理的・社会的問題についての研究  
市民の科学技術との付き合い方に関する研究

現代社会について考えるにあたって、科学技術をめぐる問題を無視することはできません。東日本大震災は、科学技術のあり方についてさまざまな問題を提起しました。先端医療や生命科学における研究の進展は、「生きること」や「人であること」の理解にも大きく影響を与えるようになってきました。それらの問題について、科学者や技術者だけではなく、文系の研究者、行政、企業、市民などさまざまな人々が一緒になって考えていくにはどうすればいいかについて研究しています。

## 永田 靖 教授

ながた・やすし

音楽学・演劇学

文化動態論（アート・メディア論）

演劇学／20世紀演劇史



研究：ロシア・アヴァンギャルド演劇の研究

日本を含む現代アジア演劇のインターカルチュラリズムの研究  
世界中にはさまざまな演劇があり、実に多様な姿を見せています。一見何も共通点がないように見えますが、実は劇の作り方、演じ方や観客の楽しみ方まで、かなり約束事に則っていたり、互いに関係し合っていたりします。演劇研究の醍醐味は、このような多様な演劇の現象を大づかみで理解しながら、それぞれの作品に固有の価値や影響関係を見いだして行くことにあります。そのための基礎になるのは、何と言っても、繰り返し劇場に行って多くの作品を見ることです。

## 中谷 惣 准教授

なかや・そう

西洋史学

ヨーロッパ中世史



研究：イタリアを中心に、都市社会史、法実践の歴史、金貸しの歴史など

イタリアの小さな町の文書館に所蔵されている、中世の法廷や議会の記録を読んでいます。そこには住民からの様々な訴え、たとえば貸した金を返せ、司祭から暴力を受けた、貧しいので刑罰を軽くしてほしい、公道の整備が必要だ、税金を安くしろ、などが記されています。こうした市井の人びとによる都市国家への訴えを通じて、中世に特有の、しかし近代以降にも通じる要素をもつ、国家、正義、公共善が立ち現われてくる過程を研究しています。

## 中野耕太郎 教授

なかの・こうたろう

西洋史学

アメリカ現代史



研究：アメリカ国民国家の形成過程の研究

歴史学は問題発見の学問だと思えます。過去を学び、過去を知ることは、今現在、私達が生きている社会の性格を知り、埋もれて見えにくいさまざまな課題に気付くことも直結しています。若い世代の皆さんと刺激しあいながら、過去を語り、現在を考えたいと思います。

## 名和隆乾 講師

なわ・りゅうけん

インド哲学

インド学／仏教学



研究：インド初期仏教文献学

経験世界の全ては移ろいゆく無常なもの。故に、何処にも安心出来る場所はない。無常である故に全ては自己ならざるものであり、私という存在もまた例外ではない、と見るのが仏教の基本的な世界観です。その観を徹底すべく修行する僧らは時に我々の常識的理解を逸し、死を目前に、最後に一目、仏陀に会わんと望む僧に対してさえ、仏陀が「腐臭のするこの身を有り難がるとは何事か」と叱責したとの逸話がある程です。常識的な「慈悲」とは程遠い世界がここにあります。

## 西井 奨 講師

にしい・しょう

美学・文芸学

文芸学／西洋古典学／ラテン文学



研究：ラテン文学作品におけるギリシア・ローマ神話の表象  
帝政ローマにおけるラテン詩人の平和思想

自分が学生だった頃は、現代社会の諸問題と一定の距離を置いていたからこそ文学テクストを研究対象とする道を志していたように思います。しかしここ数年は、ギリシア・ローマの古典文学作品を研究することがそのまま現代社会の諸問題の解決への糸口に繋げることができないだろうかということを模索しております。そのような意識から改めてギリシア・ローマの古典文学作品に目を通していくと、また新たな気づきを多く得ることができます。

## 野村 玄 准教授

のむら・げん

日本史学

日本近世史



研究：天皇の地位・権能についての歴史学的研究

いまフェイクニュースへの懸念が高まっています。また世間では、事の実偽や重大性よりも、非論理的で声の大きな人の主張のほうが目立され、考慮される傾向にあります。この傾向は、残念ながら学界にもあります。これからの社会人には、自分の目と耳で見聴きし、その現場や立場に立ってみて、事の実偽や性格を判断し、自分のなすべき事や主張・解決策を論理的に示す能力がさらに求められます。その能力の養成に、文学部での学問の体験は、きっと役立つと思います。

## Paul AS Harvey 外国人教師

ポール・ハーヴィー

英米文学・英語学

English Literature

英文学



研究：English Poetry 英語詩

My work has focussed on education for the last ten years, in particular on poetry, both creative writing work with students and reading poetry in class. I have translated poetry in various fields. I have published a wide range of books under the name Stean Anthony. This work continues.

## Matthew Burdelski 教授

マシュー・バーデルスキー

日本語学

応用日本語学



研究：語用論、言語社会化、会話分析、言語とジェンダー

日本語をより深く理解するために、言語と文化の相互関係も理解する必要があると思われます。文化というのは会話の相互行為で生み出される発語行為と言語・非言語的リソースという社会的実践であると考えられます。授業では、日本語話者（非母語話者も含む）がどのようなリソースを使用して実践を行うのか、またどのようにアイデンティティを形成する（または形成される）のか、という問いをさまざまな言語データの分析を通して一緒に考察していきます。

## 橋爪 節也 教授

はしづめ・せつや

美術史学

日本近世近代絵画史



研究：文人画ならびに大阪を中心とする近世近代絵画史

「なにわの企業が集めた絵画の物語」展監修や、大阪万博50年展の準備など、展覧会企画に関与しているほか、『はたらく浮世絵 大日本物産図会』（青幻舎）や、辰馬考古資料館所蔵資料を中心とした『木村兼葭堂全集・第二巻』（藝華書院）の編集に携わった。美術研究の第一は自分の眼で作品の価値を見抜く力の育成である。美術館博物館のあり方を問うミュージアロジーも意識しながら、作品に接する機会を増やし、ダイナミックに美術の世界を体感してほしい。

## 橋本 順光 教授

はしもと・よしみつ

比較文学

(日英) 比較文学／英国地域研究



研究：日英におけるジャポニスム・黄禍論・旅行記の研究

サイゴンことホーチミン市は旧仏領だけにパリとよく似ています。東洋のパリという美称は、義和団事件帰りの米国人記者が皮肉で使ったのが始まりのようです。確かにサイゴン以東の港町でこれほどヨーロッパ的な都市はありません。「舞姫」がサイゴンの歓楽街に足を向けず、船室で欧州を回顧する設定なのも納得できます。こんなことを考えつつ空港へ行くと、飛行機が技能実習生たちと一緒に。不安そうな彼らを見ながら、書かれていないことを想像する困難を改めて思い知らされました。遠くを見すえつつ、足元を見直す研究はどこまで可能なのでしょうか？

## 服部典之 教授

はっとり・のりゆき

英米文学・英語学

イギリス文学



**研究：イギリス小説研究、イギリス近現代文学・文化**

イギリス小説を研究しています。特に近現代イギリス文学とその起源となっている18世紀初期イギリス小説を研究・教育しています。小説をあまり読まない人でも映画やドラマを全く見ない人はいないでしょう。これらのメディアを包括する概念が「フィクション」つまり「物語」です。なぜ私たちは物語を語り読むのか、または観るのか。これを考えることは人間の営為の根本を問う大切な学問です。共に読み、観、考えましょう。

## 平田由美 教授

ひらた・ゆみ

日本文学 文化動態論(文学環境論)

日本文学／文化研究／ジェンダー研究



**研究：近代文学表現史、ジェンダー表象論**

19～20世紀の日本文学のテキストを中心に「近代という問題」を研究テーマとしています。それが「今」とどう関わっているのか、「日本」や「日本文学」という概念が何を指し示しているのか、「文学」と「非・文学」の境界線が誰によって、どのように引かれるのかなどなど、ちょっと踏み込めば八幡の藪知らずの難問が山積みです。そうした問題群を、テキストとコンテキスト、つまり文学テキストとそれをとり巻いている歴史-文化的文脈との関係から考えています。

## 福永伸哉 教授

ふくなが・しんや

考古学

日本考古学／比較考古学



**研究：弥生時代、古墳時代を中心とする墓制、社会変化  
青銅器、国家形成論など**

はじめて発掘調査に参加した大学3年生の冬。1400年前の古墳から金の耳飾りを掘り出したときの感動は今も忘れられません。名もない人々が使った土器、記録に残っていない村の跡、権力者の墓に納められた数々の宝器。長い年月、地中に埋まっていた遺跡や遺物を発掘するとき、昔の人々と時間を越えて直接向き合っているような、不思議な気持ちになります。この臨場感こそが考古学の魅力。そして、発掘現場で苦楽をともにした仲間も、生涯の友人としてみなさんの人生の宝物になるでしょう。

## 藤岡 穰 教授

ふじおか・ゆたか

美術史学

東洋美術史／仏教美術史



**研究：彫刻を中心とした東アジアの仏教美術に関する研究  
蛍光X線分析、AIによる画像解析などの新手法を駆使**

運慶、快慶が活躍した鎌倉時代の仏像の研究に始まり、その後、時代は飛鳥時代まで遡り、地域は朝鮮半島から中国、東南アジアへと関心を広げて研究を行ってきました。近年は東アジアの金銅仏について、科学的な分析を踏まえ、技法、様式から制作地や時代を再検討する研究を進めており、さらに新たに人工知能による仏像の顔の画像分析にも取り組んでいます。美術史としての仏像研究は、仏像を通して人と信仰、そして芸術と技術の歴史を探ることを目的としています。

## 藤川隆男 教授

ふじかわ・たかお

西洋史学 文化動態論(共生文明論)

西洋史学／オーストラリア史



**研究：オーストラリア史、デジタル・ヒストリー、移民史、  
パブリック・ヒストリー、スポーツ史、白人性史**

現在は、オーストラリアのパブリック・ミーティングを対象に、デジタル・ヒストリーの手法を用いて、歴史的に世論形成の構造を解明する研究を行っています。同時に、オーストラリアのカントリー・フットボールを対象とするスポーツ史の研究を進め、地方の歴史博物館の調査をまとめるつもりです。2016年には『妖獣バニヤップの歴史』でオーストラリア先住民の歴史を考えようしました。学生の皆さんにも幅広く、歴史のテーマを考えてほしいと思います。

## 舟場保之 教授

ふなば・やすゆき

哲学・思想文化学

ドイツの近代／現代哲学



**研究：18世紀ドイツの哲学者カントおよび  
現代ドイツの哲学者ハーバーマスの研究**

現在、普遍主義や原理原則主義の評判は芳しくありませんが、これらが一度たりとも理念としてすら採用されたことのない共同体においては、いまなお重要な視点を提供しうること間違いはありません。200年以上も前に生きていたカントの考えと、現代を生きるハーバーマスの考えを参照しつつ、共同体の強固なおきてを無力化する方途を探究してゆきたいと考えています。

## 堀江 剛 教授

ほりえ・つよし

倫理学

臨床哲学／倫理学



研究：近代西洋哲学（特にスピノザ）、社会システム理論、対話の哲学（特にソクラテック・ダイアローグ）

近・現代の社会をどのように捉えていけばよいのかについて、システム理論のコミュニケーション概念を基軸に考え続けています。その中には「倫理」も含まれますが、人々が「関係し合うさまざまな形」という意味での、より幅広い社会の現象を問題にすることが大切だと考えます。また、最近「組織」というものに興味を持っていて、組織と哲学を結びつける臨床哲学の可能性を探ってみたいと思っています。

## ほんま なほ 准教授

ほんま・なほ

倫理学

倫理学／臨床哲学



研究：哲学プラクティス、こどもの哲学、フェミニズム哲学 社会の臨床と対話に関する実践と研究

自信がない、自己主張できない、感情的になってしまう、人はいえないことがある、聴いてもらえない…などの悩みをもちながら、倫理学や哲学を考えると排除されたり、不適格とみなされてきた人たちが、安心して話しあい、互いの声に耳を澄まし、互いのつながりをケアしながら、ともに考えることのできる場づくりとそのための研究をしています。フェミニズムからクィア研究まで、性と性別とわたしたちの生に関わる実践研究と活動にも取り組んでいます。

## 松井 太 教授

まつい・だい

東洋史学

中央アジア史／モンゴル時代史



研究：モンゴル時代前後の中央アジアの社会経済史・税役制度／古代トルコ語・モンゴル語文書の歴史文献学的研究

中央アジア地域で発見・発掘された古代トルコ語・モンゴル語の文書史料を利用して当該地域の歴史を研究しています。一つ一つの古文書は、長い・広い歴史のごく限られた一部を切り取ったものでしかありませんが、編纂記録にはみえないような個人・社会の実像をうかがうことができます。それらの微細な発見を大きな歴史の流れに位置づけていくためには、幅広い知識と、柔軟で多面的な構想力が必要です。「しんどい」分野ですが、学生の皆さんが挑戦してくれることを期待しています。

## 見瀬 悠 講師

みせ・はるか

西洋史学

フランス近世史



研究：近世フランス王国・植民地における外国人と法制度 王権の外国人政策、国籍概念の生成

外国にルーツをもつ人々といかに共生するかという問題は、現代社会の大きな課題のひとつです。近世のフランス王国でも、戦争の勃発、政治宗教的な迫害、国際商業の発展、旅行文化の誕生を背景として、外国人の到来と定着がみられました。彼らを統合ないし抑圧・差別する法・制度や言説がどのように形成され展開したのかを観察することで、歴史学の立場から現代社会が直面する課題を考察するための素材を提供できると考えています。

## 三谷 研爾 教授

みたに・けんじ

ドイツ文学 文化動態論（文学環境論）

ドイツ・オーストリア文学／中欧文化論



研究：19世紀末～20世紀初頭のブラハ・ドイツ人社会とその文化／中欧の都市文学とその歴史

カフカの文学テクストを入口にして、彼とその周囲のユダヤ系ドイツ知識人たちの活動、舞台となった都市ブラハの政治的・社会的状況、19世紀末から20世紀初頭のハプスブルク帝国の文化・芸術環境へと関心を広げてきました。他方、日本でもっとも早くカフカに接した中島敦を追いかけるうち、満洲・朝鮮・台湾にまたがる日本語文学の世界も、視野に入ってきています。まさに「考えることは（境界を）踏み越えることである」（E・ブロッホ）です。

## 三宅 知宏 教授

みやけ・ともひろ

日本語学

日本語学／言語学



研究：普遍的な一般言語研究を視野に入れた、個別言語としての日本語の研究

例えば、「駅（ ）歩いて行った」「大阪（ ）たどり着いた」の（ ）内には、「に」と「まで」の両方が入るのに対し、「駅（ ）歩いた」「大阪（ ）着いた」では、前者は「まで」、後者は「に」しか入らないということを、日本語を母語とする人なら「知っている」はずですが。しかしそれがなぜかすぐに「説明」できるでしょうか。「知らない」ことを「知る」ようになるのではなく、「無意識に知っている」ことを「意識的に知る」ようになるという学問分野の面白さを紹介したいと思っています。

## 望月太郎 教授

もちつき・たろう

哲学・思想文化学

西洋哲学／倫理学／哲学教育



**研究：発展途上国における教育開発のための哲学プラクティス**  
日本-ASEAN グローバル哲学研究交流ラボラトリー（日本：大阪大学／タイ：チュラロンコン大学）を設置、これを拠点として東南アジアの発展途上国（カンボジア、ミャンマー）における教育開発のために哲学プラクティスをアウトリーチすることを研究と教育の課題としています。今年も哲学カフェをブノンペンで毎月、企画・開催しています。将来、国際機関や NGO で働きたい人、海外で活躍したい人は、ぜひ授業に参加してください。

## 安岡健一 准教授

やすおか・けんいち

日本学

日本近現代史



**研究：戦時期から現代にかけての地域社会史研究**  
（オーラルヒストリー、自分史、人の移動と共生）

農業・農村に関する研究からはじまり、いろいろな地域をたずねて人に出会ってきました。その過程で、現代と地続きの歴史をいかに記録し、誰が叙述するかということへの関心を強くしています。歴史は過ぎ去った昔のことだけではなく、今を生きる自分たちにつながっています。新しい時代を歴史として描く試みを、次世代の皆さんの関心に向き合いながら創り上げていきたいと思っています。

## 桃木至朗 教授

ももき・しろう

東洋史学

ベトナム史／東南アジア・海域アジア史  
歴史理論と歴史教育



**研究：東南・東北アジアの小農社会とジェンダー、政治＝文化意識、歴史学と歴史教育のための教養の再建**  
学部や専修の選択が「好きだから」「就職に有利だから」の二者択一で決まるような大学を一流大学とは言わない。「自然科学はすべて法則があって唯一の正解がある」「人文系の研究では個人の自由な発想がすべてだ」などとみんなが思い込んでいるような大学を一流大学とは言わない。そうした低次元な思い込みのままに本だけ読み漁るという人文学のありかたを、日本を含む東南・東北アジアの歴史の研究・教育を通じて変えるのが、私の仕事である。

## 山上浩嗣 教授

やまじょう・ひろつぐ

フランス文学

フランス文学・思想



**研究：パスカルとモンテーニュおよびその同時代の哲学・宗教思想の研究**

大学に入って何気なく選択したフランス語に惹かれ、当時流行のフランス現代思想に興味をもったことから、思いがけず大学院に進学し、5年以上のパリ留学を経て、大学教員になりました。大学生のころ、こんな将来が待っているとは夢にも思いませんでした。今はフランス17世紀の思想家パスカルと、彼に多大な影響を与えたモンテーニュの思想について研究しています。古典を原文で読み解くことの楽しさと喜びを日々かみしめています。

## 森本道孝 准教授

もりもと・みちたか

英米文学・英語学

アメリカ文学／アメリカ演劇



**研究：アメリカ人劇作家サム・シェパードの作品研究**  
「家族観」から見る現代アメリカ演劇研究

学部生のときの演習で読んだサム・シェパードの演劇作品に魅了されて以来、アメリカ演劇に関する研究を進めてきています。「家族」、「アンチエイジング」など様々なキーワードからアメリカ文学の世界を読み解いています。また、演劇・漫才・ライブなどジャンルを問わず舞台上で演じられるものに対してもともと持っていた関心と、研究が結びついていることに喜びを感じています。皆さんにもその魅力を少しでも伝えることができたら、と思っています。

## 山田雄三 教授

やまだ・ゆうぞう

英米文学・英語学

英米文学／文化理論研究



**研究：英国初期近代の大衆演劇フォームの研究および Raymond Williamsによる文化ダイナミクス理論の研究**

「文化」ということばは、価値を帯びています。どんなマニアックな趣味でも、「〇〇文化」とつければかっこよく思えてしまいます。そうした現象を考察するカルチュラル・スタディーズに、私は関心があります。今日「カルスタ」と呼ばれ、マンガやラップなどを対象として社会学的手法で研究されることも多いのですが、私は、それが1950年代後半にイギリスで起きた点に注目し、「政治＝文化」運動として再評価しています。

湯浅邦弘 教授  
ゆあさ・くにひろ

中国哲学

中国思想史／日本漢学



研究：中国新出土文献の研究、諸子百家の研究、懐徳堂研究  
先々代の中国哲学研究室教授・日原利国先生が『中国思想辞典』を刊行されたのは、今から36年前でした。それまで中国思想史に関する本格的な辞典はなかったので、とても重宝したのを覚えています。私も、当時院生でしたが、数項目執筆させていただきました。ただ、さすがに30年も経つと情報が古くなった点もあり、また追加しなければならない新項目も出てきました。そこでこのたび、多くの関係者の協力を得て、『中国思想基本用語集』（ミネルヴァ書房）を刊行しました。

吉田耕太郎 准教授  
よした・こうたろう

ドイツ文学

ドイツ文化史／ドイツ文学



研究：18世紀ドイツ語圏の印刷メディア、  
最近では児童文学のはじまりについて調べています。  
ドイツ文学と聞いて、みなさんは何を思い浮かべるでしょうか。グリム童話やゲーテの作品を読んだことのある人、ヘッセやカフカといった作家の名前を聞いたことのある人、東西ドイツの分割と統一といった歴史が思い浮かぶ人、バッハやベートーベンといった作曲家を連想した人もいることでしょう。ドイツ文学を狭く理解する必要はありません。みなさんが抱くドイツのイメージを交換する場を提供したいと思っています。

嘉目道人 准教授  
よしめ・みちひと

哲学・思想文化学

近代ドイツ哲学  
コミュニケーションの哲学



研究：フィヒテおよびカントの哲学  
超越論的語用論および討議倫理学  
言語に媒介された文化の相対性・多様性は、誰も認めるところですが、しかし言語文化が多様であるという事実と、それらが共生すべきであるという規範はイコールではありません。その規範を正当化するためには、やはり共通の基盤が必要で、それは討議という制度だろうと考えます。この考えに基づいて、討議、ひいてはコミュニケーション一般が成立するための条件や、そこで前提となる真理や道徳などを、カントやフィヒテの哲学とも関連させながら研究しています。友好的かつ相互批判的な討議を行いましょう。

輪島裕介 准教授  
わじま・ゆうすけ

音楽学・演劇学

ポピュラー音楽研究／民族音楽学



研究：近代日本大衆音楽史、非西洋地域における音楽の近代化／西洋化に関する批判的研究  
世界中どこでもビートルズやMJやニルヴァーナが聞こえてきます。また、アジアでもアフリカでも南米でも、レゲエやヒップホップやハウスの影響を受けたローカルなダンス音楽が続々とあらわれています。一方、「ヒップホップはゲットー黒人の魂」「演歌は日本人の心」といったように、音楽と特定の人々の特権的で排他的な結合もしばしば主張されます。ある音楽が文化的／地理的な境界をつくったり壊したり超えたりするさまざまな仕方について、あれこれ考えています。

渡辺浩司 准教授  
わたなべ・こうじ

美学・文芸学

文芸学／西洋古典学



研究：古代ギリシア・ローマの詩学と弁論術  
および弁論術から美学への変容  
詩学と弁論術を研究しています。日本ではあまり聞いたことがない学問かもしれませんが、西洋においては古代ギリシア・ローマからの長い伝統を持っています。内容も、悲劇や喜劇、叙事詩についての考察や、修辞や文章構成法、記憶術、崇高論など多岐にわたっています。意外に面白いです。



**東 志保** 助教

あずま・しほ

文化動態論(アート・メディア論)

映画・映像研究／比較文化論



研究：フランスを中心とした記録映画の研究

映画と都市、映画と旅の関係

高校生の頃に映画の魅力に取り憑かれ、その後フランスをフィールドに映画を研究するようになりました。今でも映画館に行くと、安心するような、ワクワクするような、不思議な感覚にとらわれます。映画を楽しむことは、映画の歴史を学んだり映像を分析することは相容れないように思うかもしれませんが。しかし、映画を見る喜びから、世界への探究心も生まれるのです。スクリーンの中と外を繋ぐような授業ができればと思っています。

**上田直弥** 助教

うへだ・なおや

考古学 埋蔵文化財調査室

日本考古学



研究：古墳時代における葬送儀礼の研究

発掘調査で地中から掘り出された土器のかけら、青銅の鏡、鉄の武器、棺や石室などはすべて、その時はじめて世に存在を知られるものです。教科書にも載っていない、誰もまだ見たことのない歴史資料に、一番に触れることができるのが、考古学の醍醐味です。実はみなさんが勉強(など)をしているこの豊中キャンパスの下にも、「待兼山遺跡」という遺跡が眠っています。身近な遺跡から広がる考古学の面白さに、是非触れてみてください。

**石田真衣** 助教

いしだ・まい

西洋史学

古代エジプト史／ヘレニズム史



研究：ヘレニズム・ローマ期エジプトの文化・社会変容

パピルス学

約2000年前の古代地中海世界が迎った「ヘレニズム」とよばれる文化接触と混濁の歴史は、現代の異文化理解にも通ずるアクチュアルな問題を含んでいます。その問題を解く手がかりは、エジプトから今も出土しているパピルス文書です。パピルスを紹介して古代の人々の声に耳を傾け、現代を問うこと、そして後世に伝えたい「古代への情熱」をとことん追求していきたいと思っています。

**北泊謙太郎** 助教

きたどまり・けんたろう

日本史学

日本近現代史／軍事社会史



研究：日本近代の軍隊と地域社会・軍事援護に関する研究

皆さんは小学生の頃から日本史を学んでいるので、日本史についてある程度の知識を持っていると思いますが、大学で学ぶ日本史学は皆さんが考える日本史とは根本的に異なります。「日本史」では通説化した歴史的事項を体系的に学ぶことを課題としますが、「日本史学」ではその通説自体が見直しの対象となっているからです。今まで皆さんが当たり前と考えてきた歴史像を、丹念な史料の読み直しによって覆していく一この歴史学の醍醐味を皆さんにも味わってほしいと思います。

**尹芷汐** 助教

いん・しせき

日本文学・国語学

日本近現代文学、日中比較文学



研究：日本の社会派推理小説、およびアジア諸地域における日本文学の翻訳

推理小説はエンターテインメントとして捉えられがちですが、読み方によっては、社会の仕組みや人間の深層を表出し、奥深い知的世界に導いてくれるものもあります。例えば松本清張の小説は、高度経済成長期の日本社会をリアルに描いていますが、同時にそれはアジア諸地域にも共有できる問題であったため、様々な言語に翻訳され、広く読まれました。文学作品は、私たちが自分の社会、そして自分と他者との関係を知る手がかりになるのです。

**西條玲奈** 助教

さいじょう・れいな

哲学・思想文化学

分析哲学／形而上学

研究：分析形而上学における性質の存在論とその応用

分析フェミニスト哲学、ロボット倫理学

哲学の中でも形而上学とは、何がどのように存在するかを問う分野です。たとえば「女性」という性質は一体何を表すのでしょうか。個々人とは独立に女性という性質そのものが存在するのか、もし存在しないなら何を根拠に私は自分を女性だと主張するのか。そしてその根拠は自分以外のさまざまな女性にとっても同じ役割を果たすのか。性質の存在という抽象的な問いが社会的属性に応用される時、世界や自己を深く考える契機となることを体験してほしいと思います

## 鈴木聖子 助教

すずき・せいこ

### 音楽学・演劇学

近代日本音楽史  
文化資源学



研究：音・音楽の文化財化および文化資源化の歴史研究

開国後の日本政府は、軍楽隊・教育・宮中等の公的機関に、欧米の「音楽」を導入する方針を取りました。この「西洋音楽」を前にして、「日本音楽」とは何か、という問いが生まれました。現在も有効なこの問いを考察するために、国の無形文化財に指定された「日本音楽」と、指定されていない音や音楽とに、並行して着目してみましょう。これらの間に、誰が/いつ/どのように/なぜ/線を引いた・引いているのか——。聴覚文化における価値付けの問題に取り組みます。

## 西井麻里奈 助教

にしい・まりな

### 日本学

現代史、都市史



研究：震災都市の復興と戦争の記憶に関する研究

都市は流動的で、表層を争い、上書きされたものが不断に現実をつくりだす空間です。私は原爆被害地である広島をフィールドに、復興に関する人びとの語りから都市の歴史・記憶を研究してきました。激しく塗り替わり続ける空間に、人びとの生きた痕跡はどのように残っており、それをいかに読み解くことができるでしょうか。人の語りや、読み継がれてきたテキスト、紐解かれていない資料など、災厄によって破壊された都市の中に過去のかげらを探し、歴史をとらえる方法について考えています。

## 陳竺慧 助教

ちん・じくけい

### 中国文学

中国古典文学  
清代詞学



研究：清代の詞と詞論

江戸時代の詞に見る清代詞学の影響

中国古典文学の「詞」という韻文形式は日本の学生にとって馴染みが薄いかもかもしれませんが、中国語圏では「詩」と並べて「詩詞」と呼ばれるほどポピュラーな文学ジャンルです。「詞」は楽曲のメロディーに合わせて言葉をうめていくことで作るもので、いわば千年前のポップ・ミュージックです。そのため、「詞」は皆さんが高校まで真面目に勉強してきた漢文・漢詩と毛色が異なり、もし興味があればぜひ一緒にその独特な美を楽しんでください。

## 本多康子 助教

ほんだ・やすこ

### 美術史学

日本中世美術史



研究：中近世絵巻、物語絵画などの研究

絵巻は漫画やアニメーションの原点と言われています。横長の巻物に、時間軸に沿ってことばと絵で物語が編まれていく様子は、驚くほど躍動感に満ちています。恋愛、合戦、伝記、お伽話…ジャンルも多岐にわたり、当時の人々の想像力の豊かさに圧倒されます。そして、こうした画面上の内容（情報）から、当時の社会情勢や風潮を垣間見することもできます。誰がどのような目的でこれを作り、どんな人が読んだのか、一緒に楽しく考察してみませんか。

## 東条佳奈 助教

とうじょう・かな

### 日本語学

現代日本語学



研究：名詞の助数詞的用法についての研究

あるものの数え方が分からないとき、人はどのようにそれを数えるのだろうか、と疑問に思ったことが、私が助数詞に興味をもったきっかけでした。普段は意識せずに使っている「ことば」ですが、出発点は些細な疑問であっても、実際に使用された文脈から大量に集めて分類してみると、思わぬ発見と出会えることがあります。ことばに注目して、それがどのように使われるのかを探り、特徴や変化を捉えて傾向を見出していくことが、現代語の研究の面白さだと感じています。

## Mohammad Moinuddin 助教

モハンマド・モインウッディン

### 国際交流センター

近現代日本文学／グローバル核文学  
国際交流



研究：近現代日本文学を歴史的な文脈から読む

核・原爆に関わる海外の文学、日印交流の歴史

文学者は作品において社会や文化などを背景にストーリーを語ったりさまざまな事件などを描写したりし、登場人物を通してその時代の人の考え方、行動、感情などを読者に伝えようとします。その作品は永久に、そこに描かれた社会や文化を読者に想像させ理解させる大変重要な媒体になると言われています。そこで、歴史的な文脈から文学作品の分析を行い、作品に描かれた当時の人物の考え方、行動などを国内・海外に発信することができればと考え、研究を続けて行きたいです。

## Felipe MOTTA 特任助教

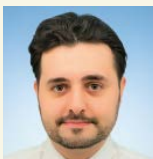
フェリッペ・モッタ

国際交流センター

日本学／海外日本移民研究  
マイグレーション・スタディーズ

研究：海外日本移民史、主に日系ブラジル移民の歴史と文化  
ブラジルにおける日系知識人層の活動、コロナア文学

〈越境〉がますます注目される現在、日本研究でも〈移動〉が重要なキーワードになっています。私は「思想」と「歴史」を主軸に、日系ブラジル移民研究を主題にしてきました。最近は、日本社会におけるマイノリティーと在日外国人研究も視野に入れていきます。担当する科目では、マイグレーション・スタディーズという分野を意識しつつ、「日本を出た人びと、日本に入った人びと」に注目し、近現代日本史における〈移動〉の諸相を皆さんと考えてみたいと思います。



## 横田 洋 助教

よこた・ひろし

音楽学・演劇学 総合学術博物館

近代日本演劇史／日本映画史

研究：映画と演劇の相互の関係、その歴史についての研究

大阪大学の博物館では、大学の最新の研究成果を展覧会の形式で紹介しています。最新の研究成果といっても、歴史や美術、古生物など展示映える学問分野がある一方、一般には展示に向かないと思われる分野もあります。研究成果を論文ではなく、展覧会の形式に変換することで、その研究が抱える新たな課題が見えてくることもあります。



## 好井千代 助教

よしい・ちよ

英米文学・英語学

アメリカ文学

研究：生命科学の知見を取り入れた文理融合の

アメリカ文学研究

文学を「科学のこぼれ」で議論することが、今の私の研究目標です。例えば、脳科学のこぼれだと、ヒトをヒトたらしめる高次脳機能を育成し、さまざまな科学技術や文明を生み出す源となってきた文学。そこからは文系領域のみで語られる文学のイメージとは全く違う、新しい文学の姿と魅力が立ち現れてきます。まさに文系と理系を統合した文理融合の研究の面白さです。大学では、専門を極めると同時に、こうした専門の枠を超えた幅広い視野を学ぶことも大切だと思います。



## Nicholas Lambrecht 助教

ニコラス・ランブレクト

国際交流センター

近現代の日本文学／比較文学  
国際日本研究

研究：文学で表象されている戦後引揚げの記憶

世界文学・アジア文学の中の日本語文学

人の移動は現代社会において世界的に最も重大な問題の一つです。今までの研究では海外移民、難民問題も視野に入れ、日本への戦後引揚げとそれに関わる文学を主題にしてきました。英語で行うグローバル・ジャパン・スタディーズの授業を通して、大阪大学に集まっているさまざまな移動経験のある人々と、それに関心を持っている人たちのために意見を自由に交わらせられる場を設け、現代における「移動」の意味を一緒に考えていきましょう。



## 山崎達哉 特任助教（常勤）

やまざき・たつや

文化動態論（アート・メディア論）

芸能史

アートマネジメント

研究：神楽の形態や歴史についての研究

アートマネジメント講座

日本各地にはさまざまな芸能があり、その形態や歴史、関わる人はさまざまです。地域社会に根付いているものもあれば、地域の枠を超えて全国的に知られているものもあります。島根県の神楽を中心に、主に日本の芸能や神事について、内容や歴史について研究しています。

同時に、アートマネジメントの講座も担当しています。アートを単に観賞するだけでなく、その良さと課題などをどのように社会に発信できるかを考えています。

## 徴しの上を鳥が飛ぶ

文学研究科における

アート・プラクシス人材育成プログラム

文学研究科では、文化庁「大学における文化芸術推進事業」の採択を受け、2019年度からアートを活用した社会人教育プログラム「徴しの上を鳥が飛ぶ—文学研究科におけるアート・プラクシス人材育成プログラム」を開始しています。

これは、現代世界の人文的課題に向き合う方法を、演劇、音楽、美術、芸能など多岐にわたる芸術ジャンルのパフォーマンスやイベントの制作業務に実践的に関わりながら学ぶプログラムで、多くの社会人・学生が学んでいます。



## 留学体験

### 留学をしようと思ったきっかけは？

大学入学以来学んでいたドイツ語を伸ばしたいと思ったからです。また、西洋史学を学んでいるので、実際にヨーロッパに足を運び、歴史の舞台をこの目で直に見てみたかったからです。

### 出発前に準備したこと

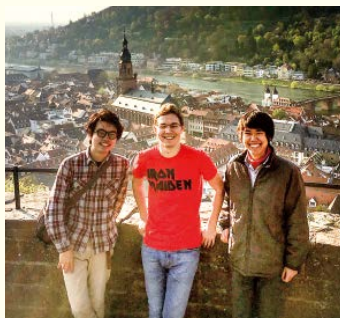
ドイツ語の学習に力を入れました。大学で授業を受けるだけではなく、自学自習に励みました。また、出発前に奨学金が受給できるのか分からなかったのと、夏季休暇中はヨーロッパのほかの国々へ旅行に行きたかったので、貯金をするためアルバイトに精を出しました。

### 大変なこと、得るものや喜びは何ですか？

別段大変なことはありませんでした。確かに日本とは勝手が違うことも多く最初は戸惑いでしたが、周りの人を見てまねることで直ぐに慣れました。しいて言えば言葉の壁でしょうか。電話を一本かけるにしても、メモを準備して緊張しながら臨みました。

自分でも実感できるほど語学が上達したのは嬉しかったです。英語と比

### 国際化の時代だからこそ、多くの外国語を履修することを勧めます。



友人とハイデルベルク城へ

**小浦大輝さん**  
西洋史学専修（3年）

【留学先】ハイデルベルク大学（ドイツ）  
【留学期間】3年生3月から5ヵ月間

べてドイツ語の教材は少なく、日本で学習することに限界を感じていました。四六時中嫌でもドイツ語に触れる環境に身を置くことで、各段に語学力が向上しました。

### 留学を終えて変わったこと

これまで以上に自分に自信がつかました。留学中、クレジットカードを紛

失したり、通院しなければいけなかったりとさまざまなトラブルに遭遇しましたが、最善の対処法を見つけて解決しました。この経験を通して、たいていの問題は自分でどうにかできるという自信を得ることができました。

### 将来の夢

留学中その住み心地の良さに魅了された大陸ヨーロッパに住むことです。願わくは仕事で駐在、できなくても老後の余生をそこで送りたいです。そのため、留学中に伸びたドイツ語をさらに磨くことはもちろん、フランス語をはじめとしたほかのヨーロッパ言語を卒業後も学習し続けます。

### 高校生へのメッセージ

英語以外の外国語学習も大切にしてください。国際言語としての英語の重要性は否定しませんが、英語で得られる情報は限られ、内容も偏りがあります。ほかの外国語を学ぶことで情報源を広げられるほか、比較を通して英語のより深い理解にもつながります。国際化の時代だからこそ、多くの外国語を履修することを勧めます。

## 留学サポート

### 国際連携室

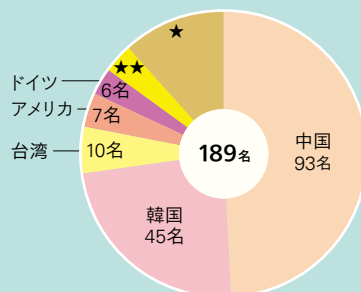
文学部・文学研究科で学ぶ学生の国際交流に関わる業務を担当しています。

学生派遣では、大阪大学、文学部・文学研究科で実施している交換留学や語学研修、奨学金情報についてご案内しています。

留学生については、奨学金情報や学内外で行われる国際交流行事についての案内、さまざまな質問・相談の窓口として日本での学生生活をサポートしています。

また、留学生だけでなく、文学部・文学研究科の学生が参加できるプログラムも実施しています。

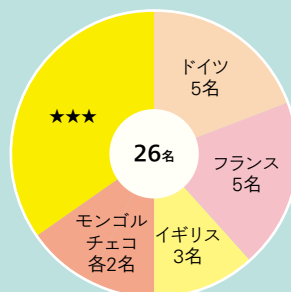
留学生受入れ  
(2019年度)



EM参加者は除く。

- ★各1名  
アルゼンチン、イギリス、イタリア、イラン、インド  
インドネシア、エジプト、オランダ、カザフスタン  
カナダ、ギリシャ、シンガポール、スイス  
スウェーデン、スペイン、フィンランド、フランス  
ベラルーシ、ポーランド、香港、モンゴル、リトアニア
- ★★各2名  
ブラジル、メキシコ、ロシア

留学派遣(渡航先)  
(2019年度)



休学事由「留学」を含む。

- ★★★各1名  
インドネシア、オーストリア、オランダ  
カナダ、シンガポール、スペイン、中国  
ニュージーランド、ポーランド

留学生活の喜びは、忘れたくない  
鮮やかな瞬間が起こることです。

### 留学をしようと思ったきっかけは？

海外に行ったことがなかったため、高校のときから漠然と「海外に行きたいなあ」と思っていました。友人からたまたま交換留学の追加募集が行われていると聞いて、とりあえず話だけでも聞こうと国際連携室を訪れたら、あれやこれやとやっている内に留学が決まっていました。英語や海外生活に対して不安もありましたが、チャンスがあるなら行くしかないと思い飛び込めてよかったです。

### 出発前に準備したこと

IELTSで留学に必要なスコアをとるために勉強しました。大阪大学で開かれているTOFEL対策の授業をとって、英語の授業はリーディング課題の量が多いものを選びました。留学が決まってからは短期で英会話教室に通いました。

### 大変なこと、得るものや喜びは何ですか？

最初はとにかく喋れず、聞き取れませんでした。数分会話するだけでドキドキして泣きそうでした。それでも諦めず、とにかく外に出る、人と話す、イ



友人の家族・親戚と  
過ごしたお正月

### 足立ちひろさん

美学・文芸学専修（4年）

〔留学先〕パラツキー大学（チェコ）  
〔留学期間〕3年生9月から10ヵ月間

ベントに参加するなど積極的に行動すれば、とても素敵な仲間たちと出会えました。一緒に旅行したり、クリスマスや正月は実家に呼んでくれる友達もできました。授業もはじめは聞き取れず、ノートもとれない状態でしたが、予習復習を続けることでだんだん理解できるようになりました。留学生活の喜びは、自分の努力が実を結んだり、異文化交流で自分の価値観が揺らいだり、友人のありがたさを実感したり、そういった忘れたくない鮮やかな瞬間が起こり続けることです。

### 留学を終えて変わったこと

前よりも行動的になりました。度胸も付きました。国際問題にも関心が増し、英語のニュースも見ようになりました。世界を身近に感じます。逆に、日本のすばらしさも実感しました。ティッシュとトイレトペーパーは日本

が一番です。

### 将来の夢

チェコが大好きになったので、チェコのことを日本人にもっと知ってほしいです。仕事で海外出張や海外転動もしてみたいです。

### 高校生へのメッセージ

大学生は高校生と自由度が段違いです。勉強も専門性が高くて面白いです。大学での学びや出会い、経験は一生の宝になるので、興味があるなら行動あるのみです。留学も大学選びも悔いのないよう、初心を大切に！



チェコの街並み

## 留学支援プログラム

### 語学研修プログラム

夏休みや春休みに2週間から1ヵ月の期間、国外の大学等で受講する語学研修です。単位を修得できるプログラムもあります。

交換留学（大学間派遣・部局間派遣）  
交流協定を締結している大学への1年未満の留学です。休学せずに大阪大学に在籍したまま協定校での授業を受けます。

### Erasmus Mundus (EM)

Euroculture Programme 修士課程  
文学研究科ではEUが運営するプログラムにパートナー校として参加しています。文学研究科では毎年若干名の学生を奨学生に推薦しています。採用されるとEU圏内の8大学のうちの2大学へ2年間留学できます。

## 語学力をつけるために

### 国際交流科目（英語）

交換留学生を対象にプログラムされた英語による授業です。留学生とともに英語でのディスカッションも行います。

### 全学共通教育科目 外国語授業

英語をはじめとして、初級から上級までのさまざまな授業があります。

### 外国語による発信力を 育成するための科目

“Basic Academic Skills  
for Humanities”  
“Introduction to Contemporary  
Japanese Studies”  
などの外国語によるアカデミックスキルを育成する授業を開講しています。

## 留学のための助成制度

### 大阪大学未来基金グローバル化推進事業

#### 交換留学奨学金（派遣）

対象：3ヵ月以上1年以内の交換留学をする正規学生  
助成金額：月額5万円

### 教育ゆめ基金

対象：交換留学制度を利用する文学部生  
助成金額：18万円（2019年度実績）

### 日本学生支援機構（JASSO）

#### 海外留学支援制度（協定派遣）

対象：3ヵ月以上1年以内の交換留学をする正規学生  
奨学金額：月額6・7・8・10万円（留学先による）

### 官民協働海外留学支援制度

#### トビタテ！ 留学JAPAN日本代表プログラム

対象：28日以上2年以内の留学をする者（3ヵ月以上推奨）  
助成内容：奨学金、留学準備金、渡航費の一部、授業料等（支給額は留学先地域による）

4月から参議院事務局で働きます。配属は未定ですが、政策立案を支援する調査部門や、国会や委員会を運営する委員会部門など、国政の最前線に立つやりがいのある仕事ばかりなのでとても楽しみにしています。

私が就職活動を始めた時は、漠然と公務員を志望していたものの、自分が何になりたいのか、何に向いているのか全く分かっていませんでした。そのため、インターンシップに参加したり、さまざまな公務員の職種の説明会に参加したりすることで、自分が本当にしたいことは何かを探っていきました。

公務員といっても、さまざまな職種があります。私はどの説明会に行ってもそれぞれの職種に魅力を感じ、本当にしたいことは何かをなかなか定められませんでした。しかし、興味の幅が広いことが自分の良いところなのではないかと気づきました。その

答えのないともいえる問いを追求するという姿勢は、就職活動のみならず今後も役に立つと感じています。



窪田沙耶さん

英米文学・英語学（4年）  
就職先：参議院事務局

ため、国政のあらゆる分野に携わることができるという点で参議院事務局が最も自分に向いていると思い、参議院事務局に就職することに決めました。

就職活動で大変だったのは、エントリーシートの作成と面接です。自分

のこれまでの経験に照らして、なぜそのような選択をしたのか、自分が最も大切にしたいことは何なのかを、情報を取捨選択して分かりやすく書くことはとても難しかったです。また、面接では、ある問題に対してどのような意見を持っているのか意見を求められることが多く、幅広い視野や思考力が必要だと感じました。

私は、イギリス文学で卒業論文を執筆しています。研究においては、何度も原文に立ち返って可能な解釈を探ります。このような答えのないともいえる問いを追求するという姿勢は、就職活動のみならず今後も役に立つと感じています。

もし文学部を選択すれば、皆さんの前には無数の可能性が広がります。大阪大学文学部には、自分が追求したいことを学べる環境がそろっています。共に学び、成長できる仲間との素晴らしい出会いが待っています。

## 進路について

卒業生の進路は、大学院進学と就職に大別されます。

大学院に進学するのは、将来は研究の道を志したい、4年間では飽き足りずもう少し研究を続けたいという学生たちです。大学院修了後は、大学等の研究・教育機関のスタッフとして、あるいはキャリアをいかした高度専門職業人として活躍しています。

就職は、教員、官公庁、マスコミ、出版、金融、製造業、サービス業など、さまざまな業種・職種にわたります。昨今の厳しい社会情勢にもかかわらず、就職状況は良好を維持し、卒業生の多くが社会の第一線で活躍しています。

文学部では、就職支援活動として、企業やOB・OGを招いての説明会や就職活動のためのサポート講座を開催しており、インターンシップ制度の充実にも取り組んでいます。

春から地元大分県のテレビ局、テレビ大分で働くことになりました。

番組制作、報道、イベント事業など、さまざまな部署があり、いろいろな仕事を経験できる会社です。入社をとっても楽しみにしています。

大学入試の際には、自分の力を試したいと考え地元を離れて進学することを選択しましたが、私は故郷が大好きだったので、大阪で学んだことを持ち帰り、大分県に住む人々の役に立つ仕事をしたと考えていました。秋頃から大分県の企業の方に絞って就職活動を行いました。

地元企業からの内定を目指す就職活動は「Uターン就活」と呼ばれますが、阪大でUターン就活をする人は少なく、OB訪問や情報収集が困難だったので、インターンシップや説明会に積極的に足を運ぶことが重要でした。

また、履歴書や面接にも苦労しました。就職活動を終えたサークルの先輩方、厚生労働省のローカル就活プロジェクトの方々、またNPO団体として就活を支援してくださっている阪大の先輩方には特にお世話になり、履歴書の添削や面接練習を何度もいただきました。

アルバイト、授業の選択、学生生活

興味を持った分野に積極的に取り組む姿勢を身に付けられたことは、就活でも大いに役立ちました。

で必要な手続きなど、大学生活では自分のことを自分でしなければならない場合が多いです。初めは高校とのギャップに苦労しましたが、阪大にはそれぞれ違う考えや目標を持つ沢山の人がいて、それぞれが自立した生活を送っているので、人と触れ合うことで自分も成長し、大変な生活にも慣れていきました。また20の専修からなる文学部での勉学は、授業や専修の選択を通して自分の関心を見つめ

直すきっかけにもなりました。このように自分のことを自分でできるようになり、また、自分が興味を持った分野に積極的に取り組む姿勢を身に付けられたことは、就活でも大いに役立ちました。

皆さんには是非、自己分析の機会を早めに作ってほしいと思います。自分の未来の可能性は過去や今の自分の中にあるので、これまでの自分の関



ドイツ・ドレスデンにて

神矢菜々子さん

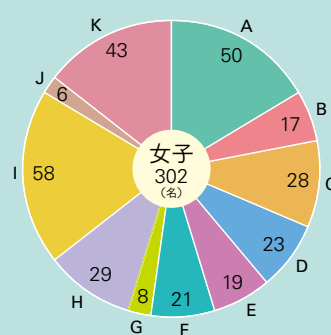
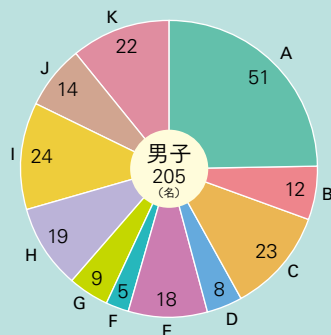
ドイツ文学専修（4年）

就職先：株式会社テレビ大分

心や、抱いてきた夢を分析し、これからは活かすことが重要です。大阪大学文学部は、多様性を認め、育ててくれる学部です。自分の関心に沿って勉学に励むことができますし、まだ何にも興味を持っていない人も、必ず興味のある分野が見つかると思います。たくさんの人と関わり、成長できる環境ですので、就職活動にもおすすめです。

### 業種別就職者数の割合（2017～2019年度）

- A 大学院進学
- B マスコミ・出版・広告・印刷
- C 製造業
- D 金融・証券・保険
- E 電力・ガス・倉庫・運輸
- F 商社・百貨店・製造小売業
- G 不動産業・建築・建設業
- H 通信・IT・ソフトウェア
- I サービス業・その他
- J 学校（中学・高校）
- K 官公庁



詩人たちの動きを文学史の中に位置づけて捉えていきたい、というのが今の目的です。

現在私は中原中也の詩、特に定型詩に注目して研究をしています。大学院に入る前は中也の詩のリズムが気になっていたのですが、中也には形式的に整った詩が多いことに気づき、現在の研究テーマに取り組み始めました。日本の定型詩は少々特殊で、和歌、漢詩、西欧の詩など様々な文化の詩型が混ざり合った独特の形式を持っています。中也は1930年代ごろに活躍した詩人ですが、その頃には三好達治や立原道造など何人かの詩人が定型詩を作っていました。そうした詩人たちの動きを文学史の中に位置づけて捉えていきたい、というのが今の目的です。

大学院に進もうと思ったのは学部3年生の頃です。大学で授業を受けていると、次々と知らないことに会います。自分が全く知らなかったことがある世界では「常識」であることに驚きと感動を覚え、進学を決意しました。

今でも頻繁に自分が知らなかった「常識」に出会い、そのたびにワクワクしています。また、難解な作品がうまく読み解けたときには本当に興奮します。その楽しさを追いかけていきたいので、研究で生活ができるようになることを目指して日々勉強しています。

大学院で研究する以上、最終的には今まで誰も知らなかったことを明らかにする必要があります。それはなかなか大変なことですが、もし何か新しい事を発見できたとしたら、少なくともその部分については自分が最先端であるという自負を持っていいのではないかと考えています。「一番」は言い過ぎかもしれませんが、ある分野の専門家にはなれるはずで、それは、大学院で研究する大きな魅力の一つです。

今から思えば、大学院に入る前からもっと色んな勉強会や講演会などのイベントに参加しておけばよかったと感じ



武久真士さん  
日本文学専門分野  
(博士前期課程2年)

ます。いくつかの勉強会の存在は知っていたのですが、学部生の自分がこんなところへ行っているのかという気兼ねから、参加していませんでした。しかし今では、まだ学習が進んでいない時こそ様々な場で学ぶことが重要だったのだと思います。これは高校生の方に伝えたいことでもあります。自分が少しでも興味を持った勉強会などのイベントには、気後れせず積極的に参加してみてください。知識の不足は小さな問題です。とにかく行動してみても開ける世界もあるのではないのでしょうか。



関屋弥生さん  
音楽学・演劇学専門分野  
(博士後期課程3年)

研究は、過去の記憶の断片を拾い集めて、元の大きな絵に繋ぎ合わせていくような感覚に近いです。

ブラジル日系社会における能楽や歌舞伎、日本舞踊などの芸能活動について調査を行っています。1908年に最初の集団移民が渡伯して以降、各地に築かれた移住地でこれらの日本的な芸能が好んで演じられました。資料調査だけでなく、現地に何度も足を運んで聞き取り調査を行ったり、自身でも活動に参加させてもらいながら、その実態や役割を解き明かそうとしています。もともと海外における日本の古典芸能の展開に関心があり、最終的

にその活動の担い手としての日系社会の存在に辿りつきました。

#### なぜ進学を選びましたか？

私自身、幼い頃に狂言を習っていました。学部入学後、自身が幼い頃から親しんできた古典芸能を学問的に掘り下げて考えてみたいという思いが強くなり、3年生の頃に文学研究科への進学を決めました。また、博士課程まで進みましたが、私自身は来春から一般企業に就職します。就職先は研究職ではないし、仕事内容もこれまでの研究と直接関わるようなものではありません。大学院に進学したからといって、研究職のみにキャリアパスを絞る必要は必ずしも無いと個人的には思っています。

#### 大学院で研究することの醍醐味は？

私にとっての研究は、歴史という大

きな流れの中に足を踏み入れ、その川上から流れてくる過去の記憶の断片を拾い集めて、元の大きな絵に繋ぎ合わせていくような感覚に近いです。わずかな仮説を立てて検討していく、その過程で自分の思考体系が組み直されていく瞬間はとても面白く、そこに大学院で研究することの醍醐味を感じています。一方で、最近では文系不要論なども聞かれますし、自分の研究が社会に対してどのような価値を還元しようとするものなのか、実学とは対極にあるような分野の研究者も真面目に考えなければならない時代に来ているのではないのでしょうか。だからといって自分が追究したいことを社会的な要求に合わせて無理に捻じ曲げる必要はなく、自分の関心、学术界の関心、社会の関心が重なり合う領域を見つけ出し、その中で自身の研究を語り直していくような柔軟さと、ある種の強かさを持つことも大事なかなと感じています。



# Employment List

## 就職実績

データは過去3年間(2017~2019年度)、( )内の数字は女子数

### A 大学院進学者 101(50)

大阪大学文学研究科 82(43)  
他研究科・他大学院等進学 19(7)

### 就職者 合計 406(252)

### B マスコミ、出版、広告、印刷 29(17)

朝日新聞社 1(0)  
毎日新聞社 1(1)  
読売新聞大阪本社 2(0)  
中日新聞社 2(0)  
山陽新聞社 1(0)  
山陰中央新報社 1(1)  
NHK 4(4)  
テレビ朝日 1(0)  
TBSテレビ 1(1)  
毎日放送 1(1)  
テレビ大阪 1(0)  
サンテレビジョン 1(1)  
テレビ大分 1(1)  
KADOKAWA 2(2)  
ポプラ社 1(1)  
白泉社 1(1)  
数研出版 1(1)  
尚文出版 1(1)  
メディックメディア 1(1)  
中央法規出版 1(0)  
NHK出版 1(0)  
中信出版社 1(0)  
凸版印刷 1(0)

### C 製造業 51(28)

宝ホールディングス 1(1)  
湖池屋 1(1)  
林原 1(0)  
霧島ホールディングス 1(1)  
三菱電機 3(2)  
パナソニック 1(1)  
日立国際電気 1(0)  
EIZO 1(0)  
ダイヘン 1(1)  
京セラ 1(0)  
AVCテクノロジー 1(1)  
クワイ電機 1(1)  
クラレ 1(1)  
Meiji Seika ファルマ 1(1)  
千寿製薬 1(0)  
昭和電工 1(0)  
デニカ 1(1)  
信越ポリマー 1(1)  
日立金属 1(1)  
三協立山 1(0)  
共英製鋼 1(0)  
大北製作所 1(0)  
バリウブランニング 1(1)  
日本特殊陶業 1(0)  
I・T・O 1(1)  
ソーインタラクティブエンタテインメント 1(0)  
三菱重工業 1(1)  
Hitachi日立造船 1(0)  
ダイハツ工業 1(0)  
小松製作所 1(0)  
日本写真印刷コミュニケーションズ 1(1)  
写真化学 1(1)  
佐川印刷 1(0)  
太陽精機 1(0)  
共進ベイバーアンドパッケージ 1(1)  
グラフィック 1(1)  
セラー万年筆 1(1)  
デザインフィル 1(1)  
ビジョン 1(0)  
ユーゾーン 1(0)  
バーテック 1(0)  
Tianma Japan 1(0)  
バンダイ 1(1)  
コーエーテックホールディングス 2(0)  
コンビ 1(1)  
日本ガイシ 1(1)  
タミヤ 1(1)  
俄 1(1)

### D 金融・証券・保険 31(23)

日本銀行 1(1)  
三菱UFJ銀行 1(1)

三井住友銀行 1(0)  
りそな銀行 2(1)  
三井住友信託銀行 2(1)  
池田泉州銀行 1(1)  
北國銀行 1(1)  
伊予銀行 1(1)  
肥後銀行 1(1)  
みずほフィナンシャルグループ 3(3)  
りそなホールディングス 1(1)  
近畿労働金庫 1(1)  
野村證券 1(1)  
住友生命保険 5(3)  
日本生命保険 1(0)  
大樹生命 1(1)  
ジブラルタ生命 1(0)  
東京海上日動火災保険 1(1)  
損害保険ジャパン日本興亜 1(0)  
あいおいニッセイ同和損害保険 1(1)  
三井住友カード 2(2)  
アコム 1(1)

### E 電力・ガス・倉庫・運輸 37(19)

関西電力 3(3)  
四国電力 1(0)  
中国電力 2(2)  
北陸電力 1(0)  
中部電力パワーグリッド 1(0)  
大阪瓦斯 5(3)  
ガスバル 1(1)  
住友倉庫 1(0)  
滋澤倉庫 1(1)  
京神倉庫 1(1)  
山村倉庫 1(0)  
日本航空 1(0)  
西日本高速道路 2(1)  
SGホールディングス 1(1)  
佐川急便 1(1)  
日本通運 1(0)  
日立物流西日本 1(0)  
コクオサブライロジスティクス 1(1)  
JR東海 1(1)  
JR西日本 1(1)  
JR九州 1(0)  
大阪市高速電気軌道 1(0)  
阪急阪神ホールディングス 1(1)  
近鉄グループホールディングス 3(0)  
南海電気鉄道 2(1)  
神戸新交通 1(0)

### F 商社・百貨店・製造小売業 26(21)

住友商事 1(1)  
伊藤忠エネクス 1(1)  
積水マテリアルソリューションズ 1(1)  
エイシンインターナショナル 1(0)  
チップワンストップ 1(1)  
ミスグループ本社 1(1)  
阪急阪神百貨店 1(1)  
イオンリテール 1(1)  
丸井グループ 1(1)  
銀泉 1(0)  
オアシスドット大地 1(0)  
ロソン 1(1)  
ファミリーマート 1(1)  
生活協同組合COOPとやま 1(1)  
ひこばえ 1(0)  
ネクサス 1(1)  
ゲンキー 1(1)  
鈴花 1(1)  
大黒天物産 1(1)  
ニトリホールディングス 1(0)  
ニトリ 6(6)

### G 不動産業・建築・建設業 17(8)

安藤・間 1(0)  
独立行政法人 1(0)  
鉄道建設・運輸施設整備支援機構 1(0)  
コンストラクションインベストメントマネジャーズ 1(1)  
生和コーポレーション 1(0)  
コスモスモア 1(1)  
大和ハウス工業 2(1)  
三井不動産ビルマネジメント 1(1)  
福屋ホールディングス 1(0)  
日本エスコン 1(0)  
ウイル 4(3)  
フジ住宅 1(0)

ハウスフリーダム 1(1)  
オープンハウス 1(0)

### H 通信・IT・ソフトウェア 48(29)

Microsoft Corporation 1(1)  
NECソリューションイノベータ 1(0)  
富士通 1(1)  
NTTデータ 2(1)  
オービック 1(1)  
JFEシステムズ 1(1)  
住友電工情報システム 1(0)  
SRIシステムズ 1(1)  
DIRインフォメーションシステムズ 1(0)  
兼松エレクトロニクス 1(1)  
ニッセイ情報テクノロジー 1(1)  
楽天 1(0)  
NSソリューションズ関西 1(1)  
日本コントロールシステム 1(0)  
商備システムズ 1(0)  
G&Iシステムサービス 1(0)  
Sky 1(1)  
共同コンピュータ 1(1)  
ワークスアプリケーションズ 1(1)  
オネスト 1(1)  
大阪エヌデーエス 1(1)  
Fringe81 1(1)  
EDP graphic works Co., Ltd. 1(1)  
ロボット 1(1)  
USEN 1(1)  
セブテニ・ホールディングス 1(1)  
アイティフォーエス 1(1)  
アーク・コミュニケーションズ 1(1)  
ブイキューブ 1(1)  
TIS 1(0)  
クリップ 1(1)  
MRT 1(0)  
文光堂 1(1)  
INCLUSIVE 1(1)  
ソフトウェアサイエンス 1(0)  
日本パテントデータサービス 1(0)  
クランディム 1(1)  
フューチャー技研 1(0)  
ソリッドアーツ 1(0)  
NCA&A 1(1)  
SRA 1(1)  
ゼクシス 1(0)  
シティ・コム 1(0)  
日本電管 1(0)  
パーソナルプロセッサアンドテクノロジー 1(0)  
ラクス 1(0)  
ニック 1(1)

### I サービス業・その他 82(58)

大阪大学 7(4)  
京都大学 1(1)  
岡山大学 1(1)  
立命館大学 1(1)  
立命館大学コリア研究センター 1(1)  
関西大学 1(1)  
甲南大学国際言語文化センター 1(1)  
京都精華大学 1(1)  
大阪電気通信大学 1(1)  
四天王寺大学 1(0)  
摂南大学 1(1)  
常葉大学 1(0)  
京都看護大学 1(1)  
南通大学 1(0)  
河合塾 1(1)  
Z会 1(1)  
ベネッセコーポレーション 1(1)  
ワオ・コーポレーション 1(1)  
さなる 1(0)  
ナガセ 1(1)  
東進四国 1(1)  
ブレンバンク 2(2)  
トワール 1(1)  
志高塾 1(1)  
光の子どもクリスチャンスクール 1(1)  
徳洲会生駒市立病院 1(1)  
上海同濟都市計画設計研究所 1(0)  
理化学研究所労働組合 1(1)  
国立文化財機構 1(1)  
Seven golden way ventures sdn 1(0)  
WAVE 1(1)  
日本郵政株式会社 1(0)  
日本郵便株式会社 1(1)  
大阪医科大学附属病院訪問看護ステーション 1(1)

NPO法人障害者の自立を支えるサポートネットワーク 1(1)  
アクセンチュア 3(2)  
アビームコンサルティング 1(0)  
KPMGコンサルティング 1(0)  
シグマックス 1(0)  
EYアドバイザリー・アンド・コンサルティング 1(0)  
ビジネスコンサルタント 1(1)  
ブレーンセンター 1(1)  
ワンスター 1(0)  
地域ブランディング研究所 1(1)  
JTB西日本 2(0)  
阪急交通社 1(1)  
三井不動産ホテルマネジメント 1(1)  
更紗ホテルズ 1(1)  
ジョイフル 1(1)  
スターバックスコーヒージャパン 1(1)  
星野リゾートマネジメント 1(1)  
リクルート 2(2)  
リクルートキャリア 1(1)  
リクルートジョブズ 1(1)  
SGフィルダー 1(1)  
日本アート印刷 1(1)  
コンベンションリンケージ 1(1)  
アイ・ケイ・ケイ 1(0)  
公益財団法人 泉屋博古館 1(0)  
大阪府文化財センター 1(1)  
アサヒビール大崎山崎山荘美術館 1(1)  
日本赤十字社(社団法人類似組織) 1(0)  
パーソルキャリア 1(1)  
エス・エム・エス・キャリア 1(1)  
ツーリストエキスパート首都圏 1(0)  
添乗センター 1(1)  
UTグループ 1(1)  
U-NEXT 1(1)  
コーエーテックモゲームス 1(0)  
アビリティセンター 1(1)  
サイバーコミュニケーションズ 1(1)  
ワールドサービス 1(1)

### J 学校(中学・高校) 20(6)

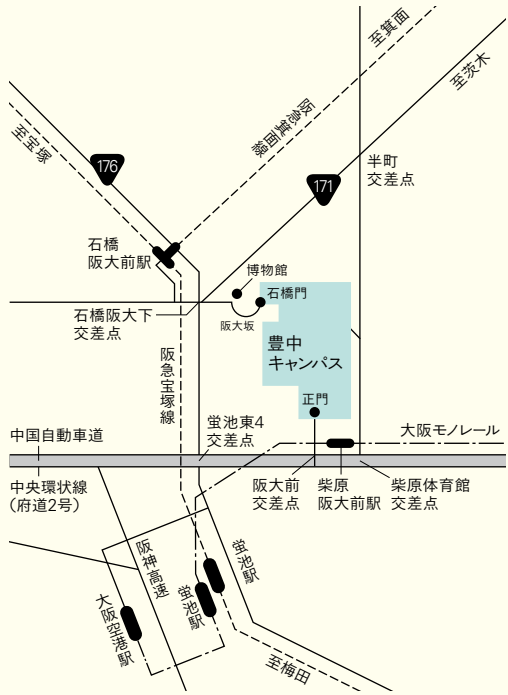
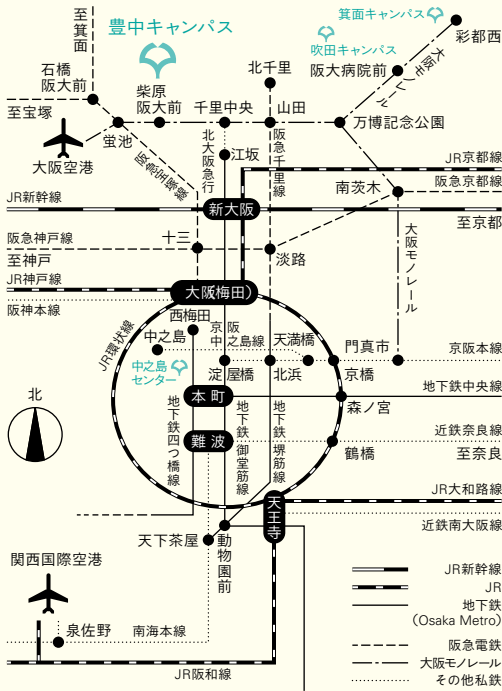
大阪府教員 2(0)  
兵庫県教員 1(0)  
静岡県教員 1(0)  
奈良県教員 1(0)  
香川県教員 1(0)  
岐阜県教員 1(0)  
西大和学園 2(1)  
洛南高等学校 1(1)  
開智学園 1(0)  
土佐高等学校 1(1)  
須磨学園中学校・高等学校 2(1)  
大手前九亀中学・高等学校 1(0)  
追手門学院高等学校 2(0)  
大阪芸芸中学・高等学校 1(1)  
大阪青凌中学・高等学校 1(1)  
神戸海星女子学院中学・高等学校 1(0)

### K 官公庁 65(43)

人事院 1(1)  
内閣府 1(1)  
文部科学省 1(1)  
経済産業省 1(0)  
厚生労働省 1(1)  
農林水産省 1(0)  
農林水産省林野庁 1(0)  
国税局 1(0)  
参議院事務局 2(2)  
東京法務局 1(1)  
東京労働局 1(1)  
鳥取労働局 1(0)  
東海北陸厚生局 1(1)  
法務省大阪入国管理局 1(1)  
大阪労働局 1(1)  
裁判所 2(2)  
国立国会図書館 2(1)  
総務省近畿管区行政評価局 1(1)  
製品評価技術基盤機構 1(0)  
近畿地方更生保護委員会 1(0)  
中国財務局 1(1)  
大阪法務局 3(2)  
大阪検疫所 1(0)  
警視庁 1(1)  
近畿管区警察局 1(0)  
都道府県庁 16(10)  
市役所・町村役場 等 19(14)

# Access Map

## アクセスマップ



◎阪急電車宝塚線・石橋阪大前駅(急行停車)下車東へ徒歩約15分

◎大阪モノレール・柴原阪大前駅下車西へ徒歩約10分



大阪大学文学部ホームページ  
<http://www.let.osaka-u.ac.jp>  
 電話でのお問い合わせは、大阪大学文学部教務係まで。  
 TEL 06-6850-5084(直通) FAX 06-6850-5087



扉写真

上段左：真名井古墳出土三角縁神獸鏡

上段右：フェルメール《絵画芸術の寓意》

下段左：井戸家所蔵能面「曲見」

下段右：中井竹山筆「懷徳堂定書」、安永7年（1778）6月制定

2020年7月発行

発行＝大阪大学文学部

編集＝評価・広報室

〒560-8532 大阪府豊中市待兼山町1番5号 TEL 06-6850-6111（代表）

デザイン＝遊覧船グラフィック

印刷＝岡村印刷工業株式会社

掲載写真・掲載記事の無断転載・複製を一切禁じます。

本冊子の在学生／卒業生の学年、所属などは2019年度のものです。

